

摂津市コミュニティ施設に関する基礎調査業務 報告書

令和3年3月

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 業務フロー	1
2. 摂津市のコミュニティ施設	2
(1) 関連計画等の概要.....	2
1 第4次摂津市総合計画基本計画（改訂版）	2
2 摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（及び摂津市人口ビジョン）	4
3 2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書	5
4 摂津市公共施設等総合管理計画	10
(2) 統計資料から見るコミュニティ施設の現状	14
(3) 摂津市のコミュニティ施設関連計画及びデータのまとめ	26
3. ヒアリング調査結果	27
(1) コミュニティ施設へのヒアリング調査	27
1 調査概要	27
2 調査対象施設	27
3 調査結果のまとめ	28
(2) 住民へのヒアリング調査	51
1 調査概要	51
2 調査項目	51
3 調査結果のまとめ	52
(3) 令和2年度 第5回摂津市市政モニターアンケート調査	66
1 調査概要	66
2 調査項目	66
3 調査結果のまとめ	67
(4) アンケート調査からみる摂津市コミュニティ施設の課題やニーズ	74
1 コミュニティ施設の考え方・対象エリアについて	74
2 施設・設備について	75
3 講座・イベントについて	77
4 料金について	79
5 時間区分について	82
4. 付録	83
摂津市コミュニティ施設に関するヒアリングシート	83
(参考) 各公民館・コミュニティ施設の施設ごとの利用状況	89

Ⅰ. 調査の概要

(1) 調査目的

本業務は、本市には様々な施設がある中で、「第4次摂津市総合計画」において、コミュニティ活動拠点施設の整備に関する施策の展開を示しており、本市におけるコミュニティ施設の現状分析を行うとともに、市民ニーズを把握し、整理・分析を行い、味生地域でのコミュニティ施設の整備を視野に入れながら、今後のコミュニティ施設整備の基礎資料を作成することを目的として実施しました。

※コミュニティ施設とは、地域社会において地域住民の相互交流を促すとともに、多様な活動の場を提供し、心豊かで活力ある地域社会の形成に寄与すること目的とする施設です。

(2) 調査内容

本調査の調査内容は、以下の通りです。

(ア) コミュニティ施設のニーズ把握

①上位関連計画及び各種データの整理

・摂津市の上位計画、及び統計要覧などをもとにコミュニティ施設の分析を行う

②ニーズ把握

・コミュニティ施設へのヒアリング調査(9施設)

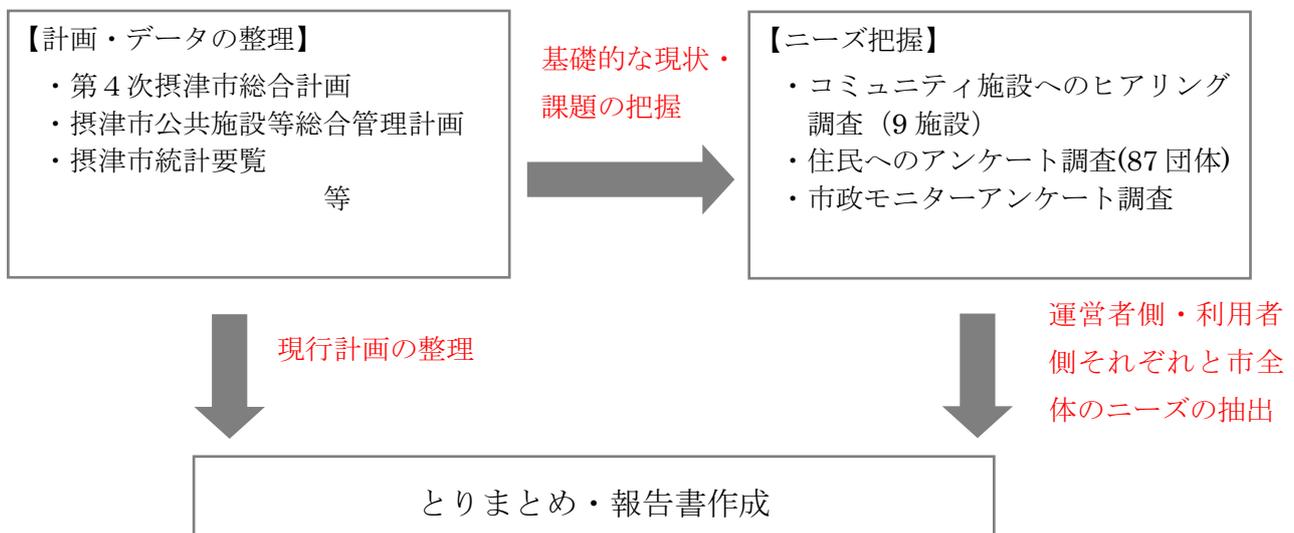
・住民へのヒアリング調査(87団体)

(イ) コミュニティ施設のニーズの整理と分析

「(ア) コミュニティ施設のニーズ把握」及び第5回市政モニターアンケート調査を踏まえたコミュニティ施設利用に関するニーズの整理と分析

(3) 業務フロー

本調査の業務フローは、以下の通りです。





2. 摂津市のコミュニティ施設

(1) 関連計画等の概要

コミュニティ施設について特に密接に関係している計画の概要を記載します。

なお、計画や報告書はいずれもコミュニティ施設の運営に直接的・間接的に関与しているものですが、その中でも特に密接に関係している部分のみを抜粋し、まとめています。

1 第4次摂津市総合計画基本計画（改訂版）

本計画では、コミュニティ施設の基本的な役割と目指すべき目標について記載しています。

第4次摂津市総合計画基本計画（改訂版）では、「みんなが育む つながりのまち 摂津」の将来像のもと、7つの基本目標のうちの一つとして、「市民が元気に活動するまち」を掲げています。この目標の基本方向として、「市民一人ひとりがまちづくりの主役として活躍できるよう、市民活動を支援するとともに、温かく豊かな地域コミュニティ活動を推進します。」という方針が掲げられています。本目標の中の一つとして、コミュニティ活動の拠点となる場として、コミュニティ施設について次のような課題と目標を記載しています。

【課題】

コミュニティ活動の拠点となる施設は、老朽化、バリアフリー対策、利用率の格差などが課題となっており、活用を促進する方策が求められています。

【目標】平成32年度(令和2年度)に実現している姿

コミュニティ施設が市民活動の拠点として積極的に活用されていることです。

また、目標を確認するための数値指標として、市民ルームの利用率と市立集会所の利用率が掲げられています。

令和元年度までの実績は以下の通りとなっており、市民ルームの利用率、及び市立集会所の利用率両項目において、各年度とも目標値に届いていません。特に市民ルームの利用率については令和元年度の目標値 39.0%に対して実績値が 30.6%となっており、今後、利用率向上を図っていく必要があります。

(但し、令和元年度については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年3月9日から3月31日までの期間、貸館を停止しています)

実現している姿を確認する指標 平成 27 年度～令和元年度までの目標値及び実績値

指 標	実 績 値					
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
市民ルームの利用率	目標		37.0%	37.0%	38.0%	39.0%
	実績	30.7%	31.2%	30.4%	33.0%	30.6%
市立集会所の利用率	目標		43.0%	43.0%	43.0%	43.0%
	実績	39.7%	38.8%	41.5%	42.4%	41.9%

出典：第 4 次摂津市総合計画 第 10 期実施計画

2 摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（及び摂津市人口ビジョン）

本市の現状と将来の姿を踏まえ、本市が安定した人口を保ち、活力ある社会を維持・実現するための方向性や施策をまとめた摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、基本目標のうちの一つとして、「快適で利便性が高いまちせつつ」を掲げており、その中で、公共施設等の施策は密接に関連しています。

また、摂津市人口ビジョンでは、今後の摂津市の人口の変化がもたらす行政への影響について分析を行っています。

その中で、コミュニティ施設に関連がある影響として、下記の2点が挙げられます。

① 生産年齢人口の減少

人口ビジョンでは、年少人口、生産年齢人口、老年人口（高齢化）についてそれぞれの実態とそれに伴う課題が述べられていますが、特に生産年齢人口の減少は、コミュニティの弱体化に大きな影響があると想定されています。現在、市民の中に通勤・通学が市外となる傾向が強まっており、ベッドタウンとしての性格が強まっていること、また、自治会加入率の減少も見られることから、コミュニティへの帰属意識やまちへの愛着といったものが弱まってくるのが想定されます。それに加え生産年齢人口自体が減少していくことで地域の担い手がさらに不足し、コミュニティが弱体化して、結果として地域活力の低下につながると考えられます。コミュニティ施設としては、現在の主要な利用者層は比較的高い年齢層が多いものの、長期的な視点で見れば生産年齢人口の減少は、今後のコミュニティ施設利用者の減少につながると考えられます。

② 公共施設の維持・管理

本市では高度成長期の急激な人口増加に伴って集中的に建設された道路、下水道、公共施設等の基盤があり、これらの基盤が一斉に老朽化し、更新の時期を迎えます。今後、このような基盤の維持・補修には、多額の経費が必要となります。

コミュニティ施設としては、現状では公民館5館のうち築30年以上のものが4館となっており、耐用年数の50年まで折り返しをすぎた館がほとんどとなっています。また、集会所については、市内に50か所あるうち、耐用年数を経過しているものが42か所存在しています。これらのコミュニティ施設を中心に、施設再編の検討が必要であると考えます。

3 2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等 支援業務報告書

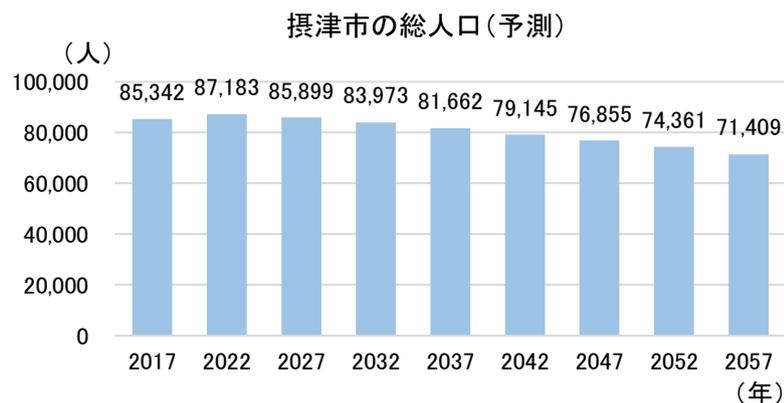
本報告書では、高齢者人口が最大になると見込まれている2040年頃にかけて発生するとされる行政への影響について、主に人口構造と財政の視点から現状の整理を行ったうえで、今後の本市の展望と、課題についての示唆を行っています。

①人口構造

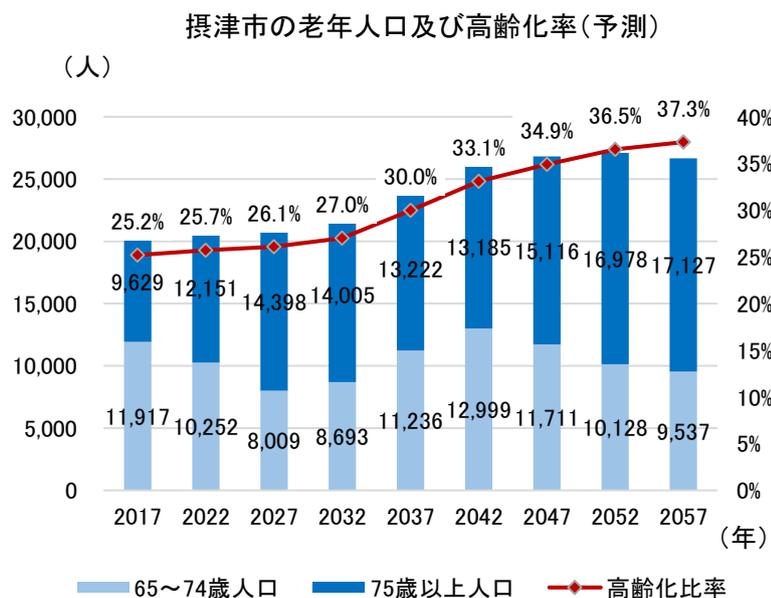
(ア) 市全体

本市の総人口は、緩やかな減少傾向が続きます。老年人口については摂津市でも増加傾向が続いており、2017年には高齢化率が25.2%まで上昇しています。

今後の人口の推計については、2022年をピークに減少に入り、2052年には約74,000人に減少するものと見込まれています。また、高齢化率の推計については、今後も増加の一途をたどり、2042年には33.1%、2052年には36.5%と35%を超えることが予測されています。



出典：2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書



出典：2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

(イ) 小学校地区別

地区別で人口の増減には差が見られると考えられ、特に人口減少が顕著な小学校区は三宅柳田、鳥飼東、鳥飼北、鳥飼、鳥飼西の小学校区であると見込まれています。また、逆に千里丘、味舌、摂津小学校区については、2017年と比較して、2052年の人口は増加すると見込まれています。

【摂津小学校区】

今後人口は横ばいで推移し、2052年時点で各小学校区内での総人口は最も多くなります。また、子ども(0～14歳)人口についても、2052年では、各小学校区内で最も多くなると予測されています。

一方で、老年人口についても、2052年には最も多くなります。(但し、高齢化率は2番目に低くなる想定)

【味舌小学校区】

2052年時点の人口は各小学校区内で2番目に多く、2017年～2052年まで人口は緩やかに増加を続けると見込まれ、高齢化率は最も低くなります。

【鳥飼西小学校区】

2017年以降、人口は減少傾向で推移すると考えられます。(2052年までの35年間の人口増減率は-29%) また、2052年時点での高齢化率は4番目に高くなっています。

【鳥飼北小学校区】

2017年～2052年にかけての人口減少スピードが各小学校区内で2番目に速く、35年間の増減率は-43%となっています。また、高齢化率の上昇スピードは各小学校区内で3番目に速く、2017年に24.4%の高齢化率が、2052年には46.7%になり、高齢化率も3番目に高くなると予測されています。

【千里丘小学校区】

2017～2052年までは人口が増えていくと予測されます。また、その増加数は各小学校区内で最大です。高齢化率については、2027年以降徐々に上昇していく見込みですが、2052年時点では、各小学校区内で3番目に低くなっています。

【三宅柳田小学校区】

2017年以降、人口は減少傾向で推移すると考えられます。(2052年までの35年間の人口増減率は-27%) また、2017年に各小学校区内で2番目に低かった老年人口は2052年に4番目に低下すると予測されています。

【別府小学校区】

2017年～2052年にかけての人口は緩やかに減少していくと予測されています。(2052年までの35年間の人口増減率は-12%) 高齢化率の上昇スピードについては、各小学校区内で2番目に遅くなっています。

【味生小学校区】

総人口は2017～2027年まで増加し、その後は緩やかに減少していきます。(2052年までの35年間の人口増減率は-8%) 2017～2052年間の間の老年人口の増加スピードは3番目に速くなっています。また、2052年の高齢化率は38.9%で、5番目に高くなっています。

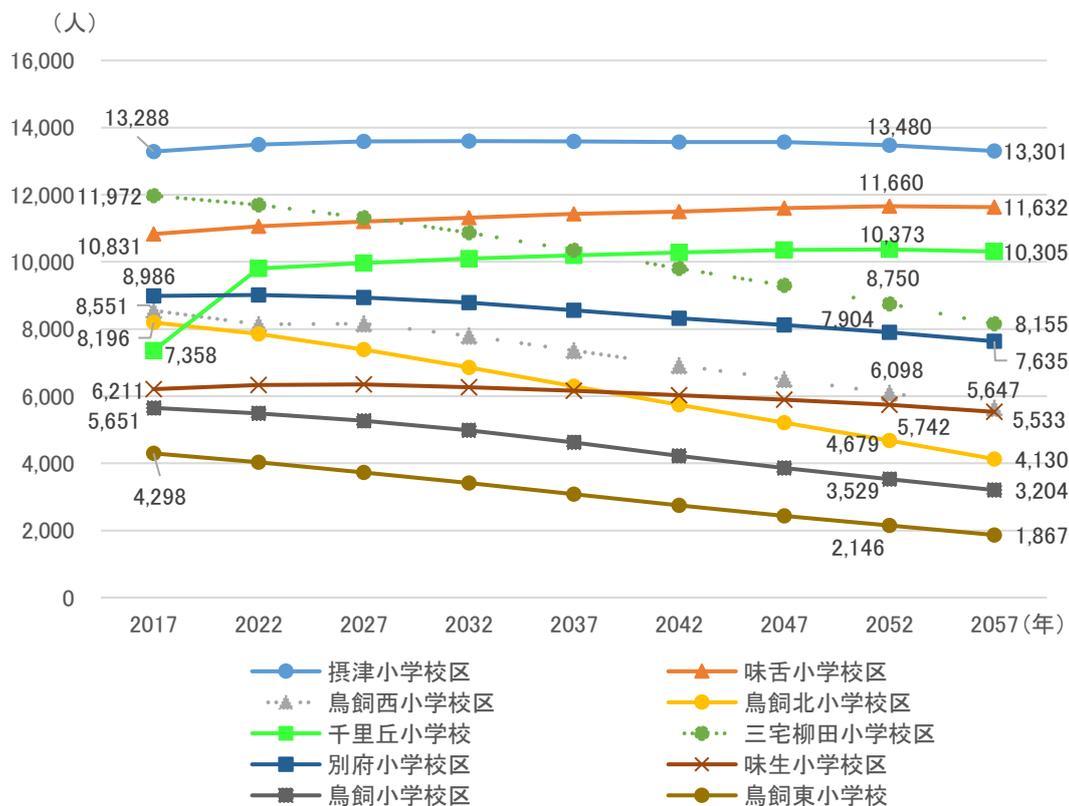
【鳥飼小学校区】

2052年の人口は各小学校区内で2番目に少なくなる見込みです。また、2017年～2052年にかけての人口減少スピードが3番目に速く、35年間の増減率は-43%となっています。また、2017～2052年にかけての高齢化率の上昇スピードが最も高く、2017年に31.7%であったものが、2052年には63.1%となり、最も高齢化率が高い小学校区となります。

【鳥飼東小学校区】

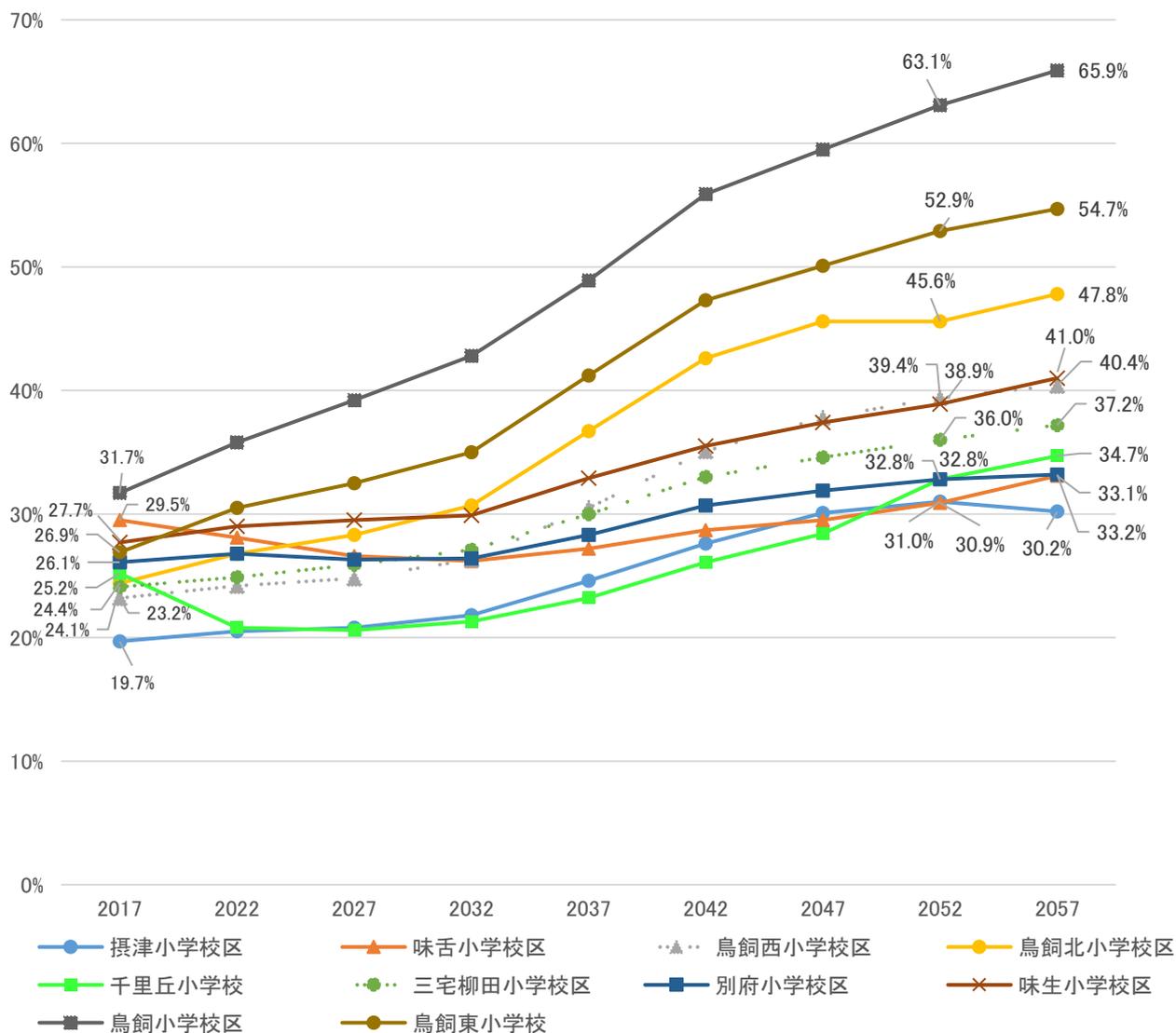
2052年の人口は各小学校区内で最も少なくなる見込みです。また、2017年～2052年にかけての人口減少スピードも最も速く、35年間の増減率は-50%となっています。加えて、高齢化率も2番目に高く、2017年に26.9%であったものが、2052年には52.9%まで上昇するとみられています。

小学校区別の人口(予測)



出典：2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

小学校区別の高齢化率(予測)



出典：2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書

このように、人口減少及び高齢化率については本市全体で進行していきませんが、地域間で差がみられると考えられます。摂津・味舌小学校区では2052年の高齢化率が30%台に留まるのに対し、鳥飼・鳥飼東小学校区では2052年の高齢化率が50%を超えることとなり、特定の小学校区での高齢化が顕著となります。このような人口減少と高齢化率の同時進行は、地域コミュニティの維持・管理に深刻な影響を及ぼすことが考えられ、地域コミュニティの拠点となるコミュニティ施設、中でも利用者の区域が限定的なコミュニティ施設については、特に大きな影響を受けると考えられます。

②財政面

今後の財政については、人口構造の変化（労働人口の減少）から個人市民税は大きく減少すると見込まれており、2017年度で約45億円あった税収は、2057年度には約36億円まで減少するものと予測されて

います。

また、高齢者の増加に伴う介護や生活支援の需要の拡大により、高齢者関連の歳出は 2057 年度には 2017 年度比で約 2 倍になると見込まれていること、また、老朽化した公共施設の維持・更新のため今後大幅な歳出の増加が想定されています。

本稿をまとめると、人口減少及び高齢化率の進行が地域コミュニティの運営・維持に対して大きな影響を及ぼす可能性があることが指摘されており、特に、鳥飼・鳥飼東小学校区での人口の減少と高齢化率の上昇が顕著となると見込まれており、新たなコミュニティ施設の運営が必要となってきました。

4 摂津市公共施設等総合管理計画

本計画では、コミュニティ施設を含めた公共施設についての管理方針を示しており、FM（ファシリティマネジメント）の視点から公共施設のあり方を検討しています。

①現状

本市が保有する公共建築物の総延床面積は約 228,098 m²で、人口（85,054 人：平成 27 年国勢調査）1 人当たりの延床面積は 2.68 m²となっており、大阪府下の自治体や全国の類似自治体（人口 8～9 万人で平成の合併を行っていない）とほぼ同程度の水準となっています。

②課題

築 30 年以上の建物の延べ床面積が全体の約 64%を占め、施設の老朽化が進んでいく中で、施設を維持していくためには建て替えや大規模改修に係る費用が生じることとなり、この財政措置が大きな課題と言えます。今後 40 年間の更新費用等は約 1,028 億円（年平均約 26 億円）と試算されていますが、これは過去 10 年間の公共建築物に係る設備的投資の平均費用である 10 億円と大きく乖離しています。

また、2040 年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書にあるように、摂津市の人口が減少して行く場合、市税の収入の減少や、少子高齢化に伴う扶助費の増加なども考えられ、財政的には今後さらに厳しい状況となると予測されます。加えて、人口減少は公共施設の利用需要減少や、利用者のニーズの変化をもたらすことも予想されます。

上記の建て替えや大規模改修に係る費用の負担及び市税等の収入減少による財政運営、及び公共施設の利用需要減少や利用者のニーズの変化が、今後のコミュニティ施設を含む公共施設の主要な課題と考えられます。

③課題を踏まえての目指すべき姿

本計画では、公共施設をとりまく現状と課題、及び総合計画などの各種上位計画との整合性を踏まえ、「公共施設等マネジメントの実践による高質で持続可能なサービスの提供」を基本理念とし、さらに以下を基本方針として定めています。

■施設総量の最適化

- ・将来の人口見通しや財政状況を踏まえ、公共施設総量の最適化を図る

■ライフサイクルコストの最適化

- ・公共施設等の維持管理費用や運営費用の縮減及び適切な受益者への負担のあり方を検討する
- ・優先度評価で必要と判断したものについては長寿命化を図るなどの方策を用い、費用の最適化を図る

■機能の集約化

- ・公共建築物が持つ機能に着目し、機能の集約ができないかを検討する（複合化、集約化、広域化等）

■専任組織による効果的なマネジメントの推進

- ・効率的で効果的なマネジメントのため、情報の一元化を図る

■市民等との連携による公共施設等マネジメント

- ・公共施設に関する現状と課題などを分かりやすく市民等に情報発信し問題意識の共有化を図る
- ・地域主体での維持管理や運営の可能性を探り、検討する
- ・民間事業者の資金やノウハウを活用し、施設の管理や運営、整備などをより効果的・効率的に行うことができる手法を検討する

④コミュニティ施設の管理に関する基本的な方針

本計画内で定められている、コミュニティ施設の基本的な管理方針は以下のとおりとなります。

(ア) 公民館

公民館は、社会教育施設として、地域における生涯学習・社会教育の拠点であるとともに、災害発生時の防災拠点となる施設ともなっています。本市にある公民館は全5館で、概要は以下のとおりとなっています。

公民館名	建築年度 (西暦)	耐用 年数	総延床 面積 (㎡)	中学 校区
安威川公民館	1999	50	1,328	第1
千里丘公民館	1973	50	522	第3
鳥飼東公民館	1985	50	601	第5
味生公民館	1985	50	614	第4
新鳥飼公民館	1980	50	939	第2

出典：摂津市公共施設等総合管理計画

公民館については、築40年以上の館が2館、築30年以上の館が2館、築15年以上の館が1館となっています。うち2館にはエレベーターが設置されています。残りの館については老朽化に伴う建て替えの機会を捉え、多機能化・多目的化に資する新しい公共施設の設置を検討します。また、今後も定期的な点検・診断を実施し、必要に応じた修繕等を行うことで、施設の長寿命化を図っていきます。

(イ) コミュニティ施設

本市のコミュニティ施設として、コミュニティプラザ、別府コミュニティセンター、正雀市民ルーム、市民ルーム フォルテ 301・303 などの施設があります。

コミュニティ施設名	建築年度 (西暦)	耐用 年数	総延床 面積 (㎡)	中学校区
コミュニティプラザ	2010	50	4,634	第 1
別府コミュニティセンター	2016	30	1,519	第 4
正雀市民ルーム	1994	47	610	第 1
市民ルーム フォルテ 301	1991	38	73	第 3
市民ルーム フォルテ 303	1991	38	58	第 3

出典：摂津市公共施設等総合管理計画

コミュニティプラザについては、南千里丘まちづくりの事業として建設され、本市のコミュニティの核となる中心拠点機能を持つ施設です。2010 年の建築で現状外観に問題はないものの、屋上庭園という構造上、雨漏りの対策が課題となっています。

別府コミュニティセンターについては、旧鯨生野団地跡地を活用し、別府公民館及び第 19 集会所の老朽化に伴う耐震性の確保やバリアフリー化への対策として 2016 年 12 月より開館しました。今後は地域コミュニティの拠点施設として計画的な維持管理が必要となっています。

正雀市民ルームについては、NPO 団体や市民グループ、ボランティアグループなどに会議、交流、展示等の場所を提供する施設として運用されています。建築から 25 年以上が経過しており経年劣化が懸念されるため、予防保全として定期的な点検・診断を実施し、必要に応じた修繕等を行うことで長寿命化を図っていきます。

市民ルーム フォルテ 301・303 については、正雀市民ルームと同じく NPO 団体や市民グループ、ボランティアグループなどに会議、交流、展示等の場所を提供する施設として運用されています。商業施設・マンションの一部として区分所有で保有しています。

(ウ) 集会所

集会所は市内に 50 か所あり、そのうち、第 4 中学校区には 10 か所あります。

集会所施設名	建築年度 (西暦)	耐用 年数	総延床 面積 (㎡)	中学校区
第 6 集会所	1913	22	335	第 4
第 13 集会所	1974	22	87	第 4
第 27 集会所	1982	34	95	第 4
第 28 集会所	1983	22	124	第 4
第 30 集会所	1984	22	75	第 4
第 5 集会所	1989	22	138	第 4
第 43 集会所	1993	22	146	第 4
第 47 集会所	1997	22	139	第 4
一津屋新集会所 (一津屋第 1 団地集会所)	1997	22	147	第 4
第 48 集会所	1998	47	139	第 4

出典：摂津市公共施設等総合管理計画

※集会所については、第 4 中学校区に所在のもののみ抜粋

第 4 中学校区の集会所については、10 か所中、耐用年数を経過しているものが 9 か所存在しているため、老朽化に伴う修繕や建て替え費用が大きな課題となっています。今後、集会所の利用形態や利用状況を勘案しながら地域コミュニティを維持できるようなかたちで長寿命化や統廃合等について検討する必要があります。

(2) 統計資料から見るコミュニティ施設の現状

公民館、コミュニティプラザ、別府コミュニティセンター、正雀市民ルームについて、資料をもとに現在の利用状況を整理します。

※令和元年度については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年3月9日から3月31日までの期間、貸館を停止していたため、利用者数及び利用件数は令和2年3月8日までの数値となっていることにご留意ください。

①公民館

(ア) 利用者数及び利用件数

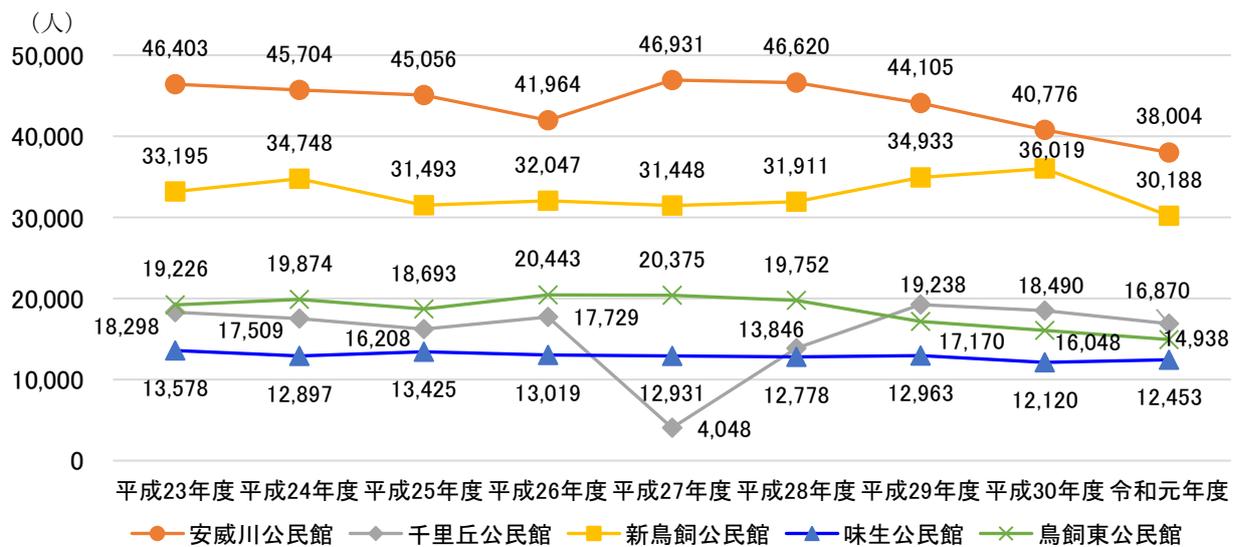
平成23年度から令和元年度までの利用者数の遷移を見てみると、総数では利用人数は緩やかながら減少しており、平成30年度の利用者数は平成23年度の利用者の85%程度に留まっています。

各公民館別にみると、千里丘公民館及び新鳥飼公民館では平成30年度の利用者数は平成23年度の利用者数と同程度からやや増加の傾向となっていますが、他の公民館では、平成30年度の利用者数は平成23年度の利用者数の約84%～89%程度となっています。

※千里丘公民館は平成27年7月1日から平成28年5月31日までの期間、耐震補強等工事（増築工事含む）のため貸館を停止していたことにご留意ください。

各公民館の総利用者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対する平成30年度の利用人数比率	平成23年度に対する令和元年度の利用人数比率
総数	144,600	144,585	136,268	135,640	126,587	131,893	128,409	123,453	112,453	85.4%	77.8%
安威川公民館	46,403	45,704	45,056	41,964	46,931	46,620	44,105	40,776	38,004	87.9%	81.9%
千里丘公民館	18,298	17,509	16,208	17,729	4,048	13,846	19,238	18,490	16,870	101.0%	92.2%
新鳥飼公民館	33,195	34,748	31,493	32,047	31,448	31,911	34,933	36,019	30,188	108.5%	90.9%
味生公民館	13,578	12,897	13,425	13,019	12,931	12,778	12,963	12,120	12,453	89.3%	91.7%
鳥飼東公民館	19,226	19,874	18,693	20,443	20,375	19,752	19,238	18,490	16,870	83.5%	77.7%



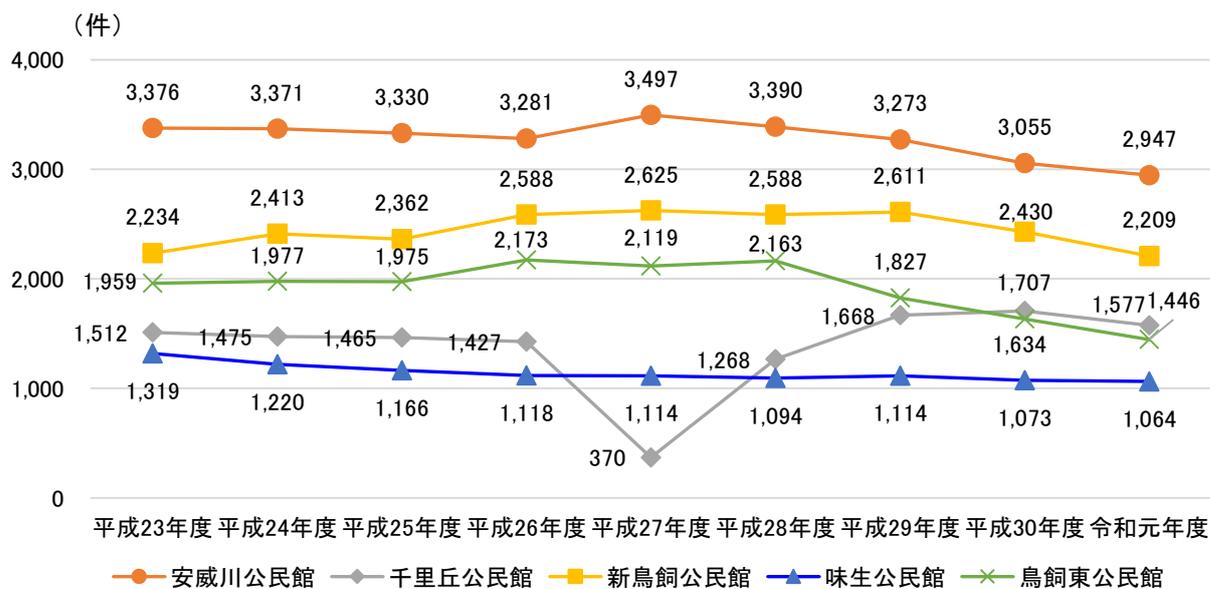
出典：摂津市統計要覧（平成28年度～令和元年度）

また、同様に平成23年度から令和元年度までの利用件数の遷移を見てみると、総数では利用件数は利用人数と同様に緩やかながら減少しており、平成30年度の利用件数は平成23年度の利用件数の85%程度に留まっています。

各公民館別にみると、千里丘公民館では、平成28年度以降利用件数は増加の傾向にあり、平成23年度と平成30年度を比較しても利用件数は増加しています。新鳥飼公民館については、利用件数は平成27年度までは増加傾向にありましたがそれ以降は減少に転じています。それ以外の公民館では、緩やかではありますが、減少の傾向にあります。

各公民館の総利用件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対しての平成30年度の利用人数比率	平成23年度に対しての令和元年度の利用人数比率
総数	11,716	11,809	11,442	11,632	10,773	11,206	10,493	9,899	9,243	84.5%	78.9%
安威川公民館	3,376	3,371	3,330	3,281	3,497	3,390	3,273	3,055	2,947	90.5%	87.3%
千里丘公民館	1,512	1,475	1,465	1,427	370	1,268	1,668	1,707	1,577	112.9%	104.3%
新鳥飼公民館	2,234	2,413	2,362	2,588	2,625	2,611	2,430	2,209	2,209	108.8%	98.9%
味生公民館	1,319	1,220	1,166	1,118	1,114	1,094	1,114	1,073	1,064	81.3%	80.7%
鳥飼東公民館	1,959	1,977	1,975	2,173	2,119	2,163	1,827	1,634	1,446	83.4%	73.8%



出典：摂津市統計要覧（平成28年度～令和元年度）

(イ) 登録クラブ件数及び利用件数・利用者数

登録クラブの利用件数と利用者数を見ると、鳥飼東公民館は利用件数・利用者数ともに、平成 28 年度から減少しています。千里丘公民館では、年度によってのばらつきは見られるものの、どちらかという増加傾向にあります。その他の公民館については、年度によって数にばらつきがあり、明確な傾向はみられませんでした。

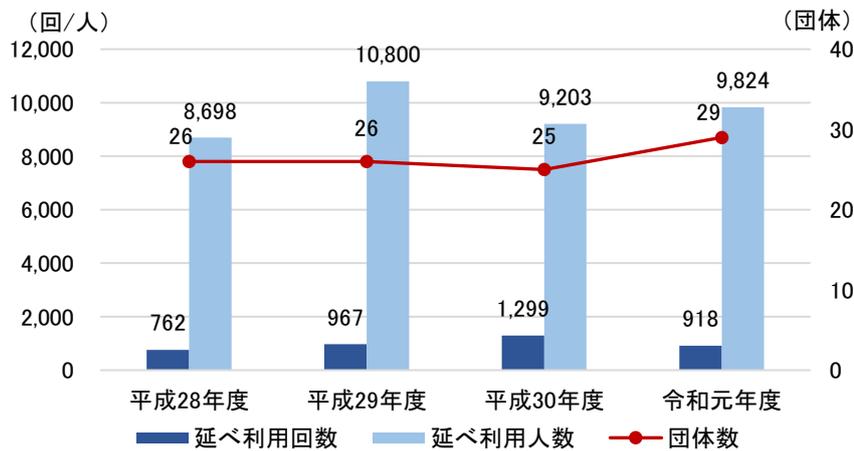
登録クラブの件数については、安威川公民館や鳥飼東公民館で減少傾向にあります。

公民館別登録クラブ利用状況の推移

【安威川公民館】



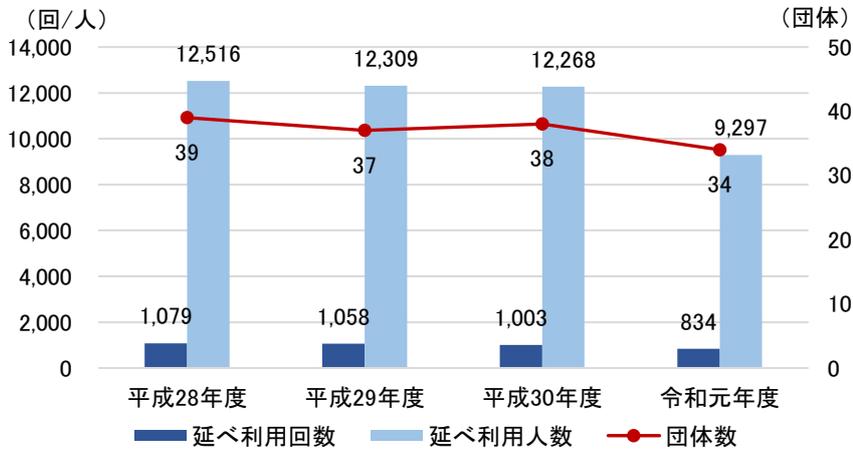
【千里丘公民館】



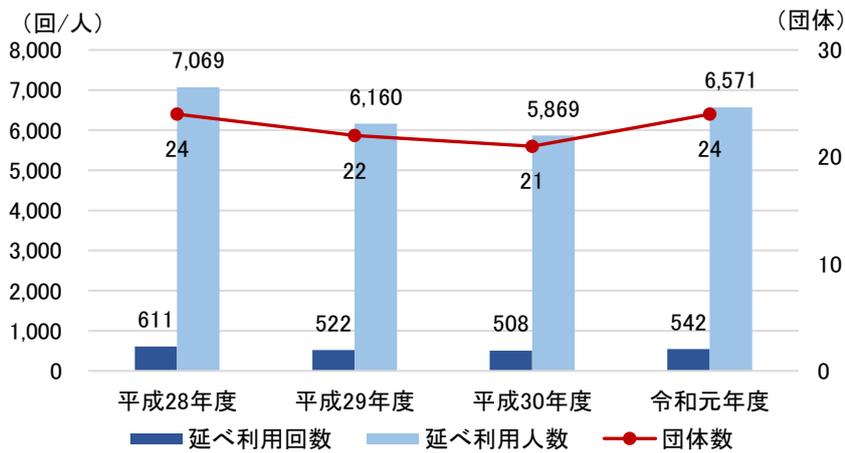
出典：摂津市事務報告書（平成 28 年～令和元年度）

公民館別登録クラブ利用状況の推移

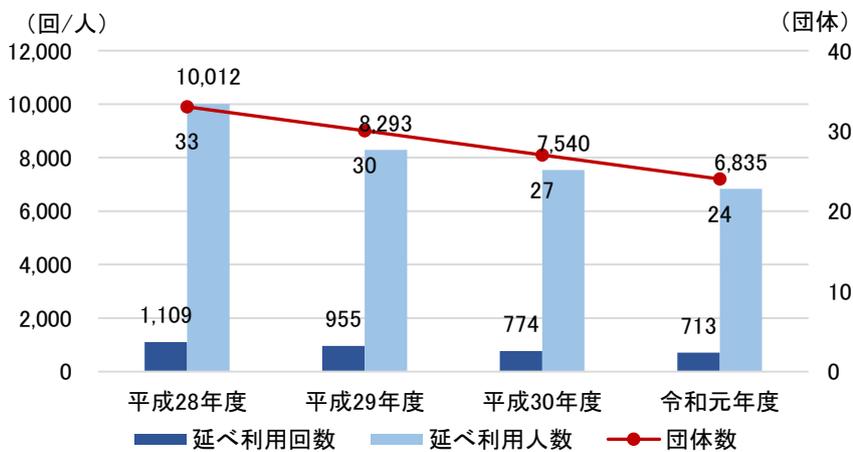
【新鳥飼公民館】



【味生公民館】



【鳥飼東民館】



出典：摂津市事務報告書（平成28年～令和元年度）

(ウ) 公民館別利用件数における登録クラブと一般利用の件数内訳

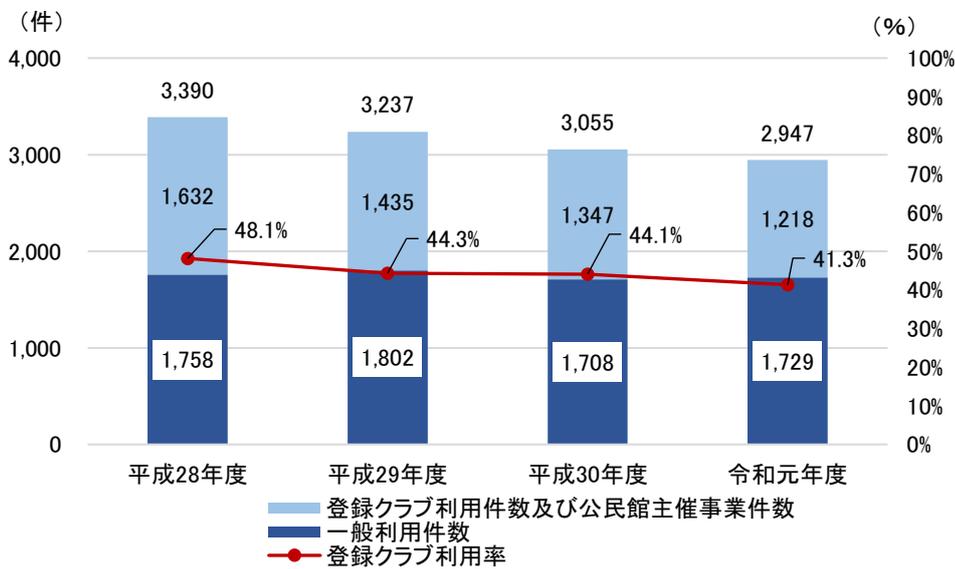
公民館別利用件数における登録クラブと一般利用の件数の内訳をみると、千里丘公民館では、登録クラブの比率が高く、平成30年度では約80%程度を占めています。それ以外の公民館では、登録クラブの比率は約40%～50%程度となっています。

また、経年比較でみると、平成28年～平成30年にかけては、千里丘公民館以外の登録クラブの比率は上がり下がりがあるもののやや低下しています。反対に、千里丘公民館では登録クラブの比率は上昇しています。

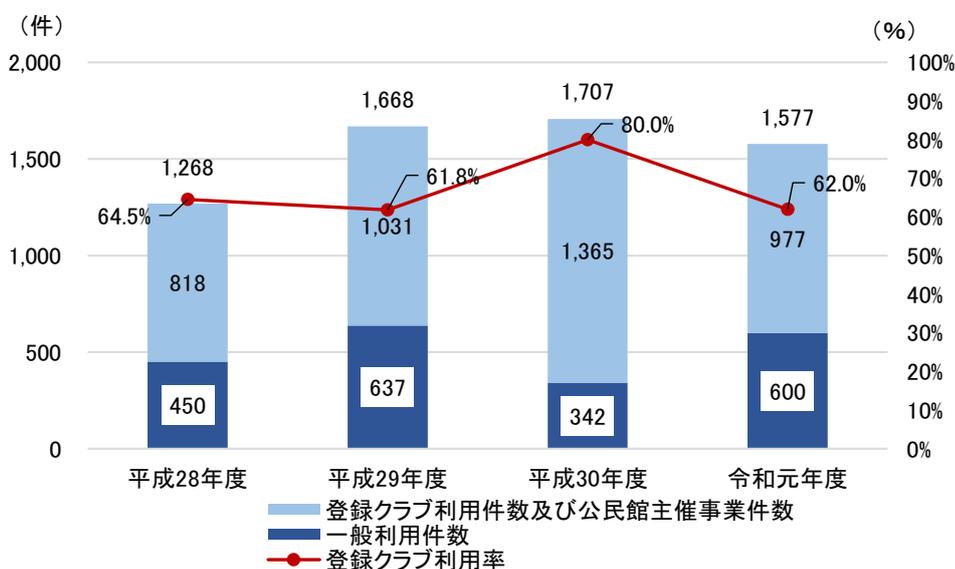
公民館別利用件数の内訳と登録クラブ利用率

※登録クラブの利用件数に公民館主催事業を含む

【安威川公民館】



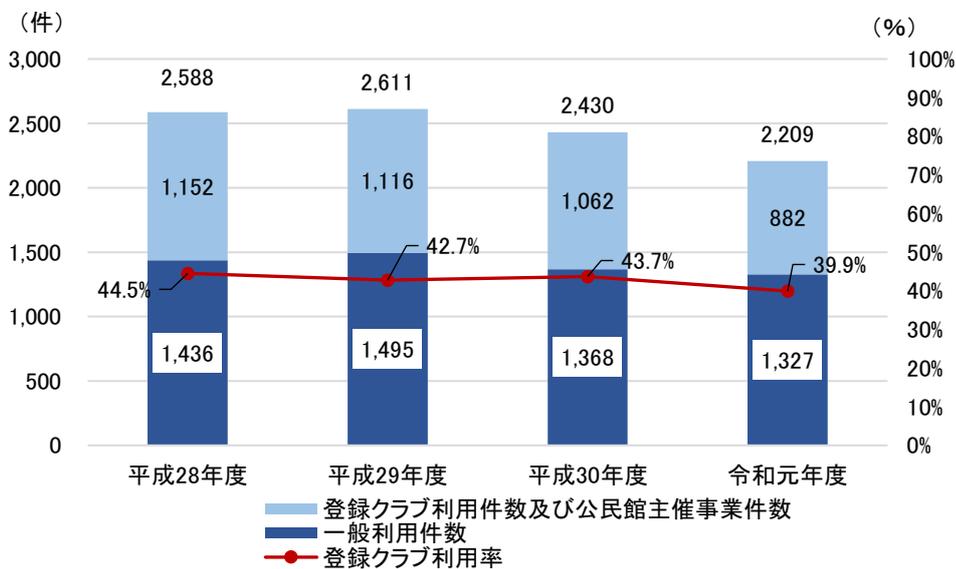
【千里丘公民館】



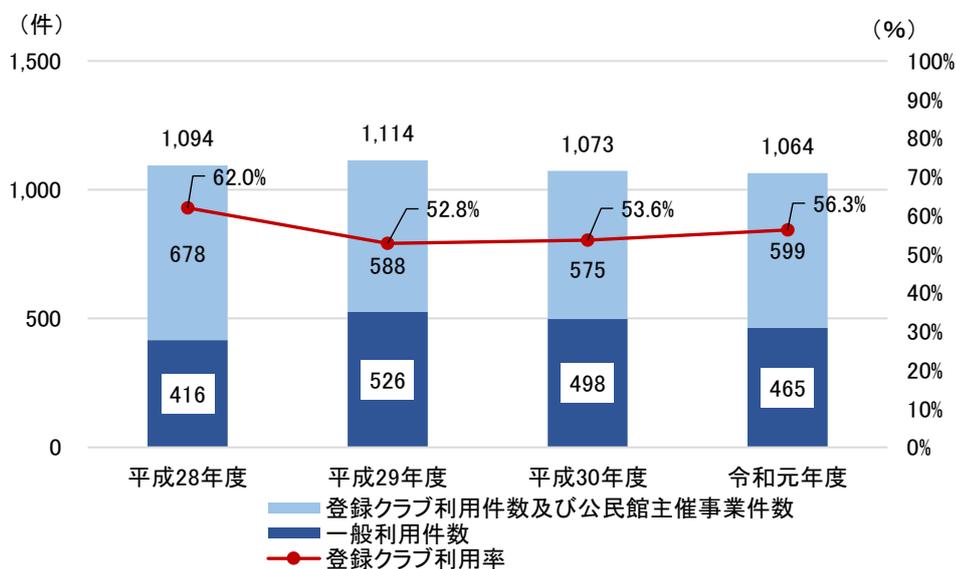
公民館別利用件数の内訳と登録クラブ利用率

※登録クラブの利用件数に公民館主催事業を含む

【新鳥飼公民館】



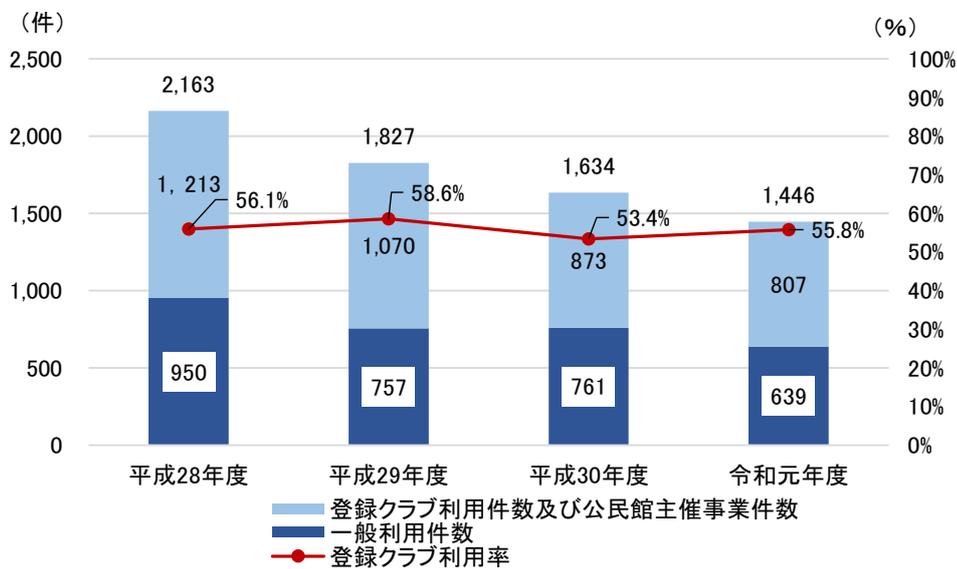
【味生公民館】



公民館別利用件数の内訳と登録クラブ利用率

※登録クラブの利用件数に公民館主催事業を含む

【鳥飼東民館】



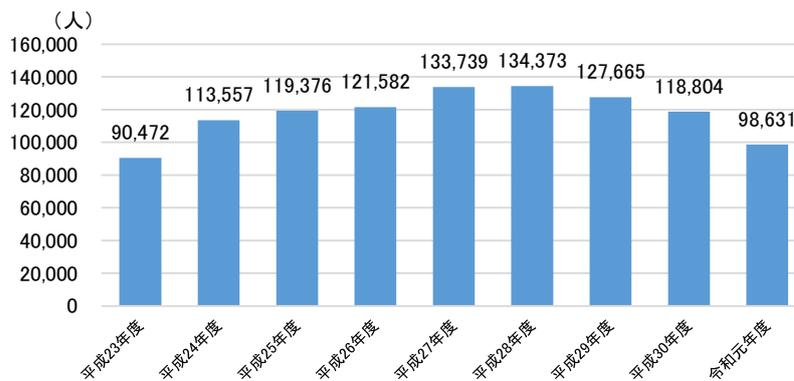
②コミュニティプラザ

(ア) 利用者数及び利用件数

平成 23 年度から令和元年度までの利用者数の遷移を見てみると、利用者数は平成 27 年度までは増加傾向にあり、それ以降は、利用者数は減少しています。しかし、平成 30 年度の利用者数は平成 23 年度の利用者数と比較すると増加しています。利用件数についても、利用者数よりも変化は緩やかであるものの、同様の傾向がみられます。

コミュニティプラザの総利用者数

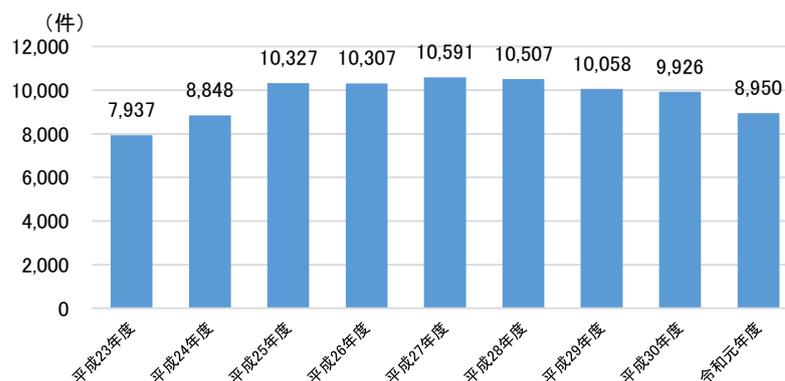
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対する平成30年度の利用者数比率	平成23年度に対する令和元年度の利用者数比率
コミュニティプラザ	90,472	113,557	119,376	121,582	133,739	134,373	127,665	118,804	98,631	131.3%	109.0%



出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

コミュニティプラザの総利用件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対する平成30年度の利用件数比率	平成23年度に対する令和元年度の利用件数比率
コミュニティプラザ	7,937	8,848	10,327	10,307	10,591	10,507	10,058	9,926	8,950	125.1%	112.8%



出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

また、コミュニティプラザ全体の稼働率については、平成 29 年度 46.6%、平成 30 年度 49.6%、令和元年度 45.9%と、概ね 45～50%程度で推移しており、大きな変動は見られません。（摂津市事務報告書（平成 29 年度～令和元年度）より）

③別府コミュニティセンター

(ア) 利用者数及び利用件数

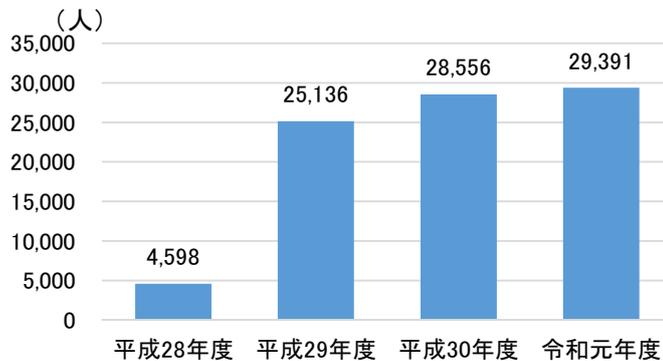
別府コミュニティセンターの利用者数については、平成28年12月の開館後、持続的に増加しています。また、利用件数についても、全体の傾向としては増加傾向にあると言えます。

但し、稼働率については平成29年度16.8%、平成30年度24.4%、令和元年度25.0%となっており、コミュニティプラザなどと比較すると、交通アクセス等地理的な点からも、相対的に稼働率は低くなっています。(摂津市事務報告書(平成29年度～令和元年度)より)

別府コミュニティセンターの総利用者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度に対する平成30年度の利用人数比率	平成29年度に対する令和元年度の利用人数比率
別府コミュニティセンター	4,598	25,136	28,556	29,391	113.6%	116.9%

※別府コミュニティセンターは平成28年12月開館のため、比較は平成29年度と行っています。

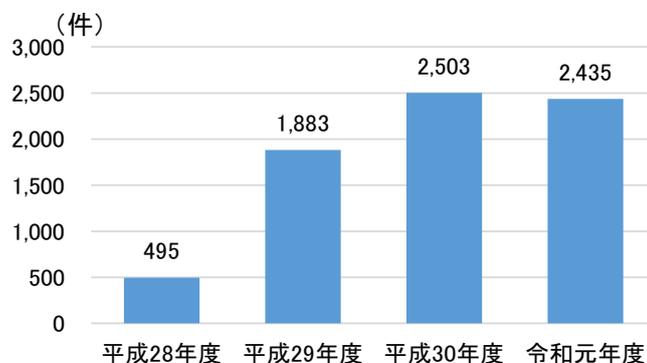


出典：摂津市統計要覧(平成28年～令和元年度)

別府コミュニティセンターの総利用件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度に対する平成30年度の利用件数比率	平成29年度に対する令和元年度の利用件数比率
別府コミュニティセンター	495	1,883	2,503	2,435	132.9%	129.3%

※別府コミュニティセンターは平成28年12月開館のため、比較は平成29年度と行っています。



出典：摂津市統計要覧(平成28年～令和元年度)

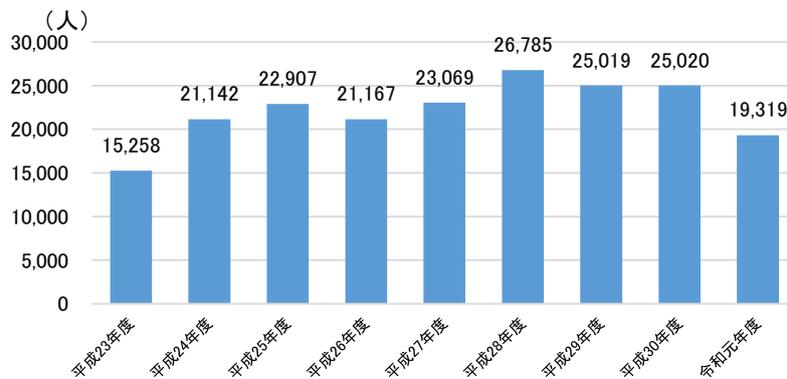
④正雀市民ルーム

(ア) 利用者数及び利用件数

平成 23 年度から令和元年度までの利用者数の遷移を見てみると、利用者数は平成 28 年度がピークで約 27,000 人となっています。また、平成 23 年度と令和元年度以外は、年間の利用者は 20,000 人を超えています。年度によって利用者数にばらつきはあるものの、平成 30 年度の利用者数は平成 23 年度の利用者数と比較すると 164%の増加となっています。

正雀市民ルームの総利用者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対しての平成30年度の利用人数比率	平成23年度に対しての令和元年度の利用人数比率
正雀市民ルーム	15,258	21,142	22,907	21,167	23,069	26,785	25,019	25,020	19,319	164.0%	126.6%

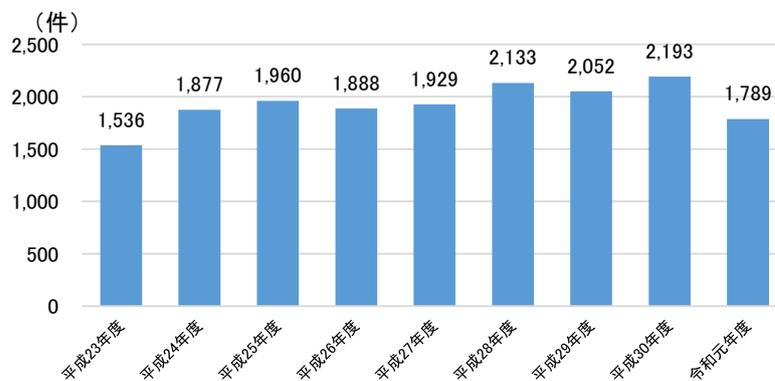


出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

利用件数については平成 30 年度がピークとなっており、平成 23 年度と令和元年度を除いて、年間 1,800 件以上の利用があります。また、利用者数と同様に、利用件数は年度によってばらつきがあるものの、平成 30 年度の利用件数は平成 23 年度の利用件数と比較して約 143%の増加となっています。

正雀市民ルームの総利用件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対しての平成30年度の利用件数比率	平成23年度に対しての令和元年度の利用件数比率
正雀市民ルーム	1,536	1,877	1,960	1,888	1,929	2,133	2,052	2,193	1,789	142.8%	116.5%



出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

また、稼働率については、平成 29 年度 38.1%、平成 30 年度 40.7%、令和元年度 35.5%となっており、概ね 35%～40%程度で推移しており、大きな変動は見られません。(摂津市事務報告書(平成 29 年度～令和元年度)より)

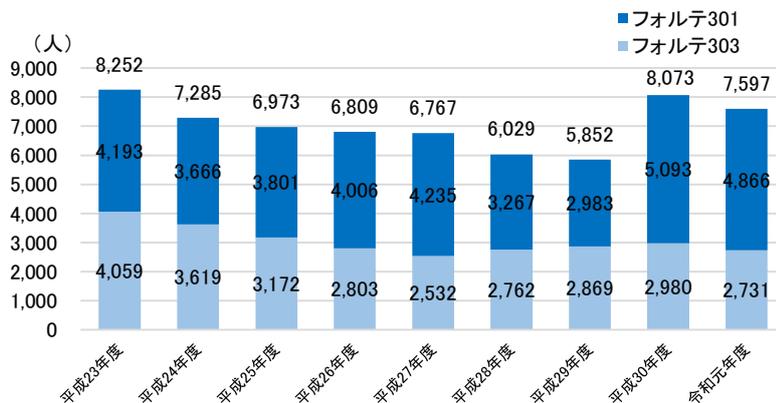
⑤市民ルーム フォルテ 301・303

(ア) 利用者数及び利用件数

平成 23 年度から令和元年度までの利用者数の遷移をみると、利用者数は平成 23 年度の 8,252 人から減少傾向にあり、平成 29 年度では 5,852 人まで減ったものの、平成 30 年度には 8,073 人に増加し、令和元年度も 7,597 人となっています。

市民ルーム フォルテ 301・303 の総利用者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対しての平成30年度の利用人数比率	平成23年度に対しての令和元年度の利用人数比率
総数	8,252	7,285	6,973	6,809	6,767	6,029	5,852	8,073	7,597	97.8%	92.1%
フォルテ301	4,193	3,666	3,801	4,006	4,235	3,267	2,983	5,093	4,866	121.5%	116.1%
フォルテ303	4,059	3,619	3,172	2,803	2,532	2,762	2,869	2,980	2,731	73.4%	67.3%

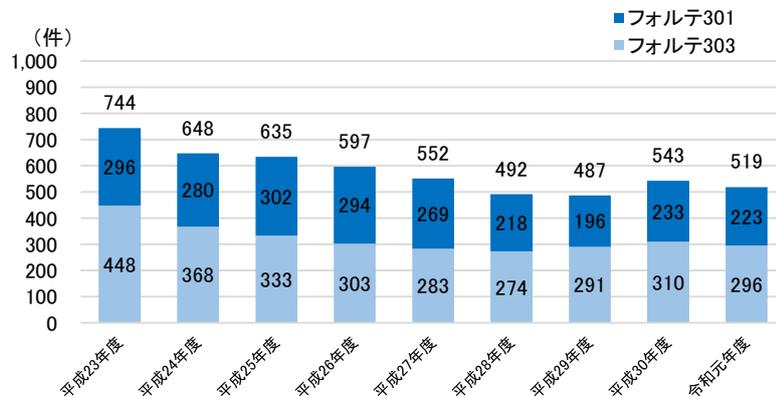


出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

利用件数についても利用者数と同様に平成 23 年度の 744 件から減少傾向にあり、平成 29 年度では 487 件まで減ったものの、平成 30 年度及び令和元年度については、それぞれ 543 件、519 件となっており、増加傾向にあります。

市民ルーム フォルテ 301・303 の総利用件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成23年度に対しての平成30年度の利用人数比率	平成23年度に対しての令和元年度の利用人数比率
総数	744	648	635	597	552	492	487	543	519	73.0%	69.8%
フォルテ301	296	280	302	294	269	196	233	223	223	78.7%	75.3%
フォルテ303	448	368	333	303	283	274	291	310	296	69.2%	66.1%



出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

また、稼働率については、平成 29 年度 22.6%、平成 30 年度 25.2%、令和元年度 25.7%となっており、概ね 20%～25%程度で推移しています。（摂津市事務報告書（平成 29 年度～令和元年度）より）

(3) 摂津市のコミュニティ施設関連計画及びデータのまとめ

(1) 及び(2) から、今後のコミュニティ施設の運営に係る課題を整理し、課題を踏まえて提示されているコミュニティ施設の方向性をまとめました。

今後の主要な課題

コミュニティ施設に係る課題としては、主に以下の4点が挙げられます。

- 人口の問題：今後摂津市の人口が減少していく中で、公共施設の利用需要減少や、利用者のニーズの変化が起こる可能性が高くなっています。特に、鳥飼、鳥飼東、鳥飼北小学校区では人口減少のスピードが他小学校区と比較して早く進むと予測され、本地域に根ざしている新鳥飼公民館、鳥飼東公民館等については、特に利用需要の減少が懸念されます。
- 人口減少による財政の問題：市税の減少、及び高齢者の増加における歳出の増加が見込まれ、財源の縮小と歳出の増加は今後の公共施設の維持・管理にも影響を及ぼすと考えられます。
- 施設老朽化による改修費などの問題：今後40年間の更新費用等は約1,028億円（年平均約26億円）と試算されているが、これは過去10年間の公共建築物に係る設備的投資の平均費用は10億円であるため、財政上大きな課題となっています。
- コミュニティ施設の利用率の格差：現状のデータから、稼働率が算出されているコミュニティ施設については、施設によってその稼働率にかなり差が生じています。また、公民館についても、ここ数年で利用者等が横ばいの公民館もあれば減少傾向がみられる公民館もあり、このような格差を是正していくことも必要であると考えられます。

課題を踏まえた方向性

FM(ファシリティ・マネジメント)の視点を踏まえ、今後の方向性については主に以下のような取組が摂津市公共施設等総合管理計画で提案されています。

- 将来の人口見通しや財政状況を踏まえ、統廃合や機能の集約、広域連携など、公共施設総量の最適化を図り、維持すべき公共施設の規模や配置について検討を行うこと
- 優先度評価で必要と判断したものについては長寿命化を図るなどの方策を用い、ライフコストの最適化を図ること
- 今後さらなる人口の減少に備え、地域からの意見を吸い上げ、ニーズに即したコミュニティ施設づくりを行うことで利用者の減少を食い止めること

目指すべき姿

コミュニティ施設が市民活動の拠点として愛され、積極的に活用されている状態かつ、その状態が一時的ではなく、将来にわたってその状態を保ち続けていくことが目指すべき姿です。そのために、上記の方向性を踏まえ、計画的に効果的かつ持続可能な取組を検討し、実践していく必要があります。

3. ヒアリング調査結果

(1) コミュニティ施設へのヒアリング調査

1 調査概要

本調査の調査概要は以下の通りです。

調査目的	コミュニティ施設の管理者のご意見を聴取することで、コミュニティ施設運営上における管理者の課題やニーズを把握することを目的として実施しました
調査対象者	コミュニティ施設の管理者
調査方法	口頭によるインタビュー形式でのヒアリング調査
調査期間	令和3年3月

2 調査対象施設

調査を実施した施設は以下の通りです。

施設名
安威川公民館
千里丘公民館
新鳥飼公民館
味生公民館
鳥飼東公民館
正雀市民ルーム
コミュニティプラザ
別府コミュニティセンター
いきいきプラザ

3 調査結果のまとめ

問1. 貴施設が「公の施設」設置条例の目的の達成のためにどのような取組をされているかお教えてください。

- 公民館では、主に『講座の開催』及び『公民館まつり』の開催を中心に、市民の交流の場、及び生涯学習の場を提供する取組を行っています。
- コミュニティ施設等では、公民館と同様にイベントの開催を行いつつも、エントランス利用提案事業や団体イベントへの助言、音楽フェスタ(いきいきプラザ)など独自の取組も行っていきます。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館
安威川公民館
<ul style="list-style-type: none">・7分野に沿った講座を開催することで、生涯学習の機会を提供しています。・年に1回公民館まつりを開催しており、普段公民館を利用している団体の成果発表を主催しています。
千里丘公民館
<ul style="list-style-type: none">・公民館では、テーマを「人権・福祉」、「平和・国際化」、「幼児・児童」、「生活・環境」、「社会・経済」、「自然・技術」、「文化・芸術」に分け、講座を開催しています。また、講座からクラブ化への助言を行っています。・学習の成果としてクラブ・サークルによる公民館まつりを年1回開催し、広く市民に活動をアピールしています。
新鳥飼公民館
<ul style="list-style-type: none">・ご年配の方や子育て中を含めた幅広い年代層の方が、地域に密着した場所で文化活動や交流・勉強して頂くということを第一に考えています。(他の地域と比較して)交通が不便という特性があり、そのため地域密着ということを特に意識しています。
味生公民館
<ul style="list-style-type: none">・地域の活性化のため、祭りなどのイベントを開催しています。・愛育園や味生小学校と連携した講座を開催しています。・男性や子どもが参加できるような取組も行っていきます。
鳥飼東公民館
<ul style="list-style-type: none">・人間基礎教育の実践として、分野ごとの講座の開催と、公民館まつりの開催を行っています。・子どもと高齢者が交流できる取組を行っています。

コミュニティ施設・文化施設	
正雀市民ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の方の交流の場として、いつでも寄ってもらえるような場所を目指して取組を行っています。
コミュニティプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・南千里丘地域に関連したイベント企画などをコミュニティプラザから企画して、交流の場を設けています。 ・団体主催のイベントに対して、助言や提案を行ったり、イベント周知などを担っています。
別府コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会や人形会の開催を行っています。 ・エントランス利用提案事業という取組を行っており、個人から提案された講座を選考のうえ採用し、実施しています。今までにはマジックショーなどを行いました。 ・市民活動支援講座として、語学や人権等の分野の講座も行っていました。
いきいきプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホールでのコンサートや落語会の開催を実施したり、いきいきプラザとしては囲碁講座などを実施するなど広く市民を対象にしたイベントを開催し、市民の文化への理解・関心を向上させていくための取組を行っています。 ・老人同好会などを通して市民の相互交流を図っています。 ・南千里丘 Rock Museum などの音楽イベントも開催しており、このようなイベントを通して市民や同業種の方と協働し交流を深めています。

問2. 貴施設は地域コミュニティ拠点施設として、これからどのような役割を果たしていくことが必要であるとお考えですか。

■各施設とも地域住民の交流を促す場としての役割を果たしていくことが重要であるとの考えを持っています。そのうえで、役割を果たすための方策については施設ごとに特色がみられ、若年層・高齢者層・男性などそれぞれのターゲットに向けた講座・イベントの企画や、利用団体に対するサポートなどの取組を行っていきたいとの意見がみられました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方の利用が現在多いので今後若い世代の利用を促すような取組が必要だと思っています。 ・登録クラブの地域への還元をひとつの目標に掲げているため、クラブと協力してイベントを開催することで、地域の交流を促す役割を担っています。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の利用が多いので、健康寿命を延ばす運動や、自立度の低下を予防する健康体操の活動をサポートしていただくことが必要だと感じています。 ・今後男性の利用者を増やすために、男性の料理教室などの充実を図っていくことも考えています。
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良くないので、地域に密着しているという部分が一番大切ではないかと思っています。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・近年はひとり暮らしの高齢者の方などが増えてきている中で、今後も公民館機能は残し、地域交流の場としての役割を果たしていくことが必要ではないかと思います。また、地域の方々ともそういった思いは共有しているのではないかと思います。地域の方と疎遠にならないような取組を続けていきたいと思っています。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・講座やまつりを開催し、人と人とをつないで、鳥飼東部の地域で高齢者や子どもとその保護者などが集まる拠点（集っていただく場所）としての役割を果たしていくことが必要だと思います。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

・地元根ざした施設として、普段からなるべく気軽に寄っていただけるような環境づくりに努め、災害時などには避難所としてすぐ市民に思い出してもらえるような施設であることが必要だと思っています。

コミュニティプラザ

・コミュニティプラザは現在稼働率も高く、多くの方に利用して頂いていると感じています。今後さらに利用者の方に安心・安全に利用をしていただくために、施設の維持を行っていくことが必要だと考えています。

・イベントの企画サポートなどを通して、利用者の橋渡しをしていくことも必要だと考えています。

別府コミュニティセンター

・地域の人が集ってもらえるようなイベントづくりを行っていくことが重要です。

・避難所としての性質もあるので、そういった面を考慮して、普段から身近に感じて頂けるような施設づくりをしたいと考えています。

いきいきプラザ

・コミュニティプラザとも連携して、文化に関するいろいろな情報を発信したり、施設情報についてホームページを利用して積極的に発信し、PRに努めていきます。

・アンケートをとって市民のニーズを知ることで、より文化の発信・周知に努めていきます。

・普段活動して頂いている団体について、例えば合同で文化ホールなどを利用して活動発表の場を設ける、などの助言を行うなど、部屋を貸すだけではなく、団体活動についてサポートやアドバイスを行っていくことも役割として必要であると考えています。

・コミュニティ施設というよりは文化施設として、文化の発信についての役割に重きを置いています。

問3. 貴施設の施設・設備など、ハード面での整備の必要性を感じておられますか。感じておられる場合、具体的にお困りのことや課題と感じていることはなんですか。また、市民の方からの施設・設備面に関する要望などがあれば、お教えてください。

■様々な要望がみられましたが、「防音設備、音楽室」と「Wi-Fi」といった設備については多くのコミュニティ施設から要望がありました。特に「防音設備、音楽室」については、利用者から楽器練習がしたいという問い合わせが多いという意見が複数のコミュニティ施設からあがっており、ニーズが高いと考えられます。

●要望があった施設や設備

施設・設備	要望のあったコミュニティ施設
防音設備、音楽室	千里丘公民館、味生公民館、鳥飼東公民館、コミュニティプラザ、別府コミュニティセンター、正雀市民ルーム、いきいきプラザ
Wi-Fi	安威川公民館、味生公民館、コミュニティプラザ、正雀市民ルーム
洋式トイレ・温水便座	新鳥飼公民館、鳥飼東公民館、正雀市民ルーム
バリアフリー設備(エレベーターを含む)	新鳥飼公民館、味生公民館、鳥飼東公民館
換気設備	味生公民館、コミュニティプラザ
倉庫	鳥飼東公民館、別府コミュニティセンター
鏡のある部屋	味生公民館、別府コミュニティセンター
照明(照明のLED 化含む)	別府コミュニティセンター、正雀市民ルーム
子どもたちが自由に遊べるスペース	安威川公民館
各年代に合わせた部屋 (子どもが自由に使える部屋 など)	味生公民館
集会室	鳥飼東公民館
更衣室	別府コミュニティセンター
利用者用荷物置き場	別府コミュニティセンター
空調設備	正雀市民ルーム
外壁の修繕	正雀市民ルーム
プロジェクター	いきいきプラザ

その他の意見としては、「ロビーの電気やカーテンが業者に頼まないと交換できないような位置になっているので、今後改築や別施設の建設などがある場合は、職員が交換できるように留意してほしいと思います。」(味生公民館)、「受付に扉がついており閉鎖されてしまっているので入りづらいという意見があります。コミュニティプラザのようなオープンタイプの受付の方が良いのではないのでしょうか。」(別府コミュニティセンター)、「設備の話ではないですが、立地はわかりやすい場所に建てた方が良いと思います。」(別府コミュニティセンター)といったものがありました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の改修工事で照明のLED化や空調の整備などを行っています。 ・利便性向上のため通信環境（Wi-Fi）設備が必要だと考えています。 ・地域コミュニティの拠点として、世代・性別を問わず、様々な方が自由にいつでも気軽に使用できるスペース等があればよいと感じています。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・要望ではないですが、新館が出来上がった時にエレベーターがついたので、利用者からのバリアフリーに関する苦情がなくなりました。 ・楽器の練習をしたいという問い合わせが度々ありますが、周りが住宅のため音の出るものは一切お断りしており、文化ホールの方をご案内している状況です。5～6人くらいが入るような音楽室があればよいと感じています。
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・洋式トイレの数が少ないという意見が利用者からあがっています。 ・エレベーターの設備があればよいと思っています。 ・防音設備は今のところ特に必要ないと感じています。楽器などを使う団体は多いですが、公民館付近は会社が多いため、音を出しても問題がない環境のためです。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー（エレベーターの設置、段差を無くす、車いすの置き場所を作る など）の設備が必要だと感じています。 ・騒音対策として、防音設備を備えた部屋（音楽室など）が必要だと思います。 ・新型コロナ対策なども踏まえ、換気設備は今後必須になるのではないかと思います。 ・各年代に合わせた部屋（子どもが自由に使える部屋など）があればよいと思います。 ・千里丘公民館のように自治会が使える部屋が必要だと思います。 ・鏡のある部屋もニーズがあると思います。（ダンスなどで利用） ・ロビーの電気やカーテンが業者に頼まないと交換できないような位置になっているので、今後改築や別施設の建設などがある場合は、職員が交換できるように留意してほしいと思います。 ・Wi-Fi等のネットワーク環境も必要だと思います。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・2階に上がるのが階段のみなので、エレベーターが欲しいというご要望が市民の方からは一番多いと感じています。 ・洋式トイレや温水便座の設置についての要望もあります。 ・公民館にWi-Fiを設置して欲しいとの意見もあります。 ・部屋数が少ないので、もう少し部屋があればよいと感じています。（特に音楽室などの音楽ができる部屋やダンスなどができる集会室などが複数欲しい） ・倉庫がないので、もう少し収納が欲しくなっています。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

- ・空調設備の修繕、照明の LED 化、外壁の修繕等については以前から市の方に相談をしています。
- ・トイレの洋式化、温水便座についても利用者からの要望があります。
- ・通信環境 (Wi-Fi) も最近問い合わせが何件かありました。
- ・防音設備に関しては、一部の職員からはあったほうがよいという声も上がっています。

コミュニティプラザ

- ・開館して 10 年以上経過しているため、各種設備については適切に更新していく必要があります。
- ・一部を除いて部屋に窓が無い状況のため、現在の新型コロナウイルスの状況を鑑みても、換気設備の増強が必要だと感じています。(但し、窓のない部屋でも 24 時間換気は行っているため、利用者にとそのことを適切に周知していくことも必要だと感じています)
- ・防音設備を備えた部屋については、利用者の方から要望の声があります。楽器の練習での利用などの問い合わせもありますが、お断りして文化ホールを案内している状況です。
- ・研修などで利用される際に、Wi-Fi についてのご要望の声はあります。設置については検討中ではありますが、公共施設で Wi-Fi を利用する際にはセキュリティをしっかりとる必要があるため、整備にはそれなりの投資が必要となります。

別府コミュニティセンター

- ・受付に扉がついており閉鎖されてしまっているため入りづらいという意見があり、コミュニティプラザのようなオープンタイプの受付の方がよいのではないかと考えています。
- ・物品を保管する倉庫が不足しています。
- ・防音設備のある部屋 (少人数用) がひとつあれば喜ばれるのではないかと考えています。
- ・研修室タイプで鏡のある部屋は人気があるので、複数あるとよいと思います (ダンスや健康系の講座に利用できる)
- ・絵を飾る際の照明が暗いとの声があります。
- ・更衣室 (着替えをする場所) があれば便利になると考えています。
- ・登録クラブが荷物を置いておく場所についても要望があります。(絵画クラブなどは道具がたくさんあるのでロッカーでは小さい)
- ・設備の話ではないですが、コミュニティ施設はわかりやすい場所に建てた方がよいと思います。

いきいきプラザ

- ・文化ホールに防音カーテンはありますが、それだけでは音が漏れてしまうことがあるため、防音設備を備えた部屋が複数必要だと感じています。
- ・会議や研修目的で利用される際にプロジェクター機器のご要望があります。

問4. 問3に関連して、貴施設の駐車場や駐輪場の数は足りていますか。貴施設の施設・設備など、ハード面での整備の必要性を感じておられますか。

■ 駐車場については、「足りない」と答えた施設は鳥飼東公民館といきいきプラザとなっており、他の施設については、状況によって足りない時があるとの回答でした。

■ 駐輪場については、鳥飼東公民館では不足しているとの声があがり、コミュニティプラザ、正雀市民ルーム、いきいきプラザでも状況によっては不足する場合があるという回答でした。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場は通常時は大丈夫ですが、イベントになるといっぱいになって駐車できなくなってしまう時があります。理想としては図書館との共用ではなく公民館として現在くらいの駐車スペースがあればよいと考えています。(30台くらい駐車可能) ・ 駐輪場はスペースとしては足りていますが、屋根のない駐輪スペースもあり、不便を感じる面もあります。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場は身障者用スペースを含めて6台駐車できますが、コンサート等の大きなイベント時には不足します。希望としては15台くらい駐車できるスペースがあるとよいと思います。 ・ 駐輪場については、現在は特に不足はしていません。
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 併設している体育館と駐車場を共用しています。体育館などで大会などがあった時には満車になる時もありますが、現在のところはなんとか対処はできていると考えています。 ・ 駐輪場も現在のところ不足はありません。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点では駐車場に不足は感じていません。 ・ 分けされ、屋根がついた駐輪場は欲しいとの声からあがっています。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場、駐輪場共に慢性的に足りていないと感じています。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

- ・ 駐車場は無いので、近隣のコインパーキングを利用して頂いています。そのことに関して特にクレームが発生したりはしていません。
- ・ 駐輪場については、ピーク時に不足する場合がありますので、今の 1.5 倍くらいあればよいのではないかと考えています。

コミュニティプラザ

- ・ 駐車場は 22 台停められます。慢性的に足りていないということではないですが、利用状況によっては足りなくなる場合があります。近隣にパーキングがあつて足りない場合はそちらに停められる方がいますが、それで駐車のを満たしているのかまでは把握していない状況です。
- ・ 駐輪場も同じく利用状況によって足りなくなる場合があります。
- ・ 大型バイクが停められないかという問い合わせもありますが、現状は大型バイク用の駐輪場は無いので、もし要望があるようなら作る必要もあるのではないかと考えています。

別府コミュニティセンター

- ・ 駐車場は普段は足りていますが、イベントが重なったりすると足りなくなる場合があります。
- ・ 駐輪場は、現在のところ不足はしていません。
- ・ バイク用の駐輪場があればよかったと感じています。

いきいきプラザ

- ・ 一時的に停められる駐車場はありますが、駐車場は完全に足りておらず、現在は近くのパーキングを案内している状況です。また、駐車場がないことによって、利用者が機材を搬入する際に不便となっています。
- ・ 駐輪場はイベントが重なったりするなど、状況によりいっぱいになってしまうことがあります。

問5. 貴施設の運営上、施設・設備面以外のソフト面でお困りのことや課題と感じていること（例：事務処理、窓口の対応、クレーム対応等）があれば、具体的にお教えてください。

■手続きのための書類についての意見が何点もあり、「1つの紙で複数日程に対応できるフォーマットであればよいと思います」、「様式自体を簡略化してほしいです」というような要望がありました。また、手続きの電子化については「電子化されれば作業効率も上がり、ミスも減るのではないかと思います」という意見の一方で、「申請が電子化されると現在の職員体制では対応できなくなる恐れがあります」という意見もありました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・受付事務について、現在は手作業で行っています。紙台帳で管理をしているためどうしてもミスが起こってしまいます。電子化されれば作業効率も上がり、ミスも減るのではないかと思います。（オンライン予約システムのようなもの） ・17：15以降の夜間はシルバー人材センターの職員に委託して来てもらっていますが、職員しか対応できない業務が夜間に発生すると次の日に持ち越しになってしまうので、そういった部分も課題と感じています。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の予約本の受け渡しや返却を取り次いでいますが、近年その数が増えてきており、通常の業務に支障をきたす場合があります。
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・受付が体育館と近いので、利用者が区別がつかずに公民館のスタッフに体育館の受付のことを尋ねてくる場合があります。その場合は対応をしていますが、業務が立てこんでいる場合にそのようなことが起こると混乱する場合があります。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・受付事務が煩雑になるため、現金を公民館で取り扱わないようにしたいと考えています。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・職員2名に対し、インターネットにつながっているパソコンが1台しかないため、事務処理が効率的に行えません。 ・現在すべて手続きなどを手作業で行っているが、今後申請の電子化などを進める際は、2人対応では人数が足らなくなるのではないかと考えています。現在シフトの関係で1人体制の日があったり、管理人さんに対応して頂いている日があったりしますが、電子化されると管理人さんなどでは対応できないため、現状の体制では対応できなくなる恐れがあります。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

・ 現行の手続きでは1つ（1日程）の予約に対して、1枚の用紙を書いていただくことになっていま
す。予約の変更などが複数発生した場合は、大量に変更のための用紙を書く必要があり大変なので、1
つの用紙で複数日程に対応できるフォーマットであればよいと思います。

コミュニティプラザ

・ 部屋の利用について、抽選と再抽選がありますが、抽選直後は利用の申請が重なったり、利用変更や
還付の手続きがあつたりすると1団体を処理するのにかなりの時間がかかってしまう時があり、様式
自体を簡略化してほしいという要望は利用者からあがっています。また、そういった複雑な処理の際
にミスなども起こりやすいことも課題と感じています。

別府コミュニティセンター

・ 書類対応の利用者が重なると、処理が大変になってしまう時があります。
・ 別府公民館との使い勝手が違うことについて、苦情が来ることがあります。
・ 外の敷地が夜間に子どものたまり場となってしまうっており、そのことに対する苦情対応が多く苦慮
しています。

いきいきプラザ

・ 手続き書類を手書きしてくのが大変だというご意見が高齢者からあがっています。
・ 利用開始の時間が被るので、その時間帯にかなり忙しくなり、人手が足りなくなってしまう時があ
ります。

問6. 問5に関連して、貴施設の職員配置については、どう考えていますか。不足などを感じていますか。

■職員については千里丘公民館では、「不足している」との声があがりました。また、通常時は問題ないものの、忙しい時間帯(貸し時間のスタート時)やイベントが重なった際には、人手が足りなくなる場合があるとの声もあがりました。

また、人数以外に関する課題としては、「現在2名でシフト勤務をしているため、なかなか揃う機会が無いので、情報共有がしづらくなっています」、「シルバー人材センターの職員が現金を取り扱うこともあります、その際間違いが起こってしまう可能性があるので心配です」といった意見もありました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在2名でシフト勤務をしているため、なかなか揃う機会が無いので、情報共有がしづらいという状況があります。 ・中央公民館ということで、全公民館のとりまとめをしているため、事務処理の数が多くなりますが、これが遅れると支払いなどが遅れてしまうため、特に連絡を密に取りながら行っています。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・問5で答えたように、図書館の取次業務により忙しくなり、職員が不足しています。現在でも週に2日程度は応援でシルバー人材センターの職員の増員をお願いしている状況です。
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・特に職員配置について、課題を感じている部分はありません。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間に対応して頂いているシルバー人材センターの職員が現在1人体制となっておりますが、本当は複数体制にした方がよいと感じています。シルバー人材センターの職員が現金を取り扱うこともあるが、その際間違いが起こってしまう可能性もあるので、そこは心配している部分でもあります。 ・職員については、通常時は現在の体制で大丈夫ですが、イベントがある時には足りなくなってしまう場合もあります。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のところは2人体制で問題なく運営できており、特に職員配置について問題は感じていません。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

・現状は今の体制で不足は感じていませんが、突発的な事態（災害など）が起こった際などに不足する恐れはあります。

コミュニティプラザ

・概ね現在の体制で対応できていますが、問 5 で回答したように、窓口処理で時間がかかってしまうような場合や突発的に不測の事態があった場合に、他の業務対応が滞ってしまう場合があります。

別府コミュニティセンター

・現在はイベントなどを行う時に人手が足りなくなってしまう場合があるものの、概ねなんとか運営していける人員配置となっています。

いきいきプラザ

・忙しい時間になると人手が足りなくなりますが、限定的なピーク時に合わせて職員の体制（人数）を組むことはできないので、効率的なオペレーションをしなければならないと感じています。

問7. 貴施設を、さらに多くの人に利用していただくことができるようになるために、必要と思われることがあればお教えてください。

■今後必要と思われることについては、①広報・PR(特に SNS を利用したもの)を行い施設の認知度を高めていくこと、②講座やイベントを充実させること、③部屋や駐車場などの設備を充実させることの大きく3点についての意見が挙げられました。

また、その他の意見として、「もう少し用途目的の制限を緩めることができれば、より自由な使い方ができるのではないかと思います」(安威川公民館)、「利用者の満足度を高めるため設備などの取り扱いの向上(音響などのスキルの向上など)のための研修などを行っていくことが必要だと思います」(コミュニティプラザ)といったものがみられました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	・公民館は社会教育法に基づいて運営されており、営利目的や個人利用や企業利用の制限があります。もう少し用途目的の制限を緩めることができれば、より自由な使い方ができるのではないかと感じています。
千里丘公民館	・今後、特に現在利用の少ない男性の利用者を増やしていけるような取組を継続して推進すること。 ・育児関係や子ども向けのサークル・団体を増やし、その保護者のニーズに合った講座を開催し、利用頻度を上げること。 上記の2点が特に必要だと感じています。また、子どもたちに訪れてもらい、小さいころから公民館になじむことによって、将来的な公民館利用者の分母を増やしていくことも必要だと考えています。
新鳥飼公民館	・若い方からお年寄りの方まで地域の方が楽しんでいただけるように講座などを開催しています。講座内容について研究し、幅広い方に利用して頂けるような講座づくりを目指しています。
味生公民館	・鏡のある部屋(ダンスなどに使用)の設置など、利用者の要望の声が多い設備などを設置することが利用者の増加につながるのではないかと考えています。
鳥飼東公民館	・公民館は若い方の利用が比較的少ないので、今後 SNS などを通して広報を行っていくことが必要なのではないかと考えています。子育て層の利用は一定数あり、開催した講座に参加した子育て中の方がクラブを作ったという事例もありましたが、現在は職場復帰する女性も多いため、子どもが乳幼児の時に参加していても継続して公民館を利用して頂くということが難しくなっています。 ・駐車場がもう少し広くなれば、もっと来て頂きやすくなるのではないかと考えています。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

・まずはこの施設の認知度を高めていくことが必要だと考えています。現在の方法としては広報せつにつに記事を載せたり、ご近所の方に積極的に挨拶したりというような活動が主ですが、twitterのアカウントも持っているので、今後効果的に活用していきたいと思っています。

コミュニティプラザ

・現状高い稼働率ではあるので、今後もこの稼働率を維持していくことが大切だと考えています。そのため、利用者の満足度を高めるため設備などの取り扱いの向上（音響などのスキルの向上など）のための研修などを行っていきたいと考えています。

・今後情報発信のツールとしてSNSなどの運用も行っていきたいですが、職員にノウハウがないのでそういったSNS運用の研修なども行う必要があると考えています。

別府コミュニティセンター

・現在はこの施設を知ってもらうことに力を入れています。場所がわかりづらく迷われる方が多いため、地図を作ったり、ホームページにわかりやすく載せたりするなどの工夫を行っています。

・参加したいと思うイベントを作ることも重要だと思います。

いきいきプラザ

・駐車場の充実が必要だと思っています。高齢者の方が多いので、送り迎えが多いですが、複数重なってしまうと車がいきいきプラザの前に溜まってしまったり、停めることができなくなってしまうためです。

問8-①. 貸館の利用料について、現状各施設で料金の設定が異なっておりますが、どのようにお考えですか。また、利用者から利用料金についてご意見はありますか。

- 利用者の意見としては、公民館では安いという声が多いですが、別府コミュニティセンターやコミュニティプラザ、文化ホール等では高いという声も寄せられているとのことでした。
- 但し、管理者としてはコミュニティ施設間の料金差は施設・設備の違いや設置目的の違いから適正なものであるという認識がほとんどであり、料金差が発生する理由をいかに利用者に適切にお伝えし、理解して頂くかということが重要なのではないかと意見がみられました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	・公民館は他施設と比べて利用料をかなり安く抑えており、利用者から喜ばれているので、公民館としては問題ないと感じています。
千里丘公民館	・現状、コミュニティプラザなどのコミュニティ施設と公民館は目的の違う施設なので、料金差は発生してもよいと思います。
新鳥飼公民館	・利用者からは特に料金に関する意見はありません。講師の先生などから、もう少し値段を上げて設備投資に充ててもよいのではないかとというような意見を頂くこともあります。利用料金が上がることで来る人が減るくらいであれば、現在の料金でいいのではないかと考えています。公民館とコミュニティセンターなどの利用料金に差があることについては、設備なども違うので納得できることなのではないかと思っています。
味生公民館	・料金に関しては高いという意見は利用者からは聞いていません。公民館としても、現状の料金設定で問題ないと思っています。
鳥飼東公民館	・公民館は利用料金が安いとため、利用者からは喜ばれていると思います。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

- ・料金については、公民館や集会所の利用者からすると高いと思われるようですが、他のコミュニティ施設の利用者からは安いとされているようで、比較対象によって利用者の正雀市民ルームへの料金評価が変わります。但し、どちらかというとい安いとされている利用者の方が多いと思われます。(おそらくコミュニティプラザと別府コミュニティセンターと比較して、安いと感じている利用者が多いのではないかと)また、運営側としても現在の料金設定は安いと思っており、もう少し料金をあげてもいいのではないかと感じています。
- ・利用料金が館ごとに違うのは、いろいろな条件が違っており、その中で決定されたことなので特に不満や意見はありません。

コミュニティプラザ

- ・コミュニティプラザを以前からあった他のコミュニティ施設(公民館は除く)と比較すると、安く抑えていると考えています。但し、利用者としては1円でも安い方がよいと考えるし、公民館と比較して考える場合もあります。利用者にはこの料金設定について理解して頂くのが重要なのではないのでしょうか。

別府コミュニティセンター

- ・別府コミュニティセンターは別府公民館からの利用者が多いので、料金の経過措置はあったものの、公民館と比較して利用料金が高いとのお声は利用者からはあります。しかし、公民館とはそもそもの設置目的が違うので、料金差というはあるべきだと考えています。その部分をご理解頂くことが必要だと思います。
- ・他市(大阪市など)のコミュニティ施設を利用されている方からは大阪市の施設と比較して安くてきれいというお声を頂くこともあるので、比較対象によるのではないかと考えています。

いきいきプラザ

- ・文化ホールの利用料はコミュニティプラザ等と比較して高いとよく言われます。コミュニティプラザ等と違って以前の料金の積算根拠を利用しているので、割高ととられがちです。但し、他のコミュニティ施設とは設備も異なっているし、他のホールなどと比較した場合はかなり安いと思っています。
- ・いきいきプラザについては、コミュニティプラザ等と比較して料金が高いというお声はあまり聞きません。(積算の根拠が同一のため)

問8-②. 利用料金の減免制度についても現状のままがよいか、新たに見直すべきか、お考えを理由も含めてお教えてください。

- 減免制度の料金設定については、現状のままでよいという意見が多くみられました。
- 減免制度の対象団体については、「同じ目的であっても営利目的だと利用ができないのに、文化連盟に加入しているような減免団体であれば利用可能であることに疑問を感じる場合があります」、「利用団体について定義がはっきりしていない部分があると思います」といった意見がみられました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館登録クラブは活動部屋を確保できるが、公民館事業に協力すること（まつりの従事等）が条件としてあります。今は公民館登録クラブと他の減免対象団体の減免割合が4割で同じであるため、登録クラブのメリットを感じにくいと思います。高齢化により、まつりの従事が重荷となり、登録を控える団体も見受けられるため、減免割合に差をつけることで登録クラブが増加するのではと思います。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献をしている団体について、その活動を減免という方法で支援していく制度自体はよいと思います。ただ、今後減免の割引率を上げたりすると、公民館であれば利用料が安くなりすぎてしまい「この金額であれば最初から徴収するな」と言われる可能性もあるので、割引率についても現状維持でよいのではないのでしょうか。
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・料金などについては現状のままでよいと思っています。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・減免制度については、現状のままでよいと思います。料金を引き上げると公共施設としての意義が薄れてしまうと思うし、かといって無料などにしてしまうと予約だけして利用しないというような事態が発生してしまうことも考えられるため、現状がちょうどよいのではないかと考えています。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は福祉関係などの団体も4割減免になっていますが、そのためクラブ登録しない団体もあるため、減免の適用を登録クラブのみにしたり、登録クラブ以外の割引率を引き下げて差を持たせれば、クラブ化を考えて頂けるので、公民館としては運営がしやすくなると思っています。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

・減免制度の対象として、地元で継続的に活動しており、正雀市民ルームを定期的に利用して頂いているような方も対象とすることができれば利用者も使いやすくなるのではないかと思います。

コミュニティプラザ

・社会教育団体で文化連盟に加入している団体は減免が適用されますが、同じ目的だとしても文化連盟に加入していないような教室であると、減免が適用されなかったり、営利目的と判断され利用自体ができなくなってしまいます。他市のことになりますが、上記のような形で不公平感が出るくらいであれば減免制度を無くしてしまうといった事例についても聞いたことがあります。

別府コミュニティセンター

・特に大きな問題は感じていないですが、同じ目的であっても営利目的だと利用ができないのに、減免団体であれば利用可能というのは疑問に思うことがあります。
・減免制度が無くなってしまうのは厳しいと思います。

いきいきプラザ

・例えば公民館で減免対象となっている団体についての情報が文化ホール側にはなかったり、利用する団体自身も、自分たちが減免団体なのかよくわからずに来ることがあるので、そういった減免の団体などについての情報整理がもう少しわかりやすくなり、共有されるとよいと思います。

問9. 貸館の時間区分について、現状のままでよいと思いますか。もしくは、時間区分について、1時間単位に細分化するなど、見直しを行った方がよいと思いますか。お考えを理由も含めてお教えてください。

■貸し時間については、細分化を行うと「貸し時間がバラバラになってしまうことで清掃やカギの受け渡しなどを一括で行うことが難しくなってしまう」ことや、「利用者の入れ替えの時間が詰まってしまう」という理由から、現状のままでよいという意見が多くなっていました。

■但し、「イベントや講座の内容によっては短時間で済むものもあるので、無駄を無くすためにも細分化はよいのではないのでしょうか」、「会議目的であれば、時間貸しに対応できると思います」というような意見もみられました。

各施設の個別の回答については以下の通り。

公民館	
安威川公民館	・現状は時間貸しに対する批判的な意見などは利用者からはありません。時間帯貸しで時間が余っていて早く帰られる場合もありますが、利用料金が安いのであまり利用者から声があがらないのではないかと思います。
千里丘公民館	・現在の時間帯であれば、利用者退出後に施設の点検を管理人がすることができですが、時間帯を細分化してしまうとそれが難しくなってしまうと思います。 ・練習+歓談の時間も作っていただき交流を深めてほしいと思っており、そのためにはある程度余裕を持った時間設定であることが大切なのではないかと思います。 上記の理由から、現状の時間帯貸しがベターなのではないかと思っています。
新鳥飼公民館	・現状では、時間帯貸しでちょうどよいクラブさんが多いと感じているので、今のままの時間帯貸しがよいのではと思います。 ・細分化するのであれば、全部の部屋ではなくて、一部の部屋を短い時間で貸すということもできるかもしれないと考えています。そのようにすることに、特に運営上の問題はないと思っています。
味生公民館	・現時点の時間帯での貸し出しだと、バッティングすることが多々あるため、それを避けるためにも貸し時間の細分化は「あり」だと思います。イベントや講座の内容によっては短時間で済むものもあるので、無駄を無くすためにも、細分化はよいのではないかと思います。
鳥飼東公民館	・現状としては、掃除などの時間をとるのが難しくなるため、公民館の運営上時間帯貸しは難しいと考えています。逆に掃除の問題がクリアできれば1時間や2時間単位での貸し出しも可能ではないかと思っています。 ・1時間や2時間単位で部屋を貸し出すことについて、利用者のニーズはあるのではないかと感じています。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

- ・貸し時間の細分化について、ニーズはあると思っています。(あと1時間長ければ助かるのに、といったお声もあります)但し、多くの利用者はすでに現行の時間区分で慣れており、見直すと混乱が生じる可能性があるため、見直す場合は慎重に行わなければいけないと思います。
- ・運営側としては現状の部屋数として考えると、貸し時間を細分化してしまうと中途半端な時間設定によって逆に部屋の予約が上手くいかず、だれも使わない空白の時間が生まれてしまうのではないかと危惧しています。(例えば13:30まで貸すとすると、13:00から使いたかった団体が利用できなくなり、数時間使われない時間が生まれてしまうなど)

コミュニティプラザ

- ・施設の管理上、清掃やカギの受け渡しなどについては時間区分と時間区分の間の空き時間ですべて行っているため、貸し時間を細分化させることによって空き時間がばらばらになってしまうと連携が取れなくなってしまうため現状の時間区分でお願いしたいと思っています。
- ・会議目的であれば、時間貸しに対応できると思いますが、クラブなどは予定時間よりずれる(遅れる)傾向があるので、短い時間で貸すのは難しいのではないかと思います。
- ・利用者としても、今までの時間区分を変えてしまうと混乱してしまうのではないかと思います。

別府コミュニティセンター

- ・施設側としては現状の時間区分が動きやすくなっています。ただ、利用者からは細分化できれば利用料金が安くなるので、もう少し短い時間帯で貸してほしいというお声は聞いたことがあります。
 - ・例えば1時間30分利用してもらって30分は清掃で計2時間、というような形であればできると思いますが、利用者は利用時間より前に来ることが多いので、短い時間設定にしてしまうと入れ替えのタイミングなどが難しくなってしまいます。
- 運営的には時間の細分化は現状課題が多いと感じています。

いきいきプラザ

- ・いきいきプラザについては、文化ホール利用者の控室としても利用されているので、原則として文化ホールの利用時間帯と合わせる必要があります。そのため、いきいきプラザ単体での貸し時間の細分化は難しいと思っています。

問 10. 今後のコミュニティ施設のあり方について何かご意見があればお聞かせください。（例：これからの組織運営や統廃合についてなど）

■今後のコミュニティ施設のあり方については様々な視点からの意見があり、「コミュニティ施設同士の連携・情報の共有」、「学校との連携」、「能動的に地域住民と交流を持つこと」、「施設の多目的化（他の機能も統合する）」といった意見がみられました。

各施設の個別の回答については以下の通りです。

公民館	
安威川公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在登録クラブがメインで利用されている（おおよそ4割くらい）ため、利用者が固定されている状況にあります。今後、新規の方に使っていただきたいという思いもあります。そのための方策として、「施設の多目的化」（他の機能も統合する）を行うことによって利用の目的も広がるし、いろいろな人に知ってもらうきっかけにもなるのではないかと考えています。 ・数年前より登録クラブが減少傾向にあり、高齢化も見られるため、今後若い世代の利用を増やしたいと考えています。
千里丘公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません
新鳥飼公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携などを行い、子どもの作品を公民館で展示するなど地域の子ども達に公民館を身近に感じて頂けるような取組をしていければよいのではないかと考えています。
味生公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を利用して頂くためには、建物を作るだけでなく、公民館側が積極的に地域の方のところに外向いて、公民館の取組などについて紹介することが必要だと思います。待っていても地域の方の利用は増えないと思うので、こちらから訴えかけていくことが必要だと思います。
鳥飼東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館同士では、例えば他の公民館の公民館まつりを手伝いに行ったりなどして、連携が取れているように感じます。今後、コミュニティプラザや別府コミュニティセンターともそのように連携をとれるような組織づくりを行っていければよいと思っています。

コミュニティ施設・文化施設

正雀市民ルーム

・統廃合に関しては、世の中の流れがありしょうがないことかもしれないですが、避難所としての性質があるので、統廃合により数が減ってしまうと地元の方にとっては避難場所が遠くなりすぎてしまう場合があると思います。統廃合については、いろいろな世代のいろいろな意見を聞いて進めることが大切であると思います。

コミュニティプラザ

・今までの活動の中で培ってきた関わりあいがあるので、その経験を摂津市全体に還元していき、他コミュニティ施設などと協力して摂津市全体を盛り上げていくことが必要であると思います。
・リモートやオンラインでできるような交流方法を考えていくことは、今現在の情勢の中で今後のコミュニティ形成していくためには重要なのではないかと考えています。

別府コミュニティセンター

・大きな複合施設などがあれば、今後いろいろな方が訪れてくれる可能性が出てくるのではないかと考えています。

いきいきプラザ

・いきいきプラザは利用登録制ではないところがよいと利用者の方によく言われています。その利点を生かして、利用しやすい施設になっていけばと思っています。

(2) 住民へのヒアリング調査

1 調査概要

本調査の調査概要は以下の通りです。

調査目的	コミュニティ施設に対する市民ニーズを把握した上で、今後のコミュニティ施設整備のための基礎資料を作成することを目的として実施しました
調査対象者	別府・味生地域を拠点として活動しているコミュニティ団体
調査方法	書面によるアンケート調査（郵送回収）
調査期間	令和3年2月22日（月）～3月8日（月）
配布数	87団体
回収数	80団体（回収率：92.0%）

2 調査項目

本調査では主に以下のことについてヒアリングを行いました。

- 回答者ご自身のことについて
- コミュニティ施設の利用について
- コミュニティ施設についてのご意見
- 今後のコミュニティ施設全体のあり方について

※調査結果の見方に関する留意点

- ・グラフ内の「n」は、100%にあたる回答数（基数）を表しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ・複数回答可能な設問については、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい間であり、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

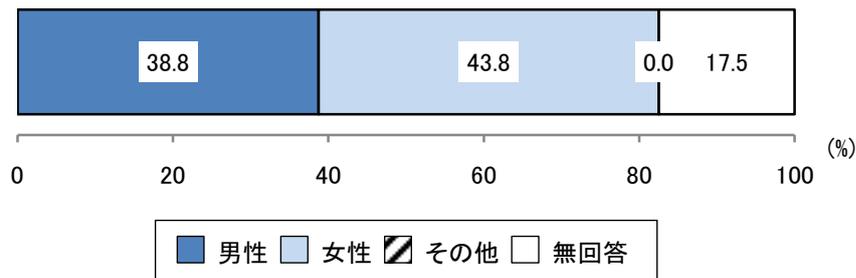
3 調査結果のまとめ

基本属性【性別・年代】

<性別>

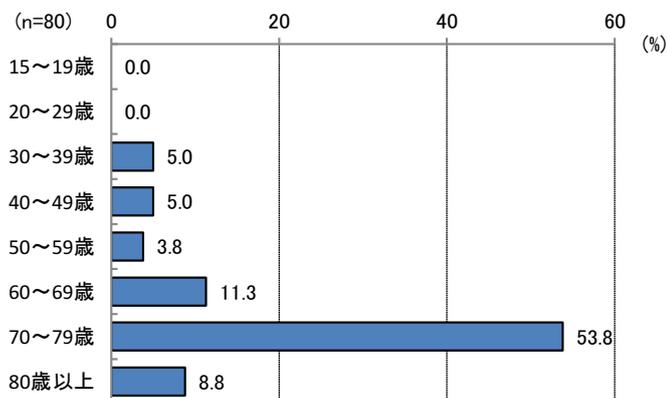
回答者の性別は、「男性」が38.8%、「女性」が43.8%でした。

(n=80)



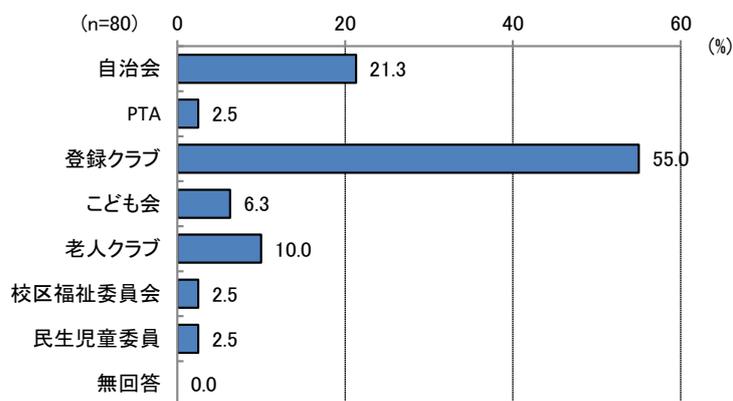
<年代>

回答者の年代は、「15～19歳」、「20～29歳」は0.0%（回答者なし）、「30～39歳」が5.0%、「40～49歳」が5.0%、「50～59歳」が3.8%、「60～69歳」が11.3%、「70～79歳」が53.8%、「80歳以上」が8.8%となっています。



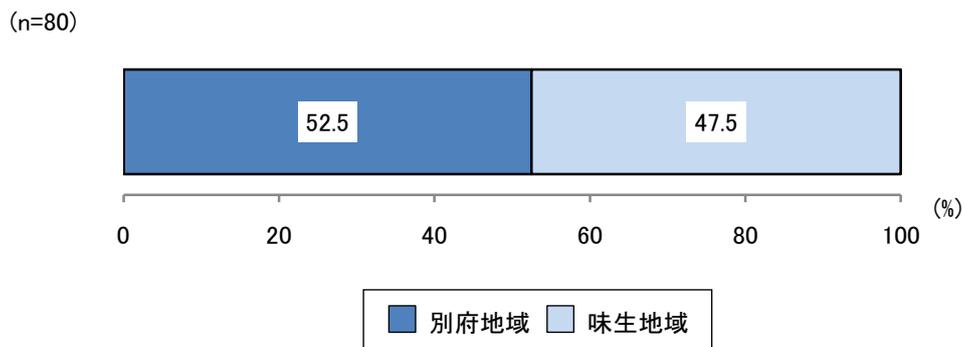
参加している地域コミュニティ団体

参加しているコミュニティ団体は、「自治会」が 21.3%、「PTA」が 2.5%、「登録クラブ」が 55.0%、「子ども会」が 6.3%、「老人クラブ」が 10.0%、「校区福祉委員会」が 2.5%、「民生児童委員」が 2.5% となっています。



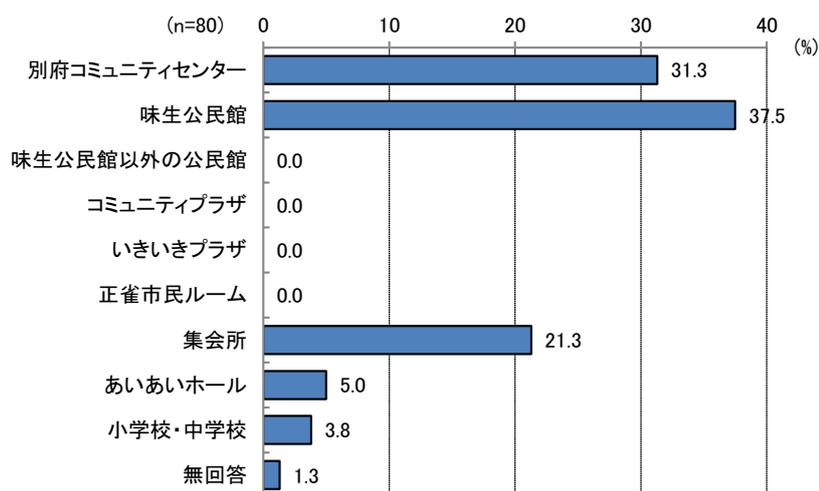
参加しているコミュニティの主な活動地域

参加しているコミュニティの主な活動地域としては、「別府地域」が 52.5%、「味生地域」が 47.5% となっています。



問1-1 あなたの所属している団体が最もよく利用しているコミュニティ施設をお教えてください。(〇は1つ)

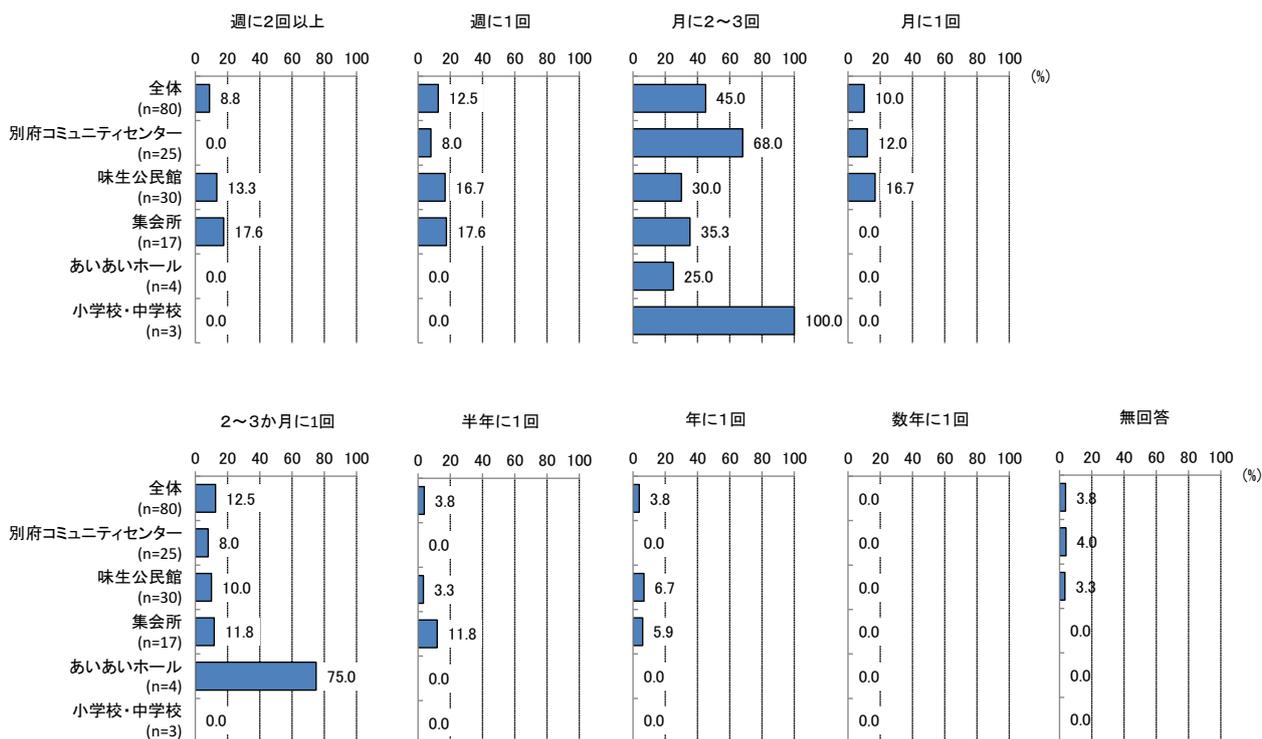
最もよく利用しているコミュニティ施設としては、「味生公民館」が37.5%、「別府コミュニティセンター」が31.3%となっています。次いで「集会所」が21.3%、「あいあいホール」が5.0%、「小学校・中学校」が3.8%となっています。



問1-2 問1-1でお選びになった施設のおおよその利用頻度についてお教えてください。(〇は1つ)

施設の利用頻度は、全体では「月に2~3回」が最も高く、45.0%となっています。次いで、「週に1回」、「2~3か月に1回」がともに12.5%、「月に1回」が10.0%となっています。

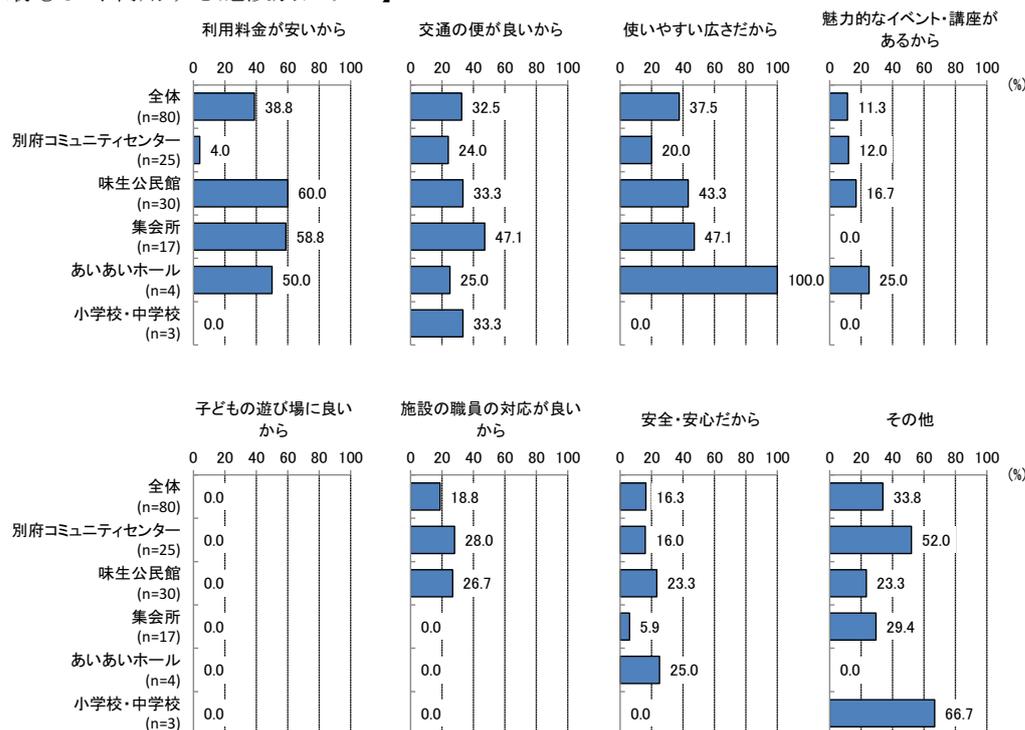
【全体+最もよく利用する施設別グラフ】



問2 問1-1でお選びになったコミュニティ施設について、なぜ利用しているのか、その理由をお教えてください。(〇は3つまで)

問1-1で選んだコミュニティ施設を利用している理由としては、「利用料金が安いから」が38.8%、「使いやすい広さだから」が37.5%、「交通の便が良いから」が32.5%で上位となっています。利用施設別にみると、別府コミュニティセンターでは「その他」(52.0%)、「施設の職員の対応が良いから」(28.0%)、味生公民館や集会所では、「利用料金が安いから」(各60.0%、58.8%)といった項目が上位となっています。

【全体+最もよく利用する施設別グラフ】



●その他の記述

利用施設	その他の内容
別府コミュニティセンター	元々別府公民館で活動していたから(5件)
	近いから(2件)
	自宅から近いので行きやすい
	自治会の会議に利用している(2件)
	もともと無料講座を受講しており、その延長でクラブ登録することになったため
	コミュニティセンターが出来た時に集会所がなくなったから
味生公民館	子ども達にいろいろ経験してほしいから(2件)
	クラブ活動の施設備品がある
	作業しやすい
	イベント(講座)修了者でクラブを立ち上げたから
集会所	自治会員は無料で使用できる、責任者が鍵を保有、都合のよい時に使用できる
	自治会が管理しているから便利
	近いから
	老人の為に歩いて行ける施設のため
小学校・中学校	本来は、公民館を利用したいがお年寄り対象で階段が危険なため小学校を利用
	PTAの資料などがある為、PTA室があるため

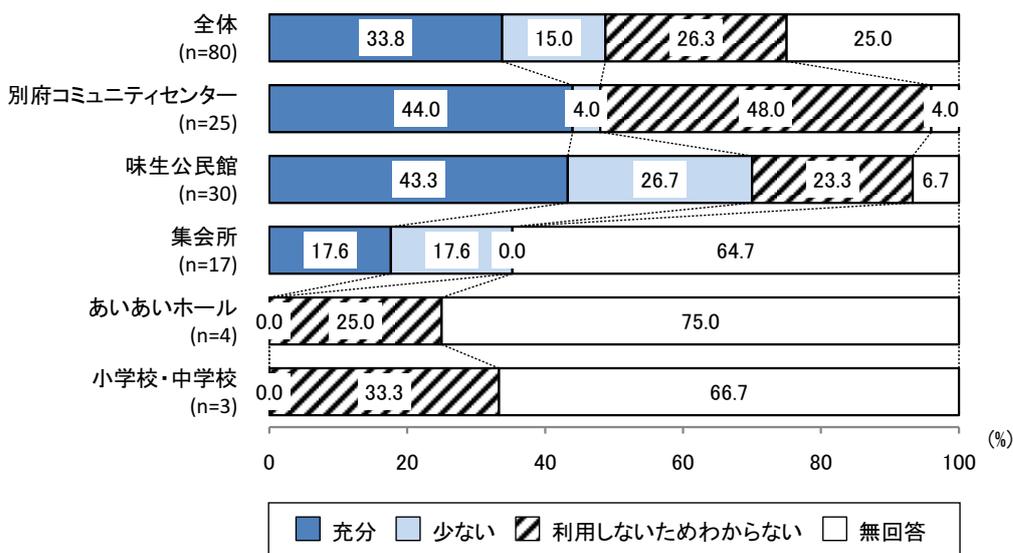
問3 問1-1でお選びになったコミュニティ施設について、その施設であなたの所属する団体が会合や活動を行う際に、各コミュニティ施設の駐車場と駐輪場の台数について、充分か少ないかをお教えてください。(○はそれぞれにつき1つ)

＜駐車場＞

全体では、「充分」が33.8%、「少ない」が15.0%となっています。

利用施設別にみても、別府コミュニティセンターでは「少ない」は4.0%ですが、「味生公民館」では26.7%が「少ない」、「集会所」では17.6%が「少ない」と答えています。

【全体+最もよく利用する施設別グラフ】

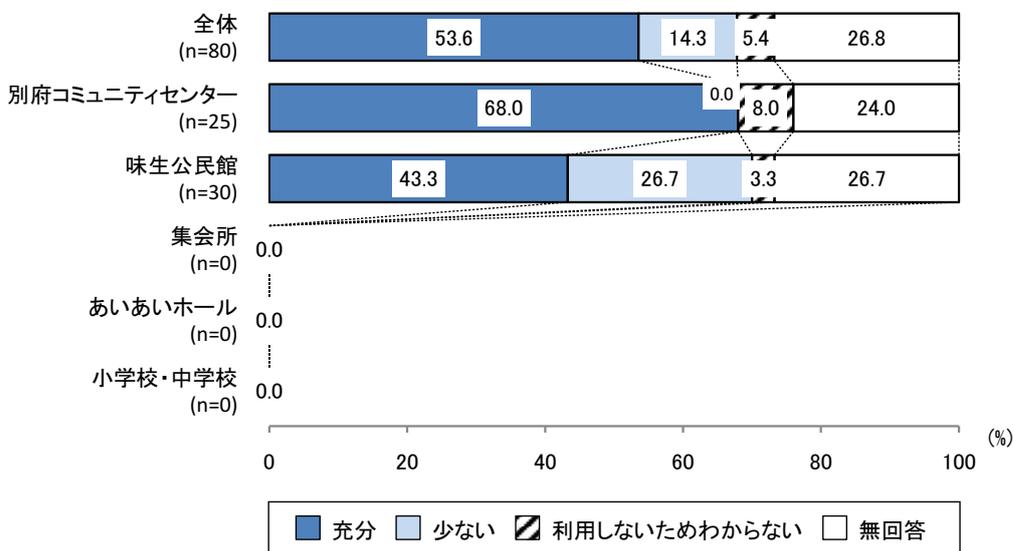


＜駐輪場＞

全体では、「充分」が53.6%、「少ない」が14.3%となっています。

利用施設別にみても、別府コミュニティセンターでは「少ない」と回答した人はおらず、「充分」が68.0%となっています。一方で「味生公民館」では26.7%が「少ない」と回答しています。

【全体+最もよく利用する施設別グラフ】

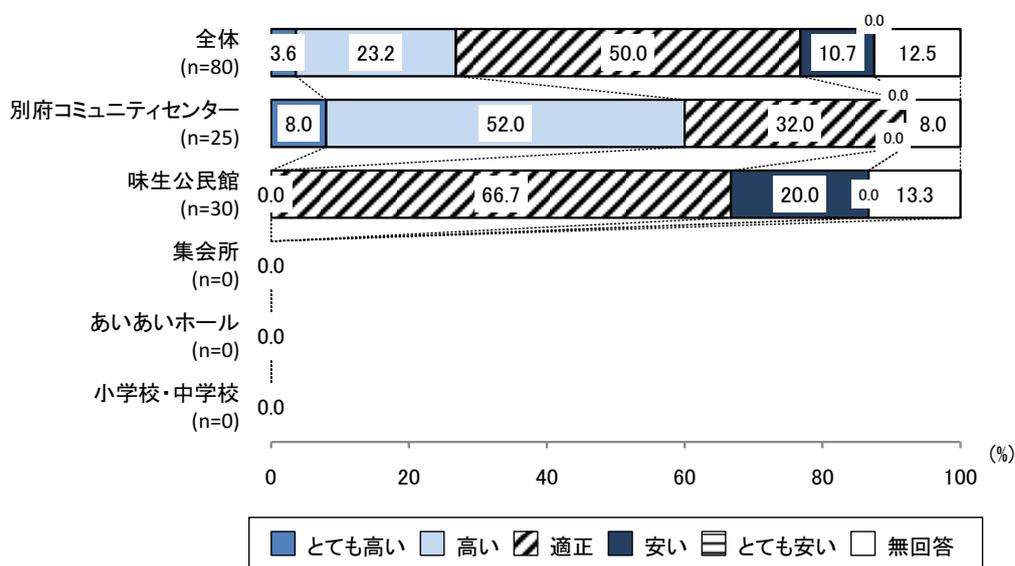


問4 問1-1でお選びになったコミュニティ施設の利用料金について、どのように思いますか。(○は1つ)

全体では、「とても高い」が3.6%、「高い」が23.2%で、“高い”(「とても高い」+「高い」)は26.8%となっています。反対に、「安い」が10.7%、「とても安い」と答えた人はおらず、“安い”(「安い」+「とても安い」)は10.7%となっています。「適正」は50.0%でした。

利用施設別に見てみると、別府コミュニティセンターでは「とても高い」が8.0%、「高い」が52.0%で、“高い”が60.0%となっています。「適正」は32.0%で、“安い”と答えた人はいませんでした。一方で、「味生公民館」では“高い”と答えた人がおらず、「適正」が66.7%、「安い」が20.0%となっています。

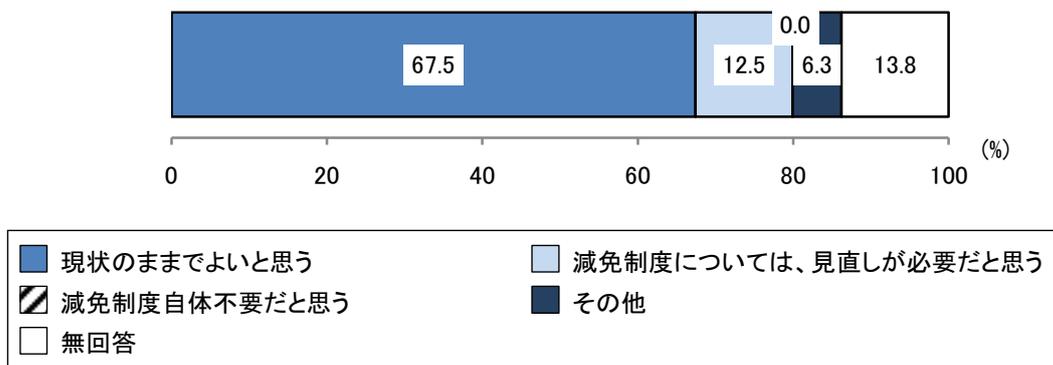
【全体+最もよく利用する施設別グラフ】



問5 コミュニティ施設の利用料金の減免制度について、どのように思いますか。(○は1つ)

コミュニティ施設の利用料金の減免制度については、「現状のままでよいと思う」が67.5%となっています。「減免制度については、見直しが必要だと思う」は12.5%でした。また、「減免制度自体不要だと思う」と答えた人はいませんでした。

(n=80)



●その他の記述

その他の内容
特に集会所の使用料を必要とする活動、団体の定義が不正確、公平性に問題
市からの助成金を増やしてほしい
令和元年は5割減免、令和2年以降4割減免と書かれています。コロナのため、研修室からホール1に変更しました。会員数が多い時はいいのですが、少ないと困ります

問5-1 【問5で選択肢2～3を選んだ方にお聞きします】減免制度について「2 減免制度については、見直しが必要だと思う」と答えた方は、その理由と、どのような見直しが必要だと思うか、お考えをお教えてください。「3 減免制度自体不要だと思う」と答えた方は、その理由をお教えてください。

問5で「減免制度については、見直しが必要だと思う」と答えた人は12.5%と1割程度でしたが、その理由として、「別府コミュニティセンターの利用料が減免制度を使っても高い」というような意見がみられました。また、「自治会で利用するときは減免額を優遇してほしい」、「毎週の利用者は安くしてほしい」というような見直しを求める声もあがっていました。

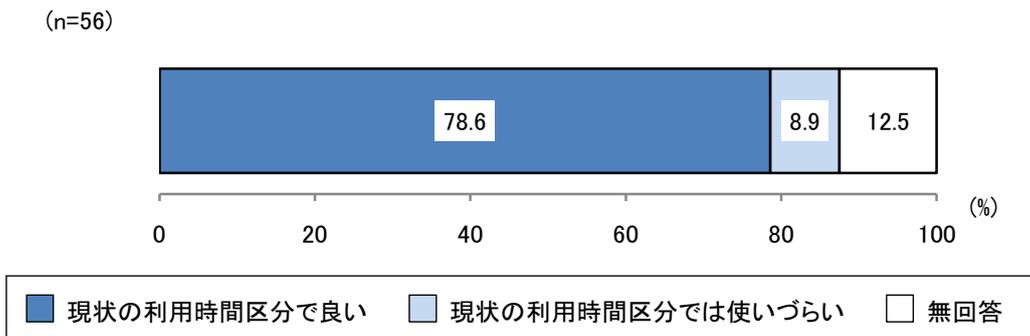
●減免制度に見直しが必要だと思う理由及び必要な見直し

減免制度に見直しが必要だと思う理由及び必要な見直し(自由記述)
公民館とコミュニティセンター、コミュニティプラザと比べると格差があるのは問題があると思います
なぜ年々使用料が高くなるのですか？別府公民館と同じようにしたらいいと思います。減免制度なしで使う人、グループがいるのでしょうか？ロッカー代金も高い気がします、もう少し安くしてください。使用料金はいつまで高く上り続けるのですか？
別府公民館の時より使用料が4倍ほどに上がり、会費を年々上げています。別府公民館の代わりに施設なのにクラブ使用でこれだけ他の館との差があるのはひどいと思います
自治会活動で利用する時は、他の団体が利用するのとは少し意味合いが異なるので、自治会が利用する時は減免額を優遇してほしい
利用料金が一定で上下しないようにしてほしい
部員の人数が少なくなり、部屋代の料金も高額になり、これから継続できるかわかりません

減免制度に見直しが必要だと思う理由及び必要な見直し(自由記述)
福祉団体の一つとして、さらなる地域の老人活動の拡大や老人関係のつどいの場として利用料無料にして欲しいと思われま(公民館)
公民館利用は安かった、コミュニティセンターは新しくきれいになったが、毎週の利用者は安くしてほしい
公民館は地域の文化、コミュニティの最前線の核なので今のままの料金で 職員の人選は建物が傷まないために管理するだけの人はだめ、公民館がもったいない コミュニティプラザは目的のある人が集う所だと思うのである程度の費用は負担 OK。規則も公民館よりはきつても仕方がない

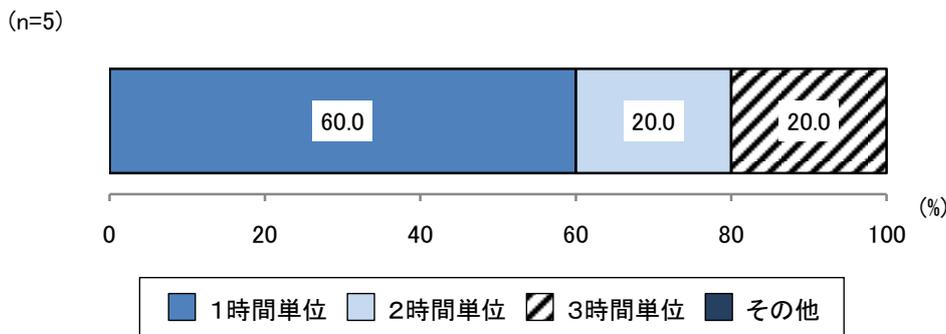
問 6 問 1-1 でお選びになったコミュニティ施設については、現在利用できる時間区分が「午前」、「午後」、「夜間」などの時間帯での設定となっています。現在のこのような時間区分について、どのように思いますか。(○は 1 つ)

コミュニティ施設の利用時間区分については、「現状のままの利用時間区分で良い」が 78.6%で、約 8 割は現状の時間区分で特に問題を感じていないという結果でした。「現状の利用区分では使いづらい」は 8.9%となっています。



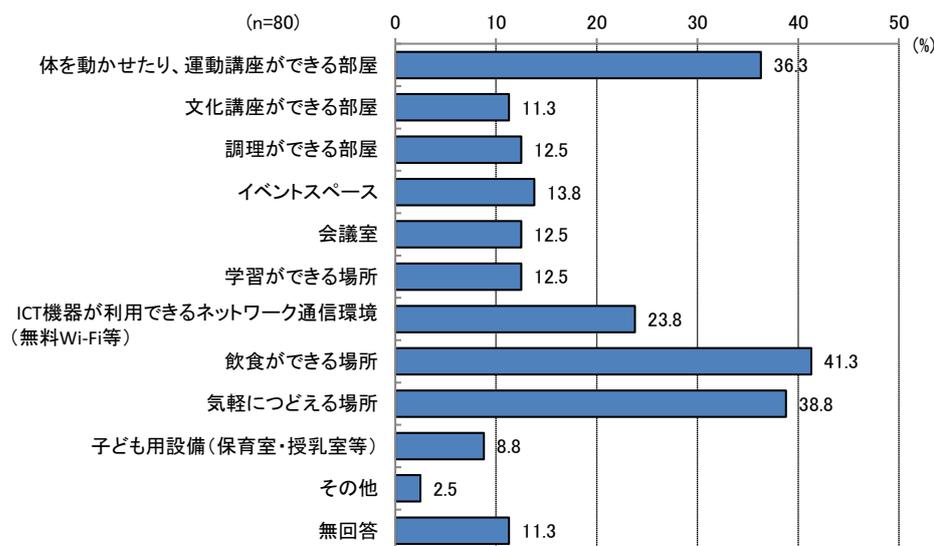
問 6-1 【問 6 で 2 を選んだ方にお聞きします】あなたが希望する時間区分をお教えてください。(○は 1 つ)

問 6 で「現状の利用区分では使いづらい」と答えた人の希望する時間区分としては、「1 時間単位」が 60.0%で最も多くなっていました。(但し、回答者が少ないため回答は参考値)



問7 今後、摂津市のコミュニティ施設に必要と感じる部屋・設備について、最も当てはまるものを3つまでお選びいただき、○をつけてください。(○は3つまで) また、○をつけた部屋・設備についての具体的な種類や要望される理由について具体的にお教えてください。

コミュニティ施設に必要と感じる部屋・設備については、「飲食ができる場所」が41.3%で最も高く、次いで「気軽につどえる場所」が38.8%、「体を動かせたり、運動講座ができる部屋」が36.3%、「ICT機器が利用できるネットワーク通信環境」が23.8%となっています。



●その他の記述

その他の内容
クラブ用の倉庫
研修室のような部屋

部屋・設備に関する具体的なご意見は次の通りでした。上位にあがっていた“気軽につどえる場所”では、「気軽にふらっと立ち寄れる喫茶や憩い場があれば友達が作れそうに思います」、「小さなカフェがあったらいいと思います。地域の人達が気軽に喫茶を飲む場所」といったようなカフェスペースの要望や、「コミュニティプラザは広いスペースがある為、活動の後ゆっくり集える場所や話し合える場所があるのがうらやましい」など、活動後にゆっくりと話すスペースがほしいというような要望がありました。

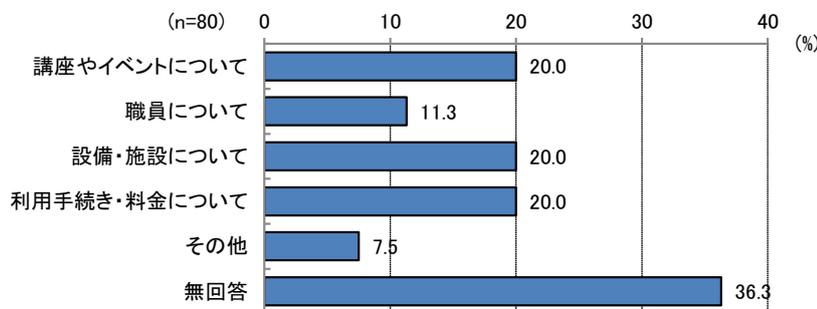
●部屋・設備についての具体的な種類や要望される理由

希望する設備	部屋・設備についての具体的な種類や要望される理由(自由記述)
体を動かせたり、運動講座ができる部屋	高齢者になると身体を動かす事が大事なので広い部屋で自由運動したい
	2F 研修室や3F ホールでの広い部屋を使用したいが利用料金が午後からは高いので安く運動できる部屋を増やして欲しい
	講座内容や受講者数によって、必要なスペースが決まるとは思いますが広げたり、狭くも出来たり、その時々に応じて使わせていただければと思います
	体を動かす機会が減っていると思うので、遊べるような施設となつたらいいなと思います。児童会で昔けん玉教室みたいなものがあって行ったりして、そういう何か子どもが夢中になれるクラブ活動とかも楽しそうだと思います。最近は運動不足の子どもが多いと感じるので、子どものヨガ教室など体を動かすのが楽しいと思えるプログラムもあったらいいなと思います
	集会所でダンスをしています、鏡が少なすぎて中々子ども達がちゃんとダンスできない
文化講座ができる部屋	住民が自由に使えるサロンの部屋
	音楽鑑賞用の設備(プレーヤー、アンプ、スピーカー等)防音施設
調理ができる部屋	調理ができる部屋があれば使用目的もひろがると思います
イベントスペース	展示品の照明設備を充実してほしい
	イベント使用の広い舞台や高めの天井、あとピアノや楽器、合唱など音響の関係ができる部屋は複数必要だと思います
	クラブ、サークルの作品を展示する常設スペースがほしい。公民館まつりだけの展示では期間が短い
会議室	申込で一杯にならない様中、小の部屋を増やして欲しい
学習ができる場所	本をもっとたくさん置いてほしい、図書館もあるが、より身近で子どもが立ち寄って気軽に本を読める場になればと思う
	生涯学習で色々な事を学びたい
	子どもが放課後に友達と待ち合わせ、遊ぶ前に宿題をするのによく利用させて頂いていますが、一階のロビーのスペースを利用しているので、机が足りない時もあるようで学習用のスペースがあると有難いと思います
ICT 機器が利用できるネットワーク通信環境(無料 Wi-Fi 等)	先日コミュニティプラザで ZOOM の勉強会をしようとしたら Wi-Fi がありませんでした
	Wi-Fi などネットワーク設備は必要なものだと思います。
飲食ができる場所	懇親出来る場所を小人数で使用できる様にしてほしい。
	各種団体の懇親の場として気軽に集えて場所によっては飲食可能(懇親や忘年会、納涼会など)な施設も必要、特に安威川以南にはそのような場所、施設(民間も含めて)がありません
	地域の人が集ってその後少しの飲食が出来た方がコミュニケーションが出来やすい
気軽につどえる場所	気軽に憩いの場のように立ち寄れる場所
	気軽にふらっと立ち寄れる喫茶や憩い場があれば友達が作れそうに思います
	小さなカフェがあったらいいと思います。地域の人達が気軽に喫茶を飲む場所
	仲間同士で気軽に話をしたい
	悩みや楽しい事等会話を楽しみたい
	コミュニティプラザは広いスペースがある為、活動の後ゆっくり集える場所や話し合える場所があるのがうらやましい
建ってしまった部屋は仕方がないが職員の運用で目的達成できるはず	

希望する設備	部屋・設備についての具体的な種類や要望される理由(自由記述)
その他	別府コミュニティセンターでは研修室が1部屋しかないが、研修室を使うクラブが多いので1部屋では少ない
	以前の別府公民館の時は、敷地内にクラブ用のロッカーがあり無料で使用できました。クラブ用のロッカーは小さくて長いものなど収納できず不便です

問8 今後、コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。運営面のこと、施設面のことなど、どのようなことでもかまいませんので、ご意見を具体的にお教えてください。

コミュニティ施設をより多くの方に利用して頂くための取組についてのご意見は、「講座やイベントについて」、「施設・設備について」、「利用手続き・料金について」がそれぞれ20.0%見られました。



コミュニティ施設をより多くの方に利用して頂くための取組についての具体的なご意見は次の通りでした。上位にあがっていた“講座やイベントについて”は、「若い年齢層が参加しやすい、講座・イベントが必要(40～50代)」、「子ども同伴可のコンサートや語学講座など、子育て中の親も気軽に参加できる催しがあるとより多くの方が利用すると思います」、「高齢者の健康問題などの講座」、「語学の講座があれば利用してみたいです」など、多様な意見があがっており、各年代に合わせた講座やイベントの企画が必要であると考えられます。また、利用料金については、「利用料金を安くしてほしい」とのお声の他に、「駅前のコミュニティプラザと別府コミュニティセンターの使用料が同じというのは腑に落ちません」というような具体的な意見もみられました。

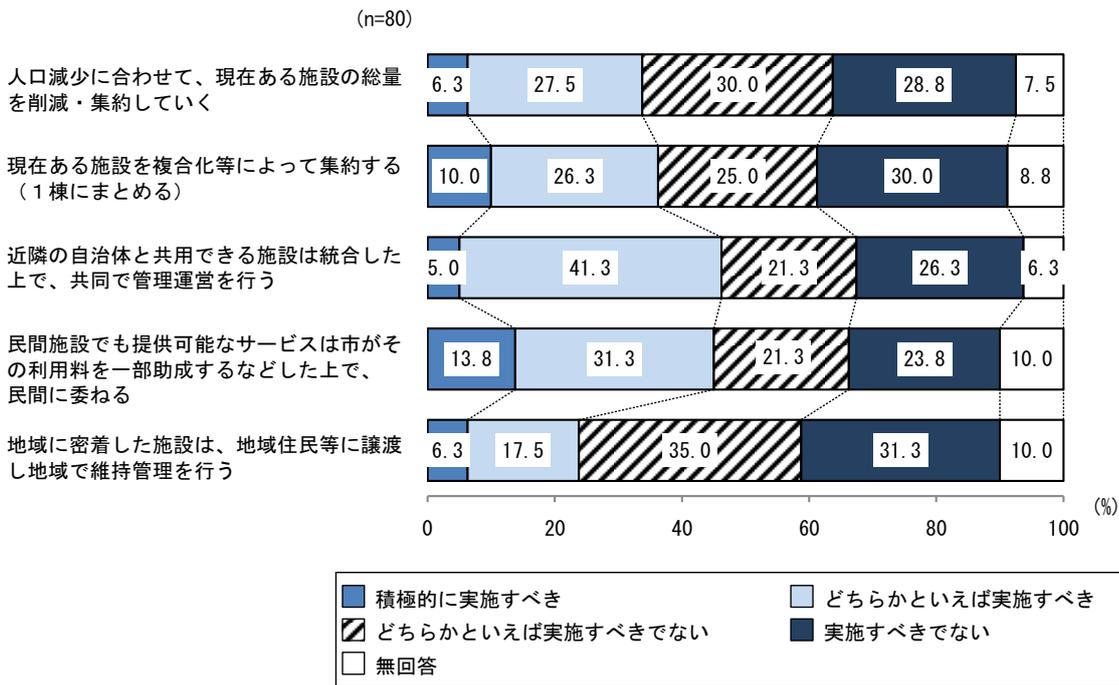
●コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうために必要だと思う取組

意見の種類	コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうために必要だと思う取組(自由記述)
講座やイベントについて	高齢者の健康問題などの講座
	高齢者、子ども達が集まる楽しい広場、コロナで中止になっていたがお祭りの行事
	若い年齢層が参加しやすい、講座・イベントが必要(40～50代)。体操関係の講座が多過ぎると思う、音楽関係で企画が欲しい
	公民館の講座、イベントの企画力が弱い職員のレベルに依存している
	語学の講座があれば利用してみたいです
	・趣味の講座(芸術、文学、調理、工作)興味や技術を養う講座を希望します ・仲間を誘い合って参加できるイベント(お笑い、合唱、演芸)
	子ども同伴可のコンサートや語学講座など、子育て中の親も気軽に参加できる催しがあるとより多くの方が利用すると思います。子連れのために普段から色々と参加を諦めている親は多いのではと思います。子どもを連れて遠くの会場施設まで電車に乗ってまで参加できない人でも近くのコミュニティ施設ならば足を運べるかもしれません
	誰でも参加できる講座があればいい
	施設のスタッフの方々にはいつも大変お世話になっております。毎月色々な講座などを考えて紹介して頂いております。参加してみようかなと思う講座が少なく利用機会があまりありません。御一考頂ければと思います
	コミュニティ施設を利用している方は限られていると思うので、より多くの講座イベントを催し多くの人々に利用して頂きたく思います
職員について	職員さんの人数が別府公民館と比べると多いと思います。それだけの人数が必要なのでしょうか？
	最近はそのようではないかもしれませんが地域と協力するという感じが、建物が出来た当時全くなかった為、その印象が残っている所もあると思う。コミュニティのおまつりもしているが15時までになっているのも午前中には完売しているため施設のアピールもやる気もないのだろうと思ってしまう。
	職員さんとの交流も全くなく、公民館の時のような親しさはありません
	大変だと思うが「一緒にしましょう系」の前向きな人をぜひ。管理だけの人だと建物や費用(人権費)がもったいない
設備・施設について	エレベーターの設置(4件)
	一津屋地区の老人施設として第47集会所がありますが、収容人数も少なく足場も悪く、駐車場もなく、使用範囲が限られます。高齢者施設としてエレベーター付きの多目的な公民館施設が一日も早く出来ることを願っております
	集会所については広いルームが必要
	クラブ用のロッカーを無料にするかクラブ用の倉庫を設置してください
	早くコロナが落ち着いてロビーが使えるようになればいいなと思います
	トイレを洋式にしてください
	体を動かす部屋が少なく思う、人数によってはあまり広々といらないので、部屋数がほしい
	平屋建てでもう少し広い部屋
	暗い感じがしている
	子育てや子どもの居場所、学生など遊び場ではなく使用したりするために、Wi-fi等の整備が必要ではないでしょうか。大人のパソコンやスマホなどの講座などでも使用できるのではないのでしょうか
吹田市、高槻市等はずっとすごいものがある、摂津市は小さい方、運用をニーズに合わせ大きい市ができない特色を	

意見の種類	コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうために必要だと思う取組(自由記述)
利用手続き・料金 について	(利用手続きの)簡素化
	利用日の変更、取り消し(コロナの時のように)の時、1日ずつ用紙を書くのではなく、1枚で用足りるようしてほしい
	利用手続きの時間が早くなったらいいと思います
	使用予定変更になったときの料金精算手続きを簡便にしてほしい
	利用手続き、現金で支払っているから変更はどの場合でも(中止の時など)現金で支払ってほしい
	利用手続きが簡単で手軽な料金で参加出来ればうれしいです
	もう少し安くなると助かります
	駅前のコミュニティプラザと別府コミュニティセンターの使用料が同じというのは腑に落ちません。駐車場も少なく、バスも走っていない。なにより建設前のワークショップで話し合ったことをちゃんと見てください。そこに別府の人たちの思いが入っていると思います
	利用料金が高いので見直し(減額)頂けるともっと利用し易くなるのではないかと思います
	今は料金を下げて頂きたいです
	利用料を安くし多くの方が利用できるように
料金は高いので公民館並みにしてほしい。部屋代の他にマイクやコンセント代などはかからないようにしてほしい	
その他	利用時間外の時に若い子達が入ってきて外で飲食をしてそのまま片付けもせずに帰るので、入れない様なセキュリティがあればよいなとみんな話しています
	もっと近くに気軽に利用できる施設がほしい(小規模でもかまいません)
	施設運営にあたり地域住民の参加を積極的に進めていけばいいと思う
	子育て世代や若い方々、障害者の方々には集約された施設を高齢者の方々には住居地域の中にあるコミュニティ施設(集会所他)が必要かと思われます。高齢者の方々は歩いて行ける距離、個人差はありますが検討していただければと考えます
	コミュニティ施設の使い方がわからなかったり、使えるのだということがあまり知られていないと思います。自由に借りてイベント等に使っていいなら活用したいと思っています
	なぜかコミュニティセンターは利用者が少ないです、利用する必要がないのかもしれませんがね

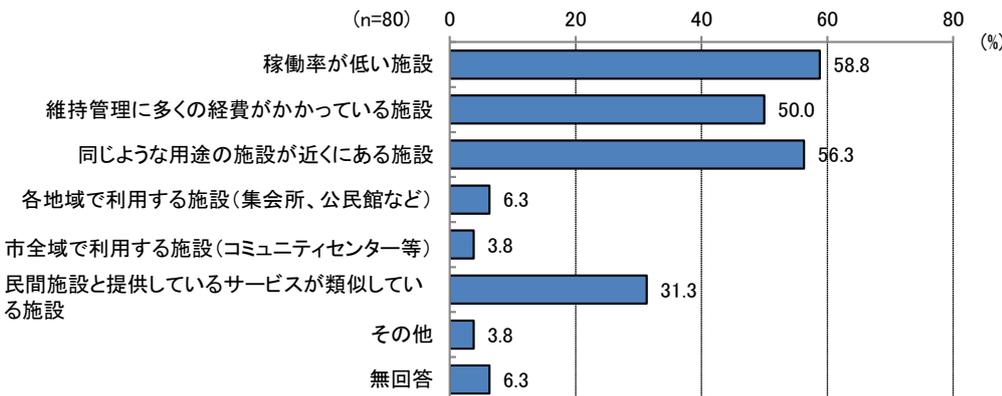
問9 現在、摂津市では限られた財源の中施設を維持・運営しておりますが、今後従来の公共サービスのあり方を見直すことが必要になることも想定されます。その場合、下表の各方策を実施することについて、あなたはどのように考えますか。方策ごとに1つ選んで○を付けてください。(○はそれぞれの方策ごとに1つ)

各方策の中で、“実施すべき”(「積極的に実施すべき」+「どちらかといえば実施すべき」)の割合が高かったのは、「近隣の自治体と共用できる施設は統合したうえで、共同で管理運営を行う」の46.3%、「民間施設でも提供可能なサービスは市がその利用料を一部助成するなどしたうえで、民間に委ねる」の45.1%といった項目でした。



問10 今後今ある施設を見直すことが必要になった場合、どのような施設から減らすべきと考えますか。(○は3つまで)

今後施設を見直すことが必要になった場合、減らすことを検討すべき施設としては、「稼働率が低い施設」が58.8%で最も高く、次いで「同じような用途の施設が近くにある施設」が56.3%、「維持管理に多くの経費がかかっている施設」が50.0%となっています。



(3) 令和2年度 第5回摂津市市政モニターアンケート調査

1 調査概要

本調査の調査概要は以下の通りです。

調査目的	市民の皆様から市政に関する意見や要望をお聞きし、行政の施策の参考とさせていただくことを目的として実施しました
調査対象者	令和2年4月1日現在の住民基本台帳に記録されている18歳以上の方で、無作為に抽出した500人。ただし、摂津市議会議員及び摂津市職員を除く
調査方法	書面によるアンケート調査（郵送回収）
調査期間	令和2年10月22日（木）～11月6日（金）
配布数	500件
回収数	175件（回収率：35.0%）

2 調査項目

○コミュニティ施設のあり方について

※本調査については、今回の業務とは別で実施された調査であり、調査項目のうち、コミュニティ施設に係る設問のみを抜粋し、記載しています。また、集計方法についてはすでに公表されているものに従っており、(2) 住民へのヒアリング調査の集計方法及び表示方法と異なります。

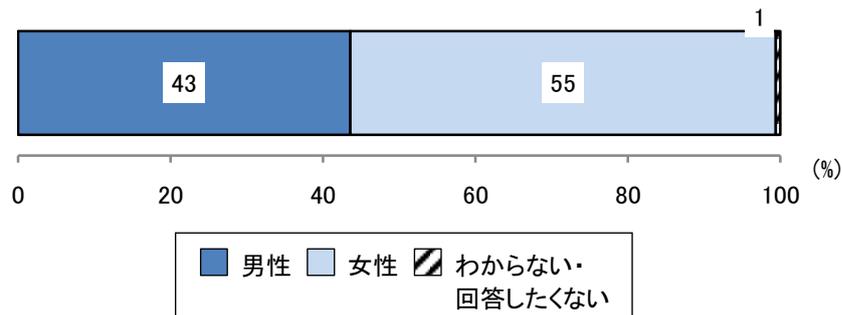
3 調査結果のまとめ

基本属性【性別・年代】

<性別>

回答者の性別は、「男性」が43%、「女性」が55%でした。

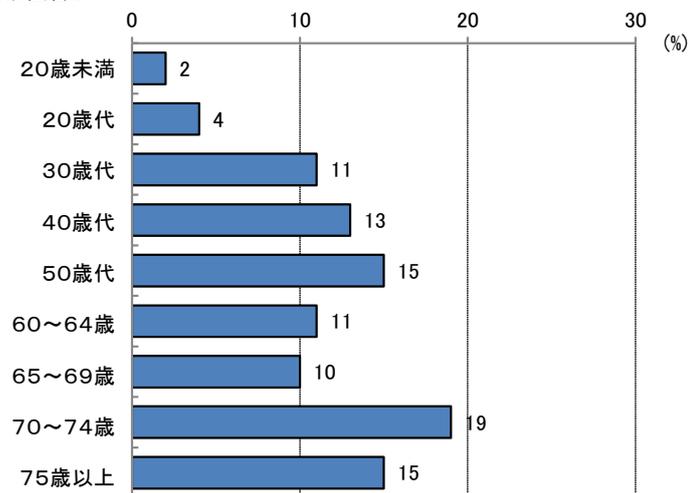
(n=175) ※うち無回答2人・無効回答1人



<年代>

回答者の年代は、「20歳未満」が2%、「20歳代」が4%、「30歳代」が11%、「40歳代」が13%、「50歳代」が15%、「60～64歳」が11%、「65～69歳」が10%、「70～74歳」が19%、「75歳以上」が15%となっています。

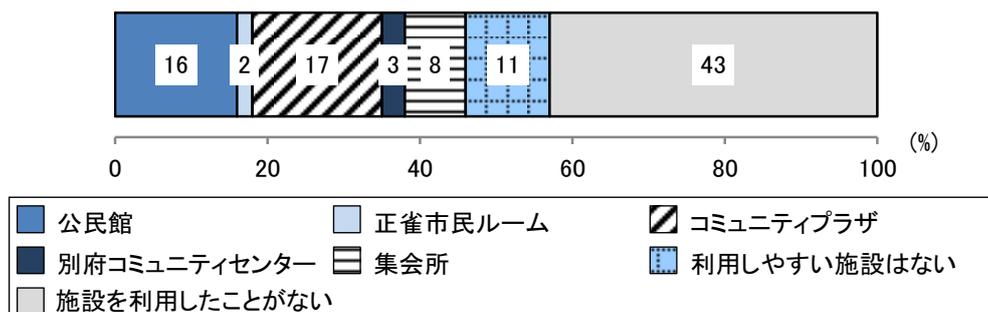
(n=175) ※うち無回答0人



問1 利用しやすいコミュニティ施設について、次の中から1つ選んで○をつけてください

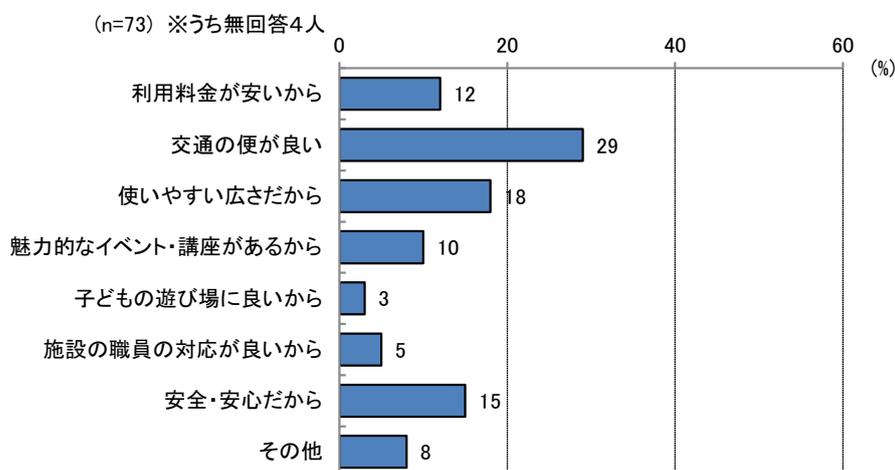
利用しやすいコミュニティ施設については、「施設を利用したことがない」が43%と最も高くなっています。次いで、「コミュニティプラザ」が17%、「公民館」が16%となっています。

(n=175) ※うち無回答11人・無効回答5人



問2 問1のコミュニティ施設について、利用しやすい理由を次の中から3つまで選んで○をつけてください。

利用しやすい理由としては、「交通の便が良い」が29%と最も高くなっています。



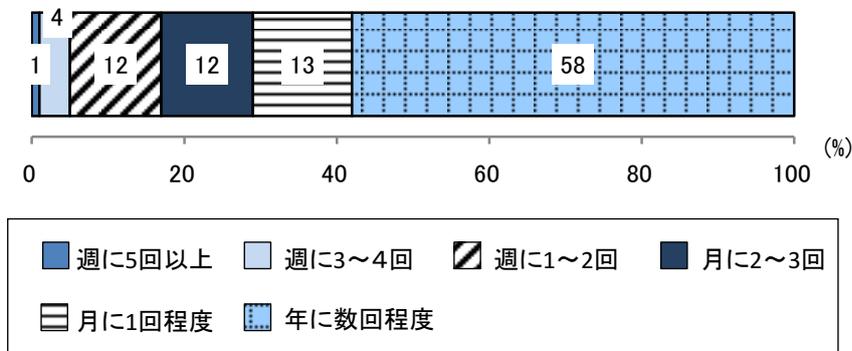
●その他の記述

その他の内容
近所
地域の中心で集まりやすい場所
自宅に近い
昔から地域にあった会場です 当地区の消防団、子ども会、自治会、他設備もよく、地域の中心にあり、よく利用されています
1回も行ったことがないからわからない
自治会の定例会

問3 コミュニティ施設の利用頻度はどのくらいですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

コミュニティ施設の利用頻度は、「年に数回程度」が58%と最も高くなっています。

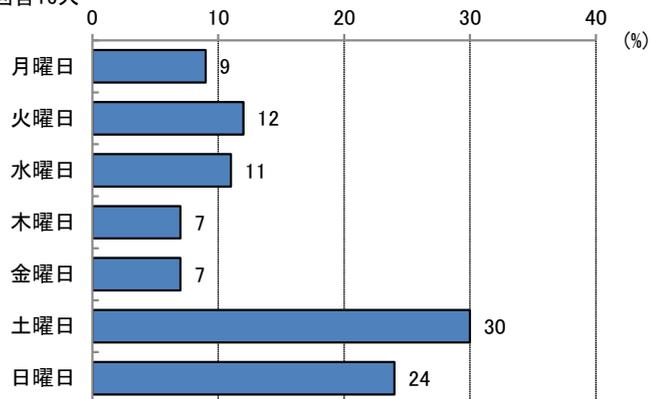
(n=73) ※うち無回答4人



問4 コミュニティ施設は、何曜日に利用していますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

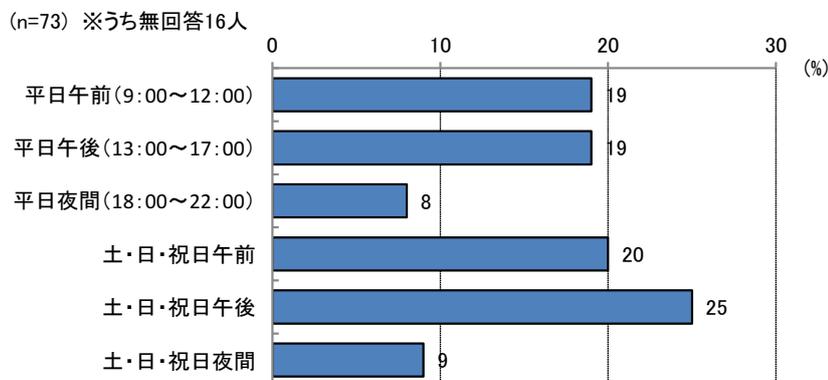
「土曜日」が30%と最も高くなっており、次いで「日曜日」が24%となっています。

(n=73) ※うち無回答16人



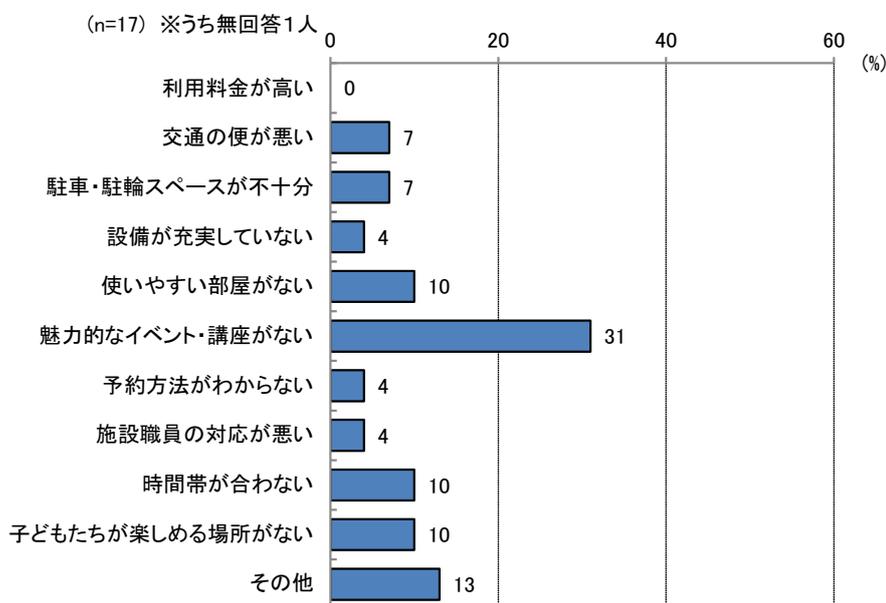
問5 コミュニティ施設を利用する時間帯はいつですか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

「土・日・祝日午後」との回答が25%と最も高くなっていますが、「平日及び土・日・祝日の夜間」については、利用が少なくなっています。



問6 問1で「8. 利用しやすい施設はない」と答えた方は、その理由を次の中から3つまで選んで○をつけてください。

利用しやすい施設がない理由としては、「魅力的なイベント・講座がない」が31%で最も高くなっています。



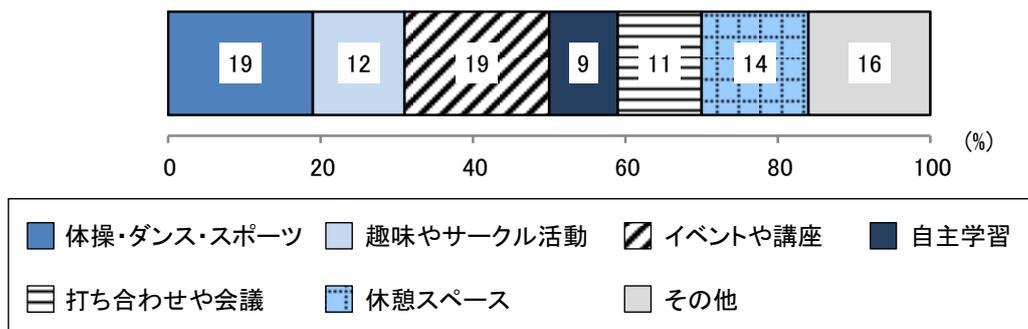
●その他の記述

その他の内容
施設の情報が無い、分かりにくい
ルールが多く目的に沿って施設を利用する事が出来ない
利用する機会がない

問7 どのような用途でコミュニティ施設を利用されていますか、または今後利用されたいですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

コミュニティ施設の用途としては、「体操・ダンス・スポーツ」「イベントや講座」がそれぞれ19%と最も高くなっています。

(n=175) ※うち無回答38人・無効回答10人



●その他の記述

その他の内容
自動車安全運転講習会
リハサロン、サロンのボランティア
図書返却・予約
本を借りている
利用したことがないのでわからない
私は利用した事が無いですが(仕事で忙しい為)妻は月1~2回子ども3回利用
体力的に施設まで行けない
施設を利用する動機や機会がない

問8 「こんなコミュニティ施設があればいいな」と思われることを教えてください。

コミュニティ施設に関して、以下のような意見がみられました。

●こんなコミュニティ施設があればいいなと思われること

こんなコミュニティ施設があればいいなと思われること(自由記述)
珈琲が飲め、ゆったり読書出来るスペース
視覚障害者が一人で(杖使用)使用できる施設
森の宮のまちかど図書館のようなオープンで自由な施設
3F ホール防音整備の充実(歌謡発表会の時2F 全室使用料負担のため)
家族の考えで書かせて頂きます。今、目まぐるしい程、世の中が変化しています。国はデジタル庁を開設し私の家族は世の中についていけないのではと不安で…しかしそんな弱気な気持ちでは生きていけない世の中です。現在携帯がガラケーなのでスマホにと考えてる所スマホの操作を教えて頂けるコミュニティ(公民館)があれば大変助かるんですが
個人スペース
利用料金はできるだけ安くしてほしい
全世代が使用、参加できる施設を希望(市場池公園は地元老人会が我が物顔で占領している。公園の広場で子どもを遊ばせようと思っても徹退するように言われた)。市場池公園の使用を考えてほしい

こんなコミュニティ施設があればいいと思われること(自由記述)
特に鳥飼下地区は自治会の交流が何もない上に誰でも集える大きな公園もありません。近隣住民と交流も無く何年住んでいても顔見知りになる機会もありません。老人会の活動もなく自治会などの旅行などもなく他地区の活動を聞くとうらやましいし自治会費を納入しているだけで何の意味もないように思います
交通の便利がよく、自宅近くを希望。広さや利便性のよい施設
いざと言う時に避難所として使えるように、どの施設にも備えがあればよいと思う
個人で楽器など演奏する時に近隣の人々に迷惑にならないように(大音量のため)、防音装置がされている施設があればいいと思います
千里丘駅のまわりに運動できる施設がない(室内)のもっと千里丘駅のまわりにもコミュニティや運動できる施設がほしいです
もっと民間のような積極的なイベント、広報、人材、があればいいと思います。今のイメージは、暗く、冷たいイメージがあります
いつでも、誰でもが参加できる場所。一人でも、グループでも集えるカフェのような場所があれば…公民館などは、出かけるには遠いし、元気な状態でないと出かけにくい。コロナ禍は特に難しい。今後、希望どおりには進めにくい
駐車料金の安い施設(コミュニティプラザの駐車料金が高すぎる!)※1時間500円 駅前のコインパーキングでも1時間100円。施設利用しているのに高い
ユニバーサルコミュニティが実現される施設、施設=建物=はこもの整備ではなくソフトの整備を伴った『場』を望みたい。ユニバーサルというのは年齢・ジェンダー・職業を超えた交わり(コミュニケーション)を実現できる空間=ソフト空間。年長高齢者が幼少年少青年とコミュニケーションを通じて自由に交われる場=ソフト&施設
これから食が重要なことになると思いますので、田畑の確保と食物工場があれば若い人でも農業に興味が出て将来のためになると思います
料理講座・趣味、サークルスポーツも初心者のみからの講座、活動をしてほしい
情報誌、雑誌、新聞などが自由に読めて、コーヒーが飲める場所、全国でふえてきている、図書館カフェのような場所
“子育て支援”自宅からベビーカーで行ける距離に施設があると助かる。場所がわからない
現在、仕事をしているので考えていない
おしゃれなワーキングスペース(小さいスペースを時間貸し)・DIYスペース(工具付きで)・子どもがさわいでいない・高齢者がうるさくない
フリーマーケット
子どもが集まれるイベントや講座をふやしてほしい
リモート会議や、ネットを利用した個室での作業ができるスペース、WiFiなどネット環境が整った施設
小さな子どもを育てている母子のサークルとか料理、そして日本の文化である着物を身につけるような、お茶、踊りとかをもっと推進してほしいと思う
いまの施設を充実させればよいと思う
高齢になると長く歩くこと、また、自転車で行くことも困難になり、参加することが不可能になります。高齢者の足で10分程度の場所で参加できるようにであれば行きたい人はたくさんいます
今の市民の活動を支える施設は現状ないと思います。土地的なこともあるかと思いますが、人が集まりやすく、一定のルールは必要だと思いますが、お祭り等を開催しやすく既存の施設のルールをゆるめるだけでも使いたいという団体は増えると思います。今の団体は仕方なく利用している方も多と思うので、あらゆる分野の市民活動が活発になる場を官民連携して目指していきたいと思っております
健康になりたいので体力をつける所が欲しい
別府地区は2つ有るので(集会所+コミュニティセンター)足りてると思われます。但し、利用の仕方が分からない、年寄りもいらっしやるのでは?と思います
いつでも開放されていて自由に市民が、集える場であってほしい。高齢者が楽しめる場で全市内のループバスで送迎できるような環境づくりをお願いします。近鉄バスは時間が正確ではなく本数も少ないので不便で困っています。小さいバスでいいので土日祝も運行して下さい
気軽に利用できるスペース。子どもたちの居場所。別府コミュニティセンターは閉鎖的
人が集まれば、よいこともたくさんありますが、一部の人が集まり、人の悪口など言ってることを耳にするので、あまり、このような場所は好きではないです
自営業ですのでコミュニティ施設を利用するのは、選挙の期日前投票の時と市民健診
スーパー銭湯のような施設
和室の部屋はとても話がはずみますので、気軽に行ける休憩スペースがあればと思います

こんなコミュニティ施設があればいいと思われること(自由記述)
コミュニティ施設を利用する動機や機会はないが、図書館を利用しようと思っている。しかしながら、当市の図書館は貧弱であり、もっと充実してほしい。質問の趣旨からはずれているかもしれないが書き添えておきます
いつでも自由に 100 円程度のコーヒー他、セルフで、おしゃべりしながら、気軽に楽しめる所があればいいと思う
高齢者の老化防止のための遊びや学習する企画があればよい。マージャン・ダーツ・3分間自由おしゃべり・各種クイズなどを上位者賞・まん中賞・ブービー賞など決めて、ちょっとがんばらせることも必要かと思う
施設に関して不満はない。イベントや、講座が、もう少し興味を引くものであればよいのにとと思う時はある。講座が土日にもあれば嬉しい(興味があっても、仕事で行けず、あきらめたことが数回ある)

(4) アンケート調査からみる摂津市コミュニティ施設の課題やニーズ

1 コミュニティ施設の考え方・対象エリアについて

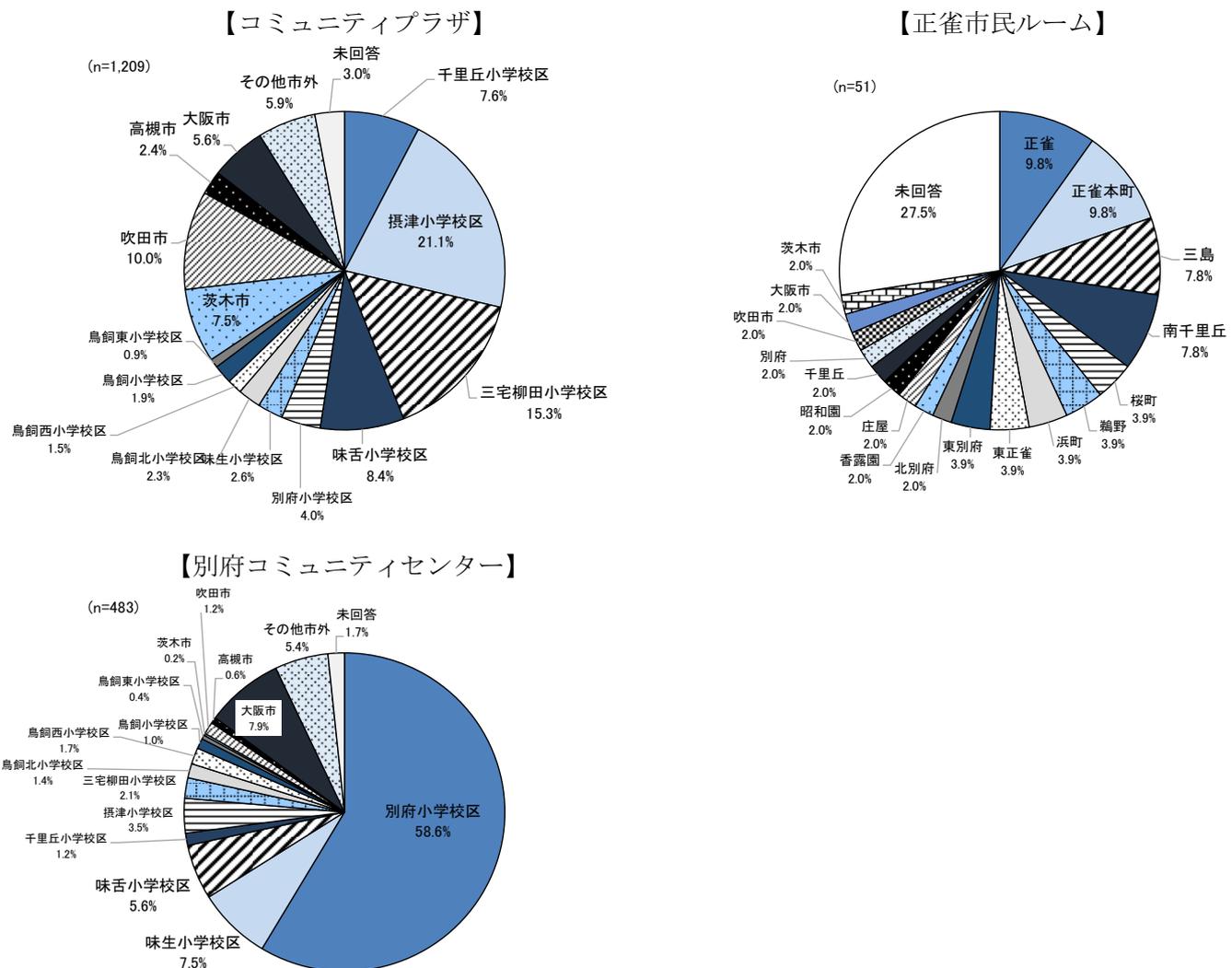
本市のコミュニティ施設には、全市域の利用者を対象とした「文化ホール・コミュニティプラザ」、小・中学校区の利用者を対象とした「公民館・別府コミュニティセンター」があります。また、自治会単位で利用する施設としては、「集会所」があり、営利目的での利用が可能な「市民ルーム」もあります。

その中で、【コミュニティプラザ】、【別府コミュニティセンター】、【正雀市民ルーム】の施設利用者アンケートからみる居住地域の分類が、次のとおりとなっています。

コミュニティプラザでは、「摂津小学校区」が21.1%、「三宅柳田小学校区」が15.3%、「味舌小学校区」といった地域からの利用が多くなっていますが、摂津市外からの来訪も31.4%あり、近隣市を含めて、広く利用されている傾向があります。

また、正雀市民ルームについては、市外利用は6.0%に留まっていますが、摂津市内利用者については、正雀、正雀本町が各9.8%をはじめとして、比較的広範囲からの利用がみられます。

一方で別府コミュニティセンターでは、別府小学校区が58.6%を占めており、近隣の味生小学校区を含めると、66.1%となっています。この結果から、他2館と比較すると、近隣地域居住者の利用比率が多いことが分かります。ただし、大阪市の7.9%をはじめとして、摂津市外からの利用も15.3%みられます。



2 施設・設備について

①コミュニティ施設の設備機能

■コミュニティ施設の部屋・設備のニーズとしては、特に「防音設備・音楽室」についてのニーズが高いと考えられます。また、「Wi-Fi」等の通信環境についても、コミュニティ施設、住民の双方のヒアリングで比較的上位となっていました。

一方で、住民ヒアリングでは求められる設備として、「飲食が出来る場所」や「気軽につどえる場所」が上位になっており、貸館としての設備の充実を図るだけでなく、『集う場所』としての機能の充実についても検討を行う必要があると考えられます。

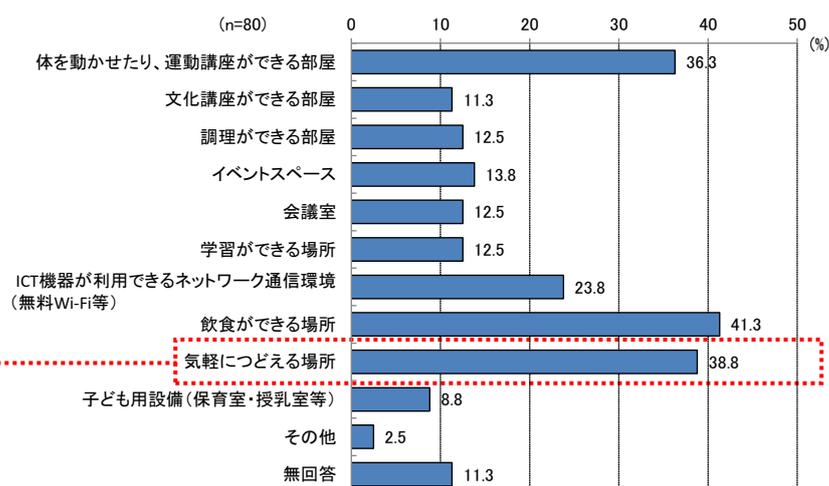
<コミュニティ施設へのヒアリング調査>

●必要だと思う施設や設備（上位のみ）

施設・設備	要望のあったコミュニティ施設
防音設備、音楽室	千里丘公民館、味生公民館、鳥飼東公民館、コミュニティプラザ、別府コミュニティセンター、正雀市民ルーム、いきいきプラザ
Wi-Fi	安威川公民館、味生公民館、コミュニティプラザ、正雀市民ルーム
洋式トイレ・温水便座	新鳥飼公民館、鳥飼東公民館、正雀市民ルーム
バリアフリー設備（エレベーターを含む）	新鳥飼公民館、味生公民館、鳥飼東公民館

<住民へのヒアリング調査>

●今後摂津市のコミュニティ施設に必要と感じる部屋・設備



気軽につどえる場所として、

- ・活動の後ゆっくり集える場所や話し合える場所
 - ・気軽にふらっと立ち寄れる喫茶や憩い場があれば友達が作れそうに思います
- といった意見がみられました。

②立地・駐車場/駐輪場

- 第5回摂津市市政モニターアンケート調査を踏まえると、コミュニティ施設を利用する上で交通の便の良さは重要であり、利用施設の決定に影響を及ぼすのではないかと考えられます。そのため、今後コミュニティ施設を新たに建設する場合には、立地についても重要視する必要があります。
- また、高齢者や遠方からの利用者が多いコミュニティ施設については、駐車場のキャパシティが利用者数に影響する可能性があることを考慮する必要もあります。

<コミュニティ施設へのヒアリング調査>

別府コミュニティセンターから、「場所がわかりづらく迷われる方が多いため、地図を作ったり、ホームページにわかりやすく載せたりするなどの工夫を行っている」といった意見があり、このような状況から、「立地はわかりやすい場所に建てた方が良いと思う」との意見もありました。

また、駐車場については、いきいきプラザの意見として「駐車場が広くなれば、利用者も増えるのではないか」というような声もありました。利用者の年代や地域、利用目的によっては、駐車場の規模が利用者数に影響する可能性があることを考慮する必要もあります。

<住民へのヒアリング調査>

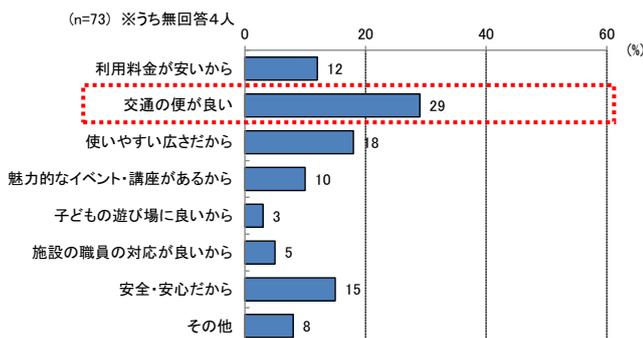
最も利用する施設について、利用する理由をお聞きしたところ、「交通の便が良いから」は32.5%で4番目に高い順位でしたが、今回調査は別府・味生地域を対象として行っており、居住地から施設が近くにあることが要因だと考えられます。

<第5回摂津市市政モニターアンケート調査>

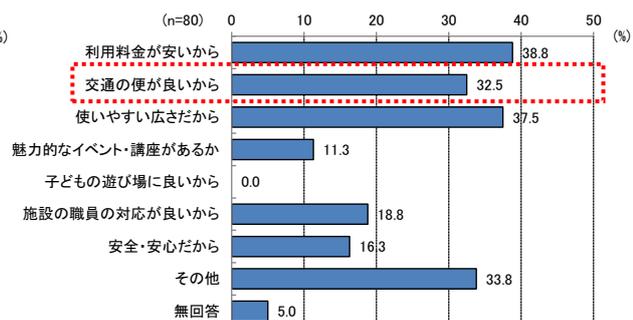
利用しやすいと思うコミュニティ施設について、その理由をお聞きしたところ、「交通の便が良い」と答えた人が29%で最も多くなっていました。次いで、「使いやすい広さだから」(18%)、「安全・安心だから」(15%)が上位にあがっていました。

●最も利用する施設について、利用する理由

<第5回摂津市市政モニターアンケート調査>



<住民へのヒアリング調査>



3 講座・イベントについて

■今後コミュニティ施設の利用を増やしていくうえで、魅力的なイベント・講座の実施は重要であると考えられます。(第5回摂津市市政モニターアンケート調査より)

■コミュニティ施設講座・イベントの内容については市民のニーズも年代やライフステージ、趣味・趣向によって分かれており、多様化していることが伺えます。そのため、講座やイベントについては、各施設が施設利用者の特性を把握し、狙いたいターゲット層を明らかにしたうえで、ニーズのある講座やイベント内容を検討していただくことが必要だと考えられます。

<コミュニティ施設へのヒアリング調査>

各施設とも、講座やイベントの開催については力を入れており、様々な講座やイベントを開催しています。メイン利用者である高齢者層に向けた講座や親子向けの講座の他、今後利用者を増やしたい比較的若い年代層や男性に向けた講座やイベントについて研究・実施していると答えたコミュニティ施設もありました。

<住民へのヒアリング調査>

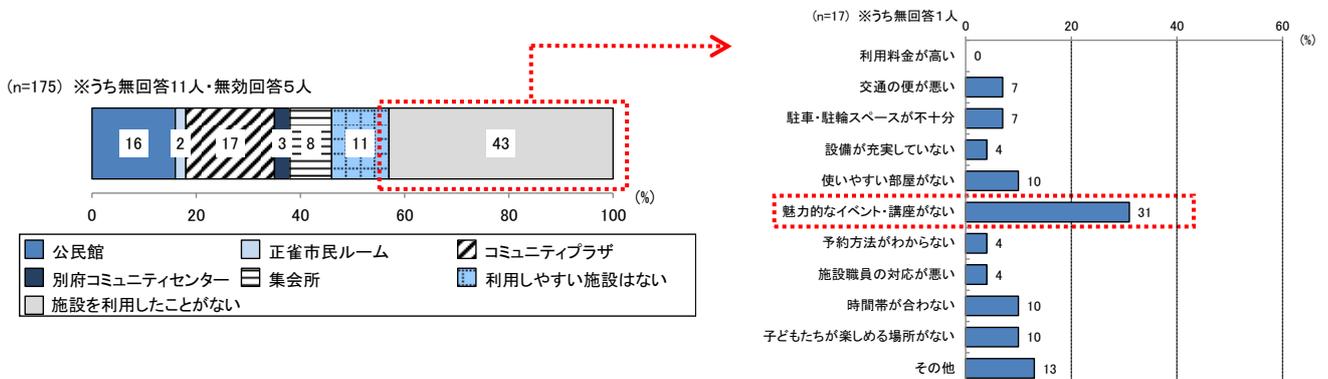
講座やイベントについては、様々な意見が寄せられており、年代やライフステージ、趣味・趣向によって様々な選択肢があります。一方で、「参加してみようかなと思う講座が少なく利用機会がありません」という意見もあり、講座やイベントについては、各施設が施設利用者の特性を把握し、狙いたいターゲット層を明らかにしたうえで、ニーズのある講座やイベント内容を検討していただく必要があります。

<第5回摂津市市政モニターアンケート調査>

問1の利用しやすい施設についてお聞きした質問では、「施設を利用したことがない」が43%と約4割を占めていました。そのように答えた人利用しやすい施設がない理由をお聞きしたところ、「魅力的なイベント・講座がない」が31%で最も高くなっていました。

●利用しやすい施設と、「施設を利用したことがない」と答えた人の理由

<第5回摂津市市政モニターアンケート調査>



●こんなコミュニティ施設があればいいと思われること(講座やイベントについてのみ抜粋)

<第5回摂津市市政モニターアンケート調査>

こんなコミュニティ施設があればいいと思われること(自由記述)
もっと民間のような積極的なイベント、広報、人材、があればいいと思います。今のイメージは、暗く、冷たいイメージがあります
料理講座・趣味、サークルスポーツも初心者のみからの講座、活動してほしい
子どもが集まれるイベントや講座をふやしてほしい
小さな子どもを育てている母子のサークルとか料理、そして日本の文化である着物を身につけるような、お茶、踊りとかをもっと推進してほしいと思う

●コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうために必要だと思う取組(講座やイベントについてのみ抜粋)

<住民へのヒアリング調査>

コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうために必要だと思う取組(自由記述)
高齢者の健康問題などの講座
高齢者、子ども達が集まる楽しい広場、コロナで中止になっていたがお祭りの行事
若い年齢層が参加しやすい、講座・イベントが必要(40~50代)。体操関係の講座が多過ぎると思う、音楽関係で企画が欲しい(浮世先生の歴史講座楽しみにしています。)
公民館の講座、イベントの企画力が弱い職員のレベルに依存している
語学の講座があれば利用してみたいです
・趣味の講座(芸術、文学、調理、工作)興味や技術を養う講座を希望します ・仲間を誘い合って参加できるイベント(お笑い、合唱、演芸)
子ども同伴可のコンサートや語学講座など、子育て中の親も気軽に参加できる催しがあるとより多くの人々が利用すると思います。子連れのために普段から色々と参加を諦めている親は多いのではと思います。子どもを連れて遠くの会場施設まで電車を乗ってまで参加できない人でも近くのコミュニティ施設ならば足を運べるかもしれません
誰でも参加できる講座があればいい
施設のスタッフの方々にはいつも大変お世話になっております。毎月色々な講座などを考えて紹介して頂いておりませんが、参加してみようかなと思う講座が少なく利用機会があまりありません。御一考頂ければと思います
コミュニティ施設を利用している方は限られていると思うので、より多くの講座イベントを催し数多くの人々に利用して頂きたいです

4 料金について

①利用料金

■利用料金については、コミュニティ施設へのヒアリング調査では、施設によって「高い」と「安い」という対照的な意見がありました。

■施設間の料金差については、施設の機能や運営費用など様々な観点を踏まえながら、利用実態や運用形態等に合わせた料金設定について研究していく必要があります。

→全市的に利用されるコミュニティ施設(文化ホール・コミュニティプラザ・正雀市民ルーム)では、市内では同種の施設間においてあまり料金差に差は生じないものの、利用者・利用目的の性質から近隣自治体や、民間の同種の施設なども比較対象とされる場合があるため、そのような施設の情報を把握し、必要に応じて利用料金の検証を行っていくことが必要です。

→別府コミュニティセンターにおいて、利用者から”高い”といった回答がみられ、別府公民館時代との料金差に対しての不満もあがっていました。様々な観点から別府コミュニティセンターと公民館の利用者層、運営形態を見ると類似していることが伺えます。

<コミュニティ施設へのヒアリング調査>

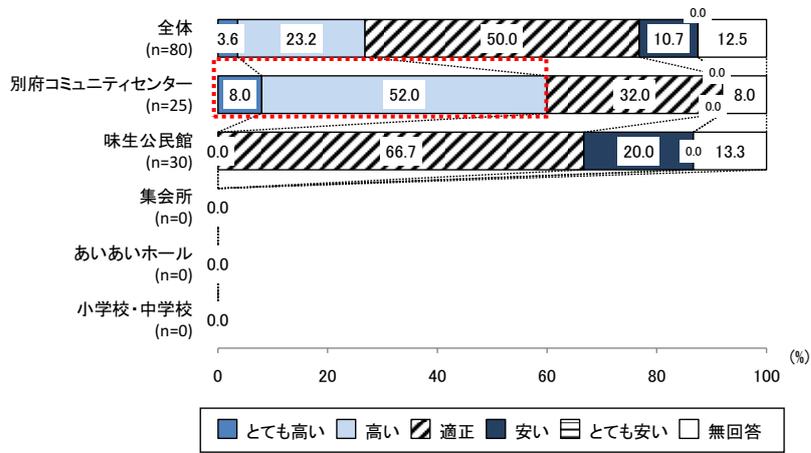
公民館では、各館とも利用者からは料金についての不満は特にあがりませんでした。正雀市民ルームでも、安いと思われている利用者の方が多いと感じており、おそらくコミュニティプラザと別府コミュニティセンターと比較して、安いと感じている利用者が多いのではないかといった意見があがっていました。一方で、別府コミュニティセンターでは別府公民館からの移行が多いので、料金の経過措置はあったものの、公民館と比較して利用料金が高いとのお声は利用者からはあるとのことでした。

<住民へのヒアリング調査>

別府コミュニティセンター利用者で、“高い”(「とても高い」+「高い」)が60.0%と半数以上を占めています。また、自由意見として「別府公民館の時より使用料が4倍ほどに上がり、会費を年々上げています。別府公民館の代わりに施設なのにクラブ使用でこれだけ他の館との差があるのはひどいと思います」、「なぜ年々使用料が高くなるのですか？別府公民館と同じようにしたらいいと思います」という声もあり、コミュニティ施設へのヒアリング調査からの結果と同じように、別府公民館の後継施設であるという認識が、料金への不満につながっていると思われます。

●最もよく利用する施設の利用料金についてどう思いますか

【全体+最もよく利用する施設別グラフ】



②減免制度

■減免制度の料金設定については、コミュニティ施設、住民ヒアリングともに「現状のままで良い」との答えが多くありました。

■減免制度の対象団体については、定義がはっきりとしていなかったり、情報が更新されていないという意見がいくつかのコミュニティ施設からあがっており、対象団体の定義の明確化と、情報の更新・共有についての課題があると考えられます。

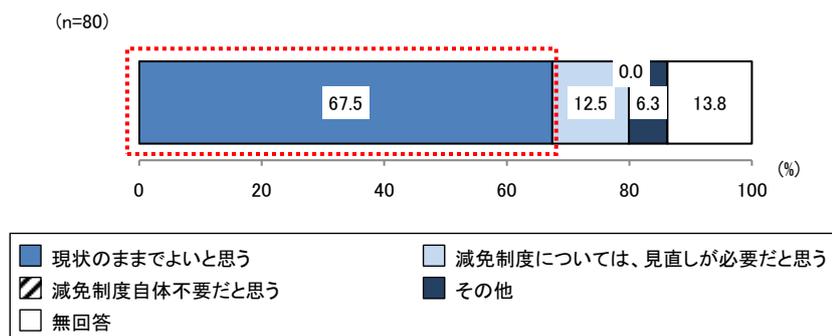
<コミュニティ施設へのヒアリング調査>

各施設とも、料金設定については特に大きな問題を感じていませんでした。一方で、減免制度の対象団体については、「同じ目的であっても営利目的だと利用ができないのに、文化連盟に加入しているような減免団体であれば利用可能であることに疑問を感じます」、「利用団体について定義がはっきりしていない部分があります」といった意見がみられました、利用団体についての明確な定義と、登録クラブについての情報更新・変更及びその共有があると、今後各コミュニティ施設が減免手続きを行う際に役立つと考えられます。

<住民へのヒアリング調査>

全体の67.5%は「現状のままで良いと思う」というお答えでした。また、「減免制度については見直しが必要だと思う」と答えたのは12.5%であり、「自治会で利用するときは減免額を優遇してほしい」というような見直しを求める声も上がっていました。

●コミュニティ施設の利用料金の減免制度についてどう思いますか



5 時間区分について

■貸し時間の区分については、利用住民、コミュニティ施設ともに「現状のままで良い」との答えが多くみられました。また、施設からは細分化を行うと「貸し時間がバラバラになってしまうことで清掃やカギの受け渡しなどを一括で行うことが難しくなってしまう」ことや、「利用者の入れ替えの時間が詰まってしまう」という理由から、細分化を行うのが難しいとの意見や、「利用者が混乱してしまうのではないか」という意見がみられました。

■但し、会議など一部の利用目的であれば実施可能との意見もあり、導入を考える上では、まずは一部の利用目的や部屋に限り実施し導入の可否について検討したり、利用者が混乱しないよう十分な周知を行うなどの配慮が必要だと考えられます。

<コミュニティ施設へのヒアリング調査>

貸し時間の区分については、現状のままでよいと考えているコミュニティ施設がほとんどでした。細分化した場合の懸念点として、「貸し時間がバラバラになってしまうことで清掃やカギの受け渡しなどを一括で行うことが難しくなってしまう」ことや、「利用者の入れ替えの時間が詰まってしまう」という意見や、「利用者が混乱してしまうのではないか」という意見がみられました。

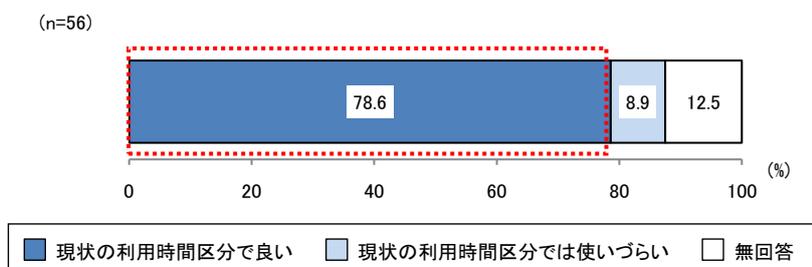
一方で、会議など一部の利用目的であれば実施可能との意見や、全ての部屋は無理でも一部屋であれば可能というような意見もありました。

また、「現時点の時間帯での貸し出しだと、バッティングすることが多々あるため、それを避けるためにも貸し時間の細分化は「あり」だと思う」といった肯定的な意見や、「(利用時間が)あと1時間長ければ助かるのに、といったお声もある」といったように利用者からのニーズは存在しているとの意見もみられました。

<住民へのヒアリング調査>

全体の 78.6%は「現状の利用時間区分で良い」というお答えであり、現状時間区分について不便さを感じている利用者はそこまで多くありませんでした。

●現在の貸館の利用時間の時間区分についてどう思いますか



4. 付録

摂津市コミュニティ施設に関するヒアリングシート

日ごろから本市の市政運営に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
摂津市では平成23年2月に策定しました「第4次摂津市総合計画」に基づき、コミュニティ施設に関する整備や施策の展開を進めております。
このたび、その一環としまして、市民の皆様のコミュニティ施設に関するご利用状況や、ご要望について率直なご意見をお聞かせ願いたく、本調査を実施することといたしました。
つきましては、お忙しい中誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※本調査は、コミュニティ施設のあり方の方向性に関して皆さまのご意見を把握し、今後の施策に活かすことを目的としております。

令和3年2月

摂津市 生活環境部 自治振興課

●ご提出にあたってのお願い

ヒアリングシートに回答いただき、同封の返信用封筒に入れて、

3月8日（月）までにご返送ください。

●問い合わせ先

摂津市 生活環境部 自治振興課

TEL : 06-6383-1357

FAX : 06-6381-8505

～ヒアリングは次のページから始まります～

摂津市コミュニティ施設に関するヒアリングシート

◆あなたご自身についてお伺いします

(○はそれぞれ1つ)

性別	1 男性	2 女性	3 その他	
年齢	1 15～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上
参加している地域 コミュニティ団体	1 自治会	2 PTA	3 登録クラブ	4 こども会
	5 老人クラブ	6 校区福祉委員会	7 民生児童委員	
参加している コミュニティの 主な活動地域	1 別府地域		2 味生地域	

◆コミュニティ施設のご利用についてお伺いします

問1 あなたの所属している団体が最もよく利用しているコミュニティ施設をお教えてください。また、お選びになった施設のおおよその利用頻度についてもお教えてください。

問1-1 最もよく利用している施設 (○はひとつ)		
1 別府コミュニティセンター	2 味生公民館	3 味生公民館以外の公民館
4 コミュニティプラザ	5 いきいきプラザ	6 正雀市民ルーム
7 集会所	8 あいあいホール	9 小学校・中学校



問1-2 おおよその利用頻度 (○はひとつ)			
1 週に2回以上	2 週に1回	3 月に2～3回	4 月に1回
5 2～3か月に1回	6 半年に1回	7 年に1回	8 数年に1回

以下、問2～問4・問6については問1-1でお選びになった施設についてお答えください

問2 問1-1でお選びになったコミュニティ施設について、なぜ利用しているのか、その理由をお教えてください。(〇は3つまで)

1 利用料金が安いから	2 交通の便が良いから	3 使いやすい広さだから
4 魅力的なイベント・講座があるから		5 子どもの遊び場に良いから
6 施設の職員の対応が良いから		7 安全・安心だから
8 その他 ()

問3 問1-1でお選びになったコミュニティ施設について、その施設であなたの所属する団体が会合や活動を行う際に、各コミュニティ施設の駐車場と駐輪場の台数について、充分か少ないかをお教えてください。(〇はそれぞれにつき1つ)

※問1-1で「6 正雀市民ルーム」を選んだ方は、正雀市民ルームには駐車場がないため、駐輪場についてのみお答えください。駐車場については回答不要です。

※問1-1で「7 集会所」、「8 あいあいホール」、「9 小学校・中学校」のどれかを選んだ方は、本設問は回答不要です。

駐車台数 (〇は1つ)	駐輪台数 (〇は1つ)
1.充分 2.少ない	1.充分 2.少ない
3.利用しないためわからない	3.利用しないためわからない

問4 問1-1でお選びになったコミュニティ施設の利用料金について、どのように思いますか。(〇は1つ)

※問1-1で「7 集会所」、「8 あいあいホール」、「9 小学校・中学校」のどれかを選んだ方は、本設問は回答不要です。

1 とても高い	2 高い	3 適正	4 安い	5 とても安い
---------	------	------	------	---------

問5 コミュニティ施設の利用料金の減免制度について、どのように思いますか。(〇は1つ)

1 現状のままでよいと思う
2 減免制度については、見直しが必要だと思う
3 減免制度自体不要だと思う
4 その他 ()

問5-1 【問5で選択肢2～3を選んだ方にお聞きします】減免制度について「2 減免制度については、見直しが必要だと思う」と答えた方は、その理由と、どのような見直しが必要だと思うか、お考えをお教えてください。「3 減免制度自体不要だと思う」と答えた方は、その理由をお教えてください。

理由(自由記述)

問6 問1-1でお選びになったコミュニティ施設については、現在利用できる時間区分が「午前」、「午後」、「夜間」などの時間帯での設定となっています。現在のこのような時間区分について、どのように思いますか。(〇は1つ)

※問1-1で「7 集会所」、「8 あいあいホール」、「9 小学校・中学校」の何れかを選んだ方は、本設問は回答不要です。

1 現状の利用時間区分で良い	2 現状の利用時間区分では使いづらい
----------------	--------------------

問6-1 【問6で2を選んだ方にお聞きします】あなたが希望する時間区分をお教えてください。(〇は1つ)

1 1時間単位	2 2時間単位	3 3時間単位
4 その他 ()		

◆コミュニティ施設についてのご意見をお伺いします

■摂津市では、別府コミュニティセンター、コミュニティプラザ、いきいきプラザ、正雀市民ルーム、集会所、公民館など、市民の皆様にご利用いただけるコミュニティ施設を保有・運営しています。

問7 今後、摂津市のコミュニティ施設に必要と感じる部屋・設備について、最も当てはまるものを3つまでお選びいただき、○をつけてください。(○は3つまで) 選択肢は大まかな区分となっておりますので、皆様のご意見をより正確に把握するため、○をつけた部屋・設備についての具体的な種類や要望される理由について具体的にお教えてください。

必要と感じる部屋・設備 (○は3つまで)	
1 体を動かせたり、運動講座ができる部屋	2 文化講座ができる部屋
3 調理ができる部屋	4 イベントスペース
6 学習ができる場所	7 ICT 機器が利用できるネットワーク通信環境 (無料 Wi-Fi 等)
8 飲食ができる場所	9 気軽につどえる場所
10 子ども用設備 (保育室・授乳室等)	11 その他 ()
部屋・設備について具体的な種類や要望される理由 (自由意見)	

問8 今後、コミュニティ施設をより多くの方々に利用してもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。運営面のこと、施設面のことなど、どのようなことでもかまいませんので、ご意見を具体的にお教えてください。また、お書き頂いたご意見について、種類としてあてはまる項目に○をつけてください。

ご意見の種類 (○はいくつでも)		
1 講座やイベントについて	2 職員について	3 設備・施設について
4 利用手続き・料金について	5 その他 ()	
ご意見 (自由記述)		

◆今後のコミュニティ施設全体のあり方についてお伺いします

問9 現在、摂津市では限られた財源の中施設を維持・運営しておりますが、今後従来の公共サービスのあり方を見直すことが必要になることも想定されます。その場合、下表の各方策を実施することについて、あなたはどのように考えますか。方策ごとに1つ選んで○を付けてください。(○はそれぞれの方策ごとに1つ)

	1. 積極的に実施すべき	2. どちらかといえば実施すべき	3. どちらかといえば実施すべきでない	4. 実施すべきでない
人口減少に合わせて、現在ある施設の総量を削減・集約していく	1	2	3	4
現在ある施設を複合化(※)等によって集約する(1棟にまとめる)	1	2	3	4
近隣の自治体と共用できる施設は統合した上で、共同で管理運営を行う	1	2	3	4
民間施設でも提供可能なサービスは市がその利用料を一部助成するなどした上で、民間に委ねる	1	2	3	4
地域に密着した施設は、地域住民等に譲渡し地域で維持管理を行う	1	2	3	4

(※) 複合化：一つの建物に複数の施設があること(例：公民館と図書館が一つの建物)

問10 今後今ある施設を見直すことが必要になった場合、どのような施設から減らすべきと考えますか。(○は3つまで)

1 稼働率が低い施設
2 維持管理に多くの経費がかかっている施設
3 同じような用途の施設が近くにある施設
4 各地域で利用する施設(集会所、公民館など)
5 市全域で利用する施設(コミュニティセンターなど)
6 民間施設と提供しているサービスが類似している施設
7 その他()

ヒアリング調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

(参考) 各公民館・コミュニティ施設の施設ごとの利用状況

各公民館の利用状況

【安威川公民館】

	集会室		講座室1		学習室		和室		生活実習室		幼児室・託児室		工作室		音楽室		大ホール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	-	-	473	5,121	757	9,693	310	2,191	264	3,129	24	92	460	4,140	504	5,015	598	17,239	3,390	46,620
平成 29 年度	-	-	408	4,568	780	10,562	284	1,852	284	2,791	10	107	428	4,089	511	4,599	568	15,537	3,273	44,105
平成 30 年度	-	-	387	3,915	676	8,951	293	1,860	292	2,876	6	43	412	4,440	480	4,099	509	14,592	3,055	40,776
令和元年度	-	-	365	3,574	629	8,287	268	1,807	297	2,518	10	68	410	3,997	489	4,079	479	13,674	2,947	38,004

※安威川公民館の講座室2は学習室に含む

出典：摂津市事務報告書（平成28年～令和元年度）

【千里丘公民館】

	集会室		講座室1		学習室		和室		生活実習室		幼児室・託児室		工作室		音楽室		大ホール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	613	9,221	236	1,501	133	944	86	768	107	954	-	-	36	229	57	229	-	-	1,268	13,846
平成 29 年度	744	11,116	285	1,774	186	1,298	118	1,142	90	822	-	-	52	309	193	2,777	-	-	1,668	19,238
平成 30 年度	724	9,415	312	2,136	195	1,423	141	1,303	91	921	-	-	33	152	211	3,140	-	-	1,707	18,490
令和元年度	644	8,525	267	1,859	264	1,897	74	861	70	568	-	-	34	193	224	2,967	-	-	1,577	16,870

※千里丘公民館の講座室2は学習室に、集会所2は音楽室に含む

出典：摂津市事務報告書（平成28年～令和元年度）

【新鳥飼公民館】

	集会室		講座室1		学習室		和室		生活実習室		幼児室・託児室		工作室		音楽室		大ホール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	626	10,492	-	-	411	5,610	660	6,280	259	3,854	284	3,029	348	2,646	-	-	-	-	2,588	31,911
平成 29 年度	678	11,070	-	-	411	5,974	703	7,042	249	3,213	244	5,197	326	2,437	-	-	-	-	2,611	34,933
平成 30 年度	652	12,008	-	-	399	6,236	578	7,297	255	4,167	213	2,884	333	3,427	-	-	-	-	2,430	36,019
令和元年度	595	10,863	-	-	333	4,623	578	6,296	192	2,415	218	3,702	293	2,289	-	-	-	-	2,209	30,188

出典：摂津市事務報告書（平成 28 年～令和元年度）

【味生公民館】

	集会室		講座室1		学習室		和室		生活実習室		幼児室・託児室		工作室		音楽室		大ホール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	456	7,215	246	2,158	66	764	60	394	28	220	-	-	133	1,322	105	705	-	-	1,094	12,778
平成 29 年度	431	7,402	239	2,103	63	442	52	316	68	752	-	-	120	1,134	141	814	-	-	1,114	12,963
平成 30 年度	437	6,948	242	2,140	57	356	33	192	71	790	-	-	111	1,022	122	672	-	-	1,073	12,120
令和元年度	432	7,027	192	1,834	73	462	88	582	85	837	-	-	110	1,185	84	526	-	-	1,064	12,453

※味生公民館の講座室 2 は音楽室に含む

出典：摂津市事務報告書（平成 28 年～令和元年度）

【鳥飼東公民館】

	集会室		講座室1		学習室		和室		生活実習室		幼児室・託児室		工作室		音楽室		大ホール		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	596	7,554	-	-	139	1,185	386	2,616	237	1,504	-	-	506	5,219	299	1,674	-	-	2,163	19,752
平成 29 年度	560	7,150	-	-	142	1,024	288	2,114	154	1,168	-	-	402	4,076	281	1,638	-	-	1,827	17,170
平成 30 年度	480	6,377	-	-	149	1,036	289	2,876	69	602	-	-	391	3,537	256	1,620	-	-	1,634	16,048
令和元年度	435	5,490	-	-	156	992	241	2,056	66	640	-	-	324	4,191	224	1,569	-	-	1,446	14,938

出典：摂津市事務報告書（平成 28 年～令和元年度）

コミュニティプラザの利用状況

	コンベンション ホール1		コンベンション ホール2		コンベンション ホール3		会議室1		会議室2		会議室3		会議室4		会議室5		会議室6		工作室	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	609	19,474	722	16,364	519	13,703	629	8,051	486	6,202	575	6,130	569	8,794	621	4,788	580	3,699	345	3,252
平成 29 年度	537	16,448	620	12,490	471	11,610	601	7,805	504	6,329	601	6,362	536	7,914	599	4,878	541	3,808	338	3,412
平成 30 年度	527	15,242	601	13,423	452	10,125	564	7,213	481	5,957	639	6,620	579	7,517	619	4,932	509	3,842	308	2,905
令和元年度	475	12,894	579	10,195	405	6,787	527	6,617	421	5,014	571	5,644	484	6,516	566	4,530	523	3,428	255	2,538

	和室1		和室2		研修室1		研修室2		健康増進 ルーム1		健康増進 ルーム2		子ども ルーム1		子ども ルーム2		調理実習室		絵本ルーム	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	441	2,485	350	1,723	887	8,728	861	8,114	718	7,157	704	6,554	248	2,073	242	1,881	299	3,019	102	2,182
平成 29 年度	396	3,004	307	2,108	840	7,867	840	8,278	706	7,718	696	7,055	279	2,695	254	2,392	286	3,001	106	2,491
平成 30 年度	449	2,221	292	1,510	804	6,817	791	6,908	714	7,598	680	6,498	265	2,087	260	1,975	268	2,927	124	2,487
令和元年度	368	1,532	199	822	747	5,764	738	6,258	630	6,224	581	5,994	281	1,984	239	1,749	249	2,175	112	1,966

	合計	
	件数	人数
平成 28 年度	11,182	134,373
平成 29 年度	10,058	127,665
平成 30 年度	9,926	118,804
令和元年度	8,950	98,631

出典：摂津市事務報告書（平成 28 年～令和元年度）

別府コミュニティセンターの利用状況

	集会室1		集会室2		会議室1		会議室2		研修室		和室		調理実習室		ホール1		ホール2		ホール3	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	27	242	42	346	40	284	60	438	161	1,949	70	428	28	188	26	296	24	259	17	168
平成 29 年度	77	896	134	1,200	135	1,867	179	1,936	526	7,137	232	1,256	78	989	245	4,869	145	2,816	132	2,170
平成 30 年度	133	1,405	199	1,745	171	2,020	233	2,307	682	8,178	269	1,483	103	924	337	5,025	218	3,235	158	2,234
令和元年度	122	1,123	208	1,822	200	2,433	264	2,991	602	7,488	332	2,538	78	1,384	338	5,150	165	2,630	126	1,832

	合計	
	件数	人数
平成 28 年度	495	4,598
平成 29 年度	1,883	25,136
平成 30 年度	2,503	28,556
令和元年度	2,435	29,391

出典：摂津市事務報告書（平成 28 年～令和元年度）

正雀市民ルームの利用状況

	第1会議室		第2会議室		調理室		和室		大会議室		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	509	4,241	491	5,757	96	1,054	474	3,393	563	12,340	2,133	26,785
平成 29 年度	466	3,743	494	7,153	98	981	450	2,790	544	10,352	2,052	25,019
平成 30 年度	532	4,166	553	7,251	122	858	468	2,851	518	9,894	2,193	25,020
令和元年度	447	2,935	488	6,062	52	346	361	2,026	441	7,950	1,789	19,319

出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）

市民ルーム フォルテ 301・303 の利用状況

	フォルテ 301		フォルテ 303		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成 28 年度	218	3,267	274	2,762	492	6,029
平成 29 年度	196	2,983	291	2,869	487	5,852
平成 30 年度	233	5,093	310	2,980	543	8,073
令和元年度	223	4,866	296	2,731	519	7,597

出典：摂津市統計要覧（平成 28 年～令和元年度）